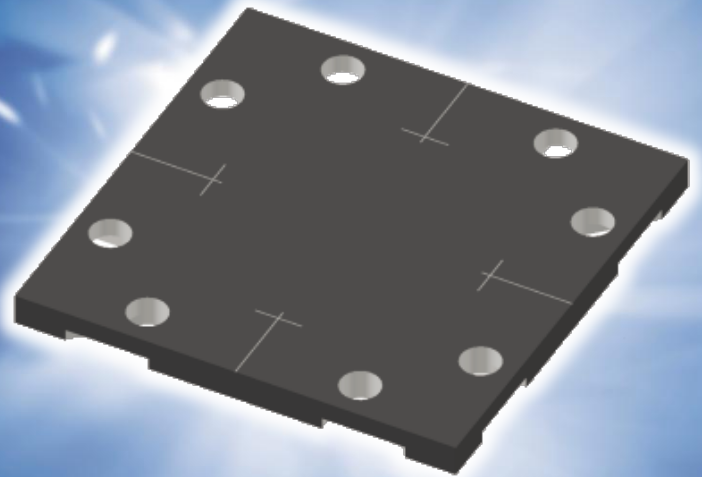


ハイベースNEO工法 耐力図・基礎柱形的设计例



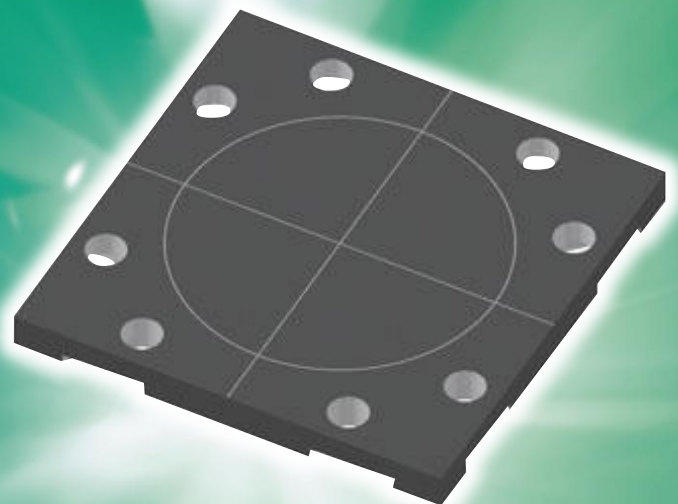
エコタイプ EB150~550



Gタイプ GB350~600



エコタイプ EM190~550



ご使用にあたって

本資料は建築設計事務所様、建築施工会社様、鉄骨加工業者様において、ハイベースNEO工法を設計される際、および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。なお、施工時の留意点については、別冊の「ハイベース工法総合カタログ」もあわせてご参照くださいますようお願いいたします。

■設計事務所様へ

本工法を用いた建築物の設計図書には「ハイベースNEO工法設計施工標準」を添付のうえ、その資料をもとに監理くださいますようお願いいたします。

表示の定義

この冊子の中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。



注意

：一般的な注意を喚起する表示



警告

：取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示



警告

①ハイベースNEO工法は国土交通大臣認定取得材料を用いた日本建築センター評定取得工法です。設計ハンドブックに基づく設計がなされないで生じたトラブルについては責任を負いかねます。ご使用になる前に必ず別冊の「設計ハンドブック」をご一読の上、内容を遵守してください。

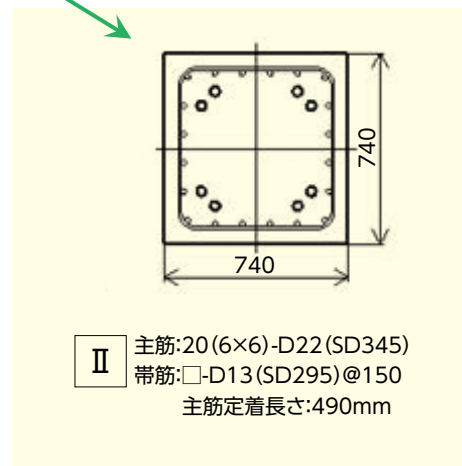
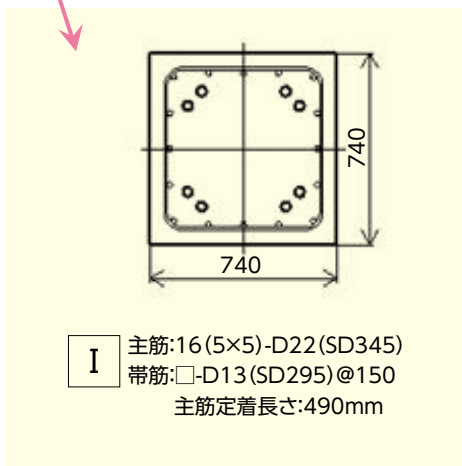
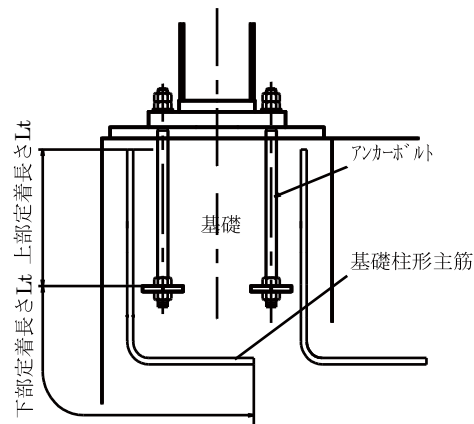
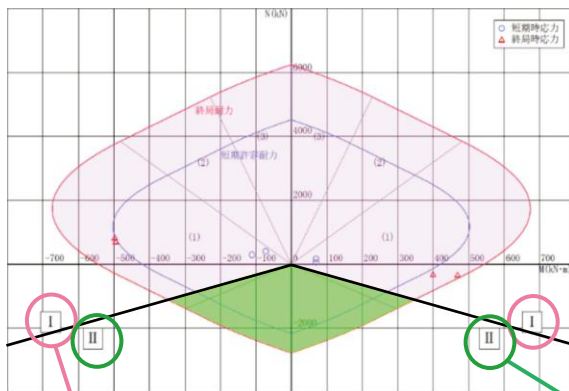
②アンカーボルトの設置・後詰めモルタルの施工はセンクシアまたはその認定施工業者が行います。(詳細はセンクシアにお問い合わせください)

- ・本資料は耐力図・基礎柱形的设计例を示すものであり、保証書や契約書ではありません。
- ・製品仕様変更等により、本資料の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・本資料の内容で、疑問点や不明点がございましたら、センクシアにお問い合わせください。
(問い合わせ先は裏表紙を参照ください)

ハイベースNEO工法の耐力図・基礎柱形の設計例の注意事項

- 本資料に記載の事項以外は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックをご参照ください。
- 柱脚部に発生する応力により、Iゾーン(IIゾーン以外の状態)とIIゾーン(全アンカーボルトに引張が発生している状態)に分けられます。
- 終局耐力図中、Iゾーンに応力がある場合はIゾーンの基礎柱形仕様(基礎柱形主筋、帯筋、柱形サイズ)を、IIゾーンに応力がある場合はIIゾーンの基礎柱形仕様を用いることにより基礎柱形の設計を行います。
- せん断耐力は軸力によって変化し、耐力図中の①～③の範囲で用いるせん断耐力式が異なります。
- I・IIゾーンの判定、コンクリート設計基準強度が F_c21 以外の場合は、構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】にてご確認ください。
- 基礎柱形が側・隅柱の場合と中柱(4方向から基礎梁が取付く場合のみ)の場合で基礎柱形仕様が異なります。基礎柱形のタイプに合った仕様にて設計してください。

例:GB350-8-30



	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さLt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	750	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	750	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	490

注1)表中の鉄筋量は基礎立上りのない場合(基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合)の設計例です。立上りがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO設計ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行ってください。

注2) <中柱用>の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋をD10@250またはD13@250として算定しています。あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合、あばら筋間隔が以下より大きくなる場合は<側・隅柱用>の鉄筋量としてください。

D10@250...EB150~EB450, GB350~GB450, EM190~EM400

D13@250...EB500~EB550, GB500~GB600, EM450~EM550

注3)h寸法は杭がない場合です。杭がある場合は表中のh寸法+100mm以上確保してください。

注4)アンカーボルト設置用架台は一例です。アンカーボルトサイズや杭の有無など諸条件により形状が異なります。

注5)鉄筋の定着長さLtは、表中の寸法以上確保してください。(上部下部共通)

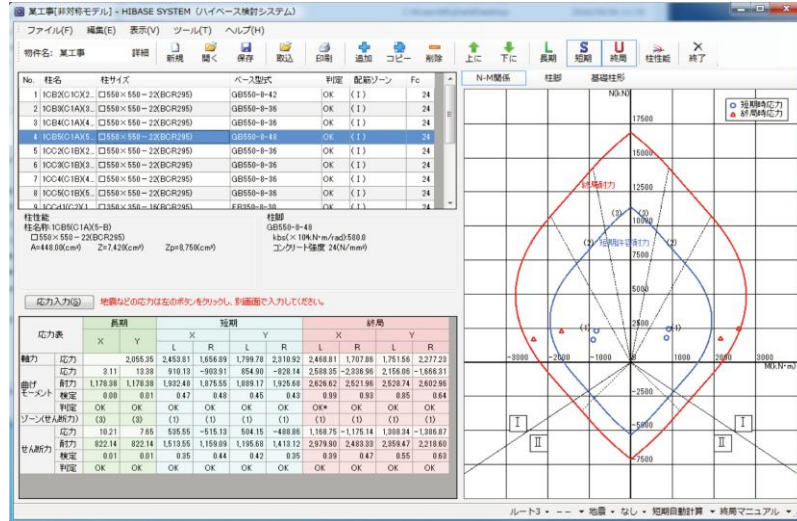
注6)エコタイプのアンカーボルトは一重ナットが標準です。ゆるみ止めのため、コンクリートスラブへの埋込みが必要です。(二重ナット等のゆるみ止め処置は、原則できません。)

注7)エコタイプでコンクリートスラブへの埋込みがない場合、せん断耐力(aQa,aQu)は表中の値と異なります。その場合は、センクシアへお問い合わせください。

構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム (Windows版)】

ハイベースNEO工法およびスーパーハイベース工法の設計を支援するソフトを用意しています。柱脚の応力を入力する(各社一貫構造計算ソフトと連携も可能)ことにより、曲げ耐力の確認、せん断耐力の確認及びせん断耐力が不足する場合の各対処方法における検討、基礎柱形鉄筋量の判定(I、IIゾーン)、コンクリート設計基準強度が 21N/mm^2 と異なる場合の柱脚部の設計が可能です。

検討結果は印刷も可能で、検討書としてご利用いただけます。



ハイベース検討システム イメージ図

ダウンロードサービス

ハイベース検討システム、設計施工標準図、部品図等CADデータ、評定書(写)、認定書(写)など各種資料は、センクシアホームページよりダウンロードしていただけます。

The screenshot shows the Senqcia website homepage. The main navigation bar includes 'フリーアクセスフロア', 'ハイベース・構造部材', 'チェーン・スプロケット', '太陽光発電・緑化システム', '納入事例紹介', 'ダウンロード', and 'ギャラリー'. The main content area features a large banner for 'ハイベース・構造部材' (Hibase Structural Components) with the tagline '揺るぎない技術が築く建築構造' (Building structure built with unshakable technology). Below the banner, there is a '新着情報' (New Information) section with a list of updates:

- 2016年10月18日: 抗撓接合工法「ジョイントカブラ工法」の商品情報を追加しました。
- 2015年10月14日: 鋼板ダンバ「xtendam (イクステンダム)」の商品情報、カタログを更新しました。
- 2015年05月20日: 「ハイリリング工法」の商品情報、カタログ、CADデータを更新しました。
- 2015年04月01日: 「ハイベースNEO工法」、「スマートダイヤ工法」の商品情報、カタログ、CADデータを更新しました。

On the right side, there is a 'お問い合わせ' (Contact Us) section with a 'お問い合わせ' button and a 'Webからのお問い合わせ' link.

センクシア株式会社 ホームページ
<http://www.senqcia.co.jp/>

*各資料は予告なく変更することがあります。最新版はセンクシアホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

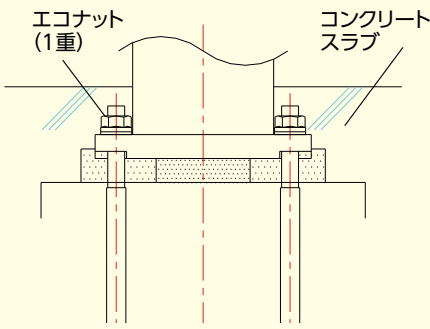
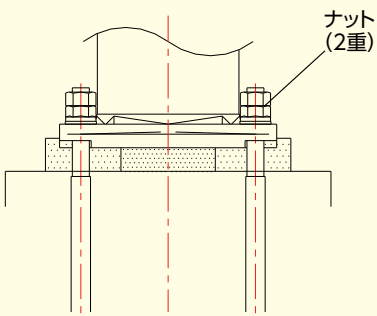
エコタイプとGタイプの違い

ハイベースNEO工法では、エコタイプとGタイプの2種類があります。

①ベースプレート形状

	エコタイプ	Gタイプ
形状	 <p>鋼板製</p>	 <p>鋳造製</p>
	ベースプレート底面に、せん断力を効果的にアンカーボルトに伝達させる凹面加工部を有する特殊形状	鋳鋼特有の造形の自由さを利用し、エコタイプと同様の底面形状に加え、応力伝達効率の優れた形状
材質、規格	板厚40mm以下の場合 SN490B (JIS G3136、建築構造用圧延鋼材)	HCW490b (国土交通大臣認定:MSTL-0404) HCW490st (国土交通大臣認定:MSTL-0180)
	板厚40mmを超える場合 TMCP鋼 (SN490相当、国土交通大臣認定取得材)	
特長	エコタイプは、コストを追求したタイプで、 <u>コスト重視</u> の設計に最適です。	Gタイプは、さまざまな設計的要求にも対応可能で、 <u>性能重視</u> の設計に最適です。

②柱脚部被覆

	エコタイプ	Gタイプ
標準仕様	 <ul style="list-style-type: none"> ●コンクリートスラブにより被覆 ●アンカーボルトの上部ナットは専用ナット(エコナット、1重)を使用 	 <ul style="list-style-type: none"> ●柱脚部は露出させることが可能(エコタイプ同様、被覆コンクリート仕様も可能) ●アンカーボルトの上部ナットは2重(標準) ●上部ナットは1重ナットにすることも可能(但し強度区分8のナットを用い、コンクリートスラブによる被覆を行う必要があります)
特長	被覆コンクリートの効果によるせん断耐力の向上	被覆コンクリート仕様の場合、別途検討することによりせん断耐力の向上が可能

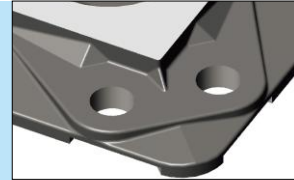
※角形鋼管柱用二方向偏心タイプの場合は、コンクリートスラブによる被覆が必要です。

③柱脚部性能

	エコタイプ (EB500-8-36)	Gタイプ (GB500-8-36)
耐力図	<p>エコタイプの耐力図は、縦軸が軸力N(kN) [-6000, -4000, -2000, 0, 2000, 4000, 6000, 8000, 10000, 12000]、横軸がモーメントM(kN・m) [0, 500, 1000, 1500, 2000]を示しています。終局耐力は約1500kN・mで、軸力Nは約4000kNに達します。</p>	<p>Gタイプの耐力図は、縦軸が軸力N(kN) [-6000, -4000, -2000, 0, 2000, 4000, 6000, 8000, 10000, 12000]、横軸がモーメントM(kN・m) [0, 500, 1000, 1500, 2000]を示しています。終局耐力は約1500kN・mで、軸力Nは約4000kNに達します。</p>
回転ばね定数	EB500-8-36:210 ($\times 10^3 \text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	GB500-8-36:354 ($\times 10^3 \text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)
	耐力はほぼ同等	
	回転ばね定数はGタイプの方が高い	

Gタイプのベースプレートは、アンカーボルト周辺部の凸部効果により、ベースプレート剛性が向上。それに伴い回転ばね定数がアップ。

ベースプレート形状例 (Gタイプ、アンカーボルト8本) ▶



④適用柱

本耐力図・基礎柱形の設計例はGタイプ GB350~600、エコタイプ EB150~550、EM190~550の範囲となります。

	エコタイプ	Gタイプ
柱サイズ	□150×150~□550×550 φ190.7~φ558.8 H150×150シリーズ~H700×300シリーズ	□350×350~□1200×1200 φ500~φ1016 H400×400シリーズ~H900×400シリーズ
特長	小~中サイズの柱	中~大サイズの柱 極厚、CFT造柱など ・箱形四面組立柱等の板厚が厚い鋼管にも対応可能 ・鋼管コンクリート造柱(CFT造柱)にも対応可能 ・評定の範囲内で標準外の形状または高応力条件に対応可能なベースプレートの設計も可能です。

※角形鋼管柱用偏心タイプの場合は、スーパーハイベース工法にて検討をお願いします。

⑤根切り

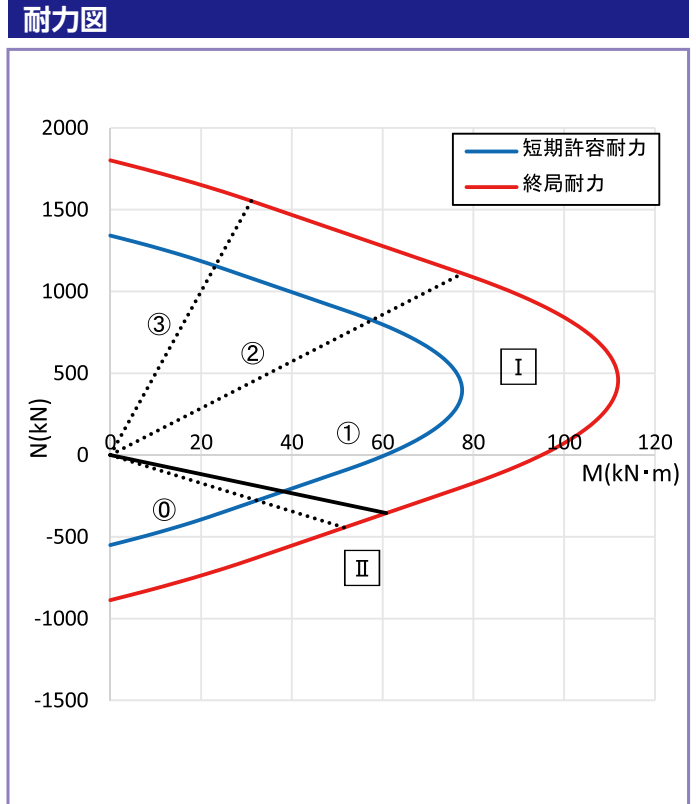
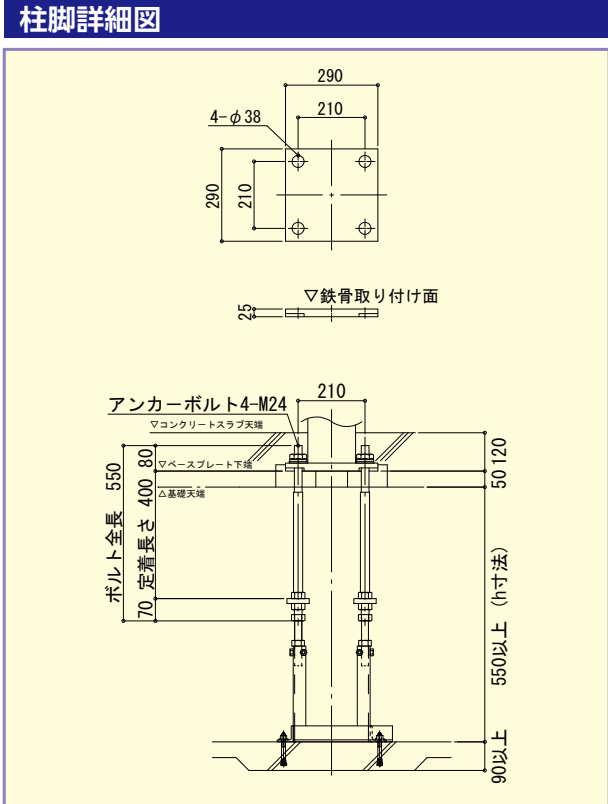
ハイベースNEO工法のエコタイプ (EB・EM型式アンカーボルト4本の場合) は、アンカーボルト短尺化により根切りを浅くすることが出来ます。

(d:アンカーボルト径)

	エコタイプ (アンカーボルト4本)	その他型式
アンカーボルト定着長さ	13.3d ※アンカーボルト径M24は16.6d	20d
	<p>定着長さ 13.3d*1 (短)</p> <p>浅い</p>	<p>定着長さ 20d (標準)</p>

EB150-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □150 (板厚範囲:4.5~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	14.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

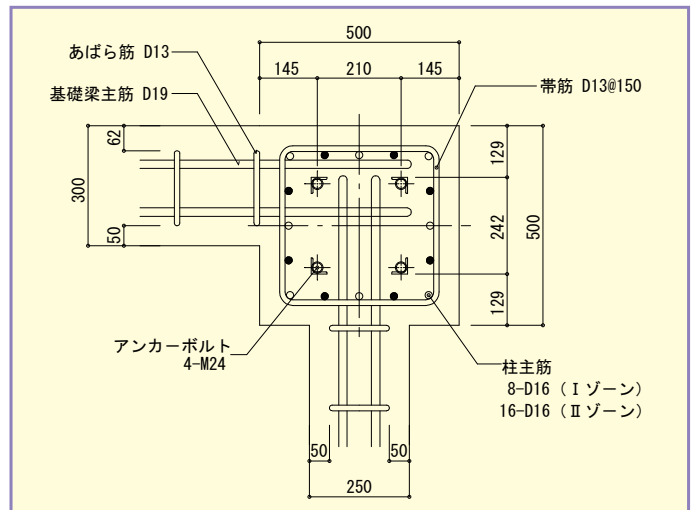
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~390	330~390	380~390	
D19	280~390	340~390		
D22	280~380	340~380		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~290	280~290		
D19	240~290			
D22	240~280			



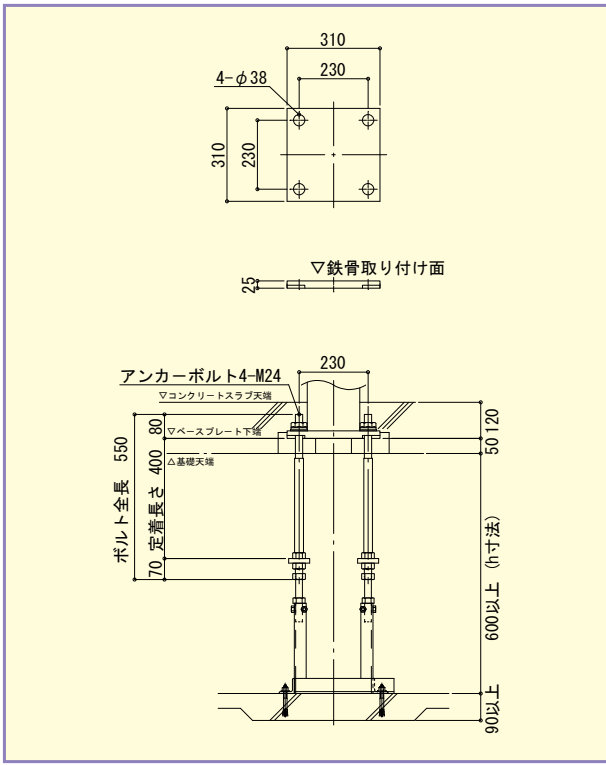
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB175-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

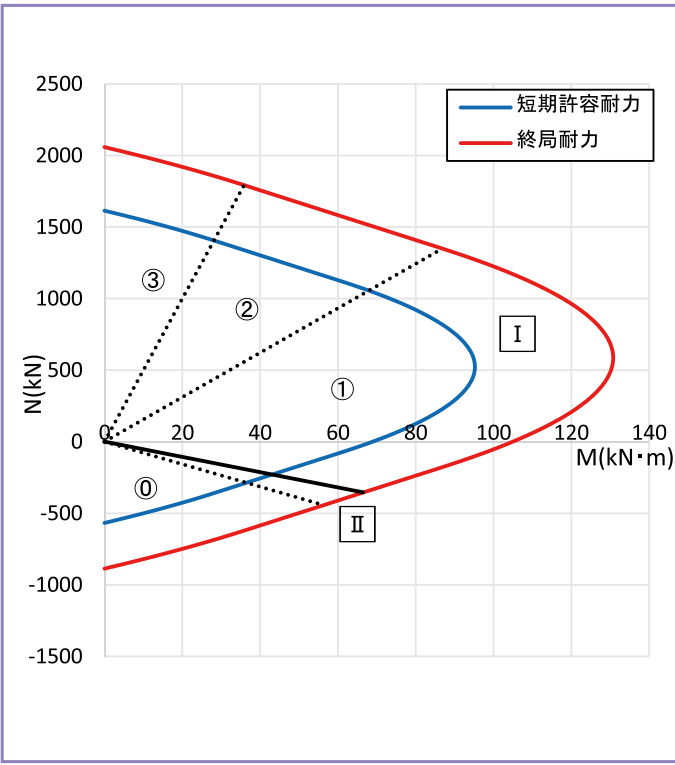
適用柱	角形鋼管柱 □175 (板厚範囲:4.5~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	17.9×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

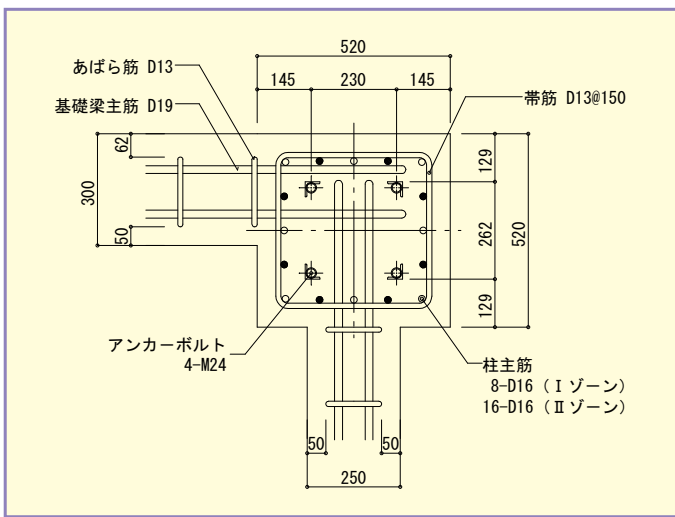
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~410	330~410	380~410	
D19	280~410	340~410	400~410	
D22	280~400	340~400	400	

柱形中心基礎はりタイプ

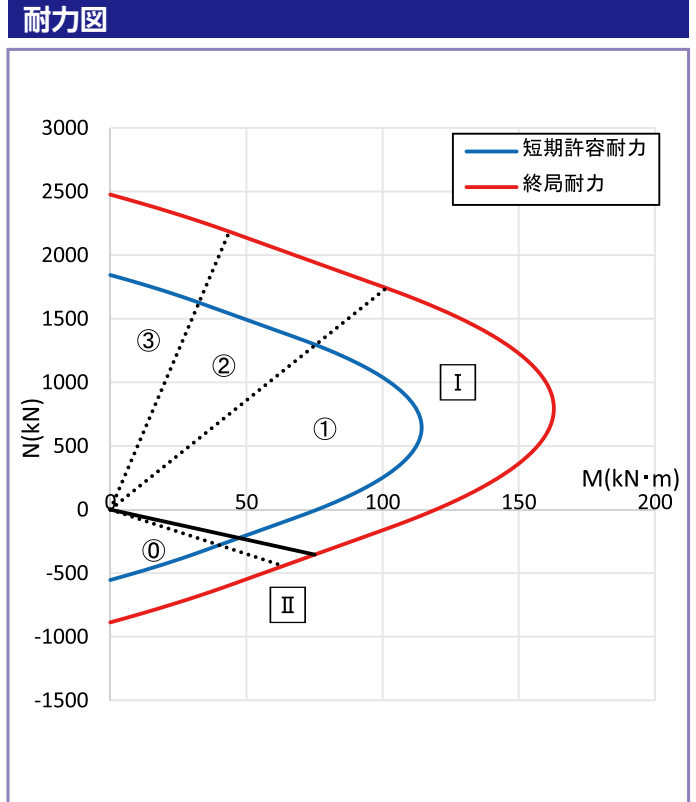
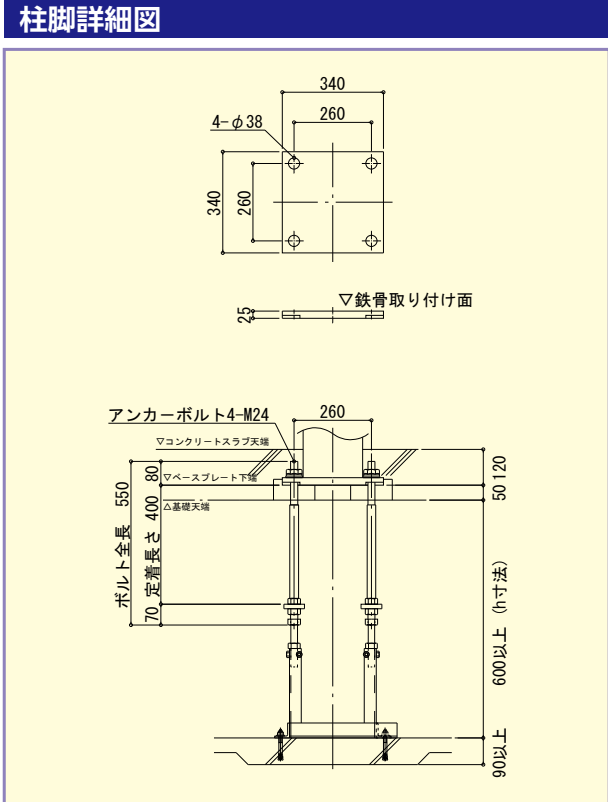
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~310	280~310		
D19	240~310	300~310		
D22	240~300	300		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB200-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	21.9 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	550	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	550	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	550	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	550	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~440	330~440	380~440	430~440
D19	280~440	340~440	400~440	
D22	280~430	340~430	400~430	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~340	280~340	330~340	
D19	240~340	300~340		
D22	240~330	300~330		

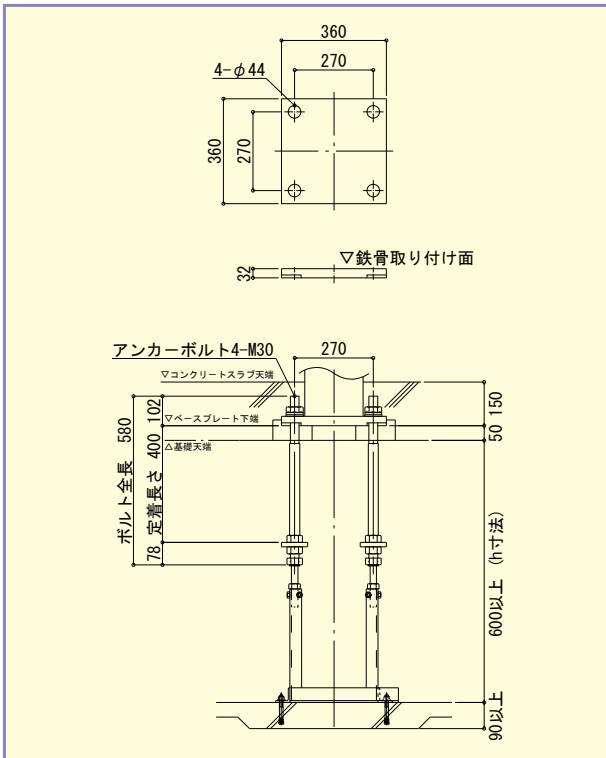
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB200-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

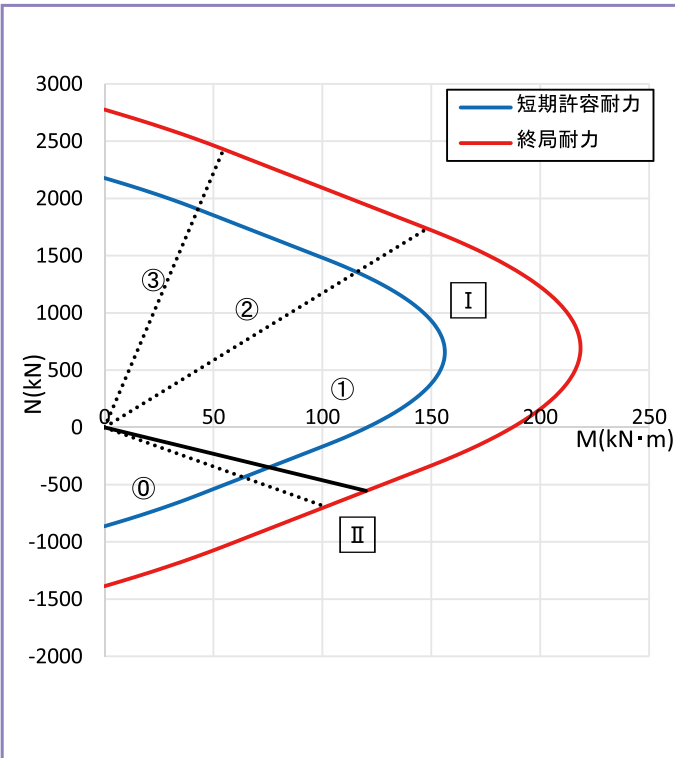
適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	35.4 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	570	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	570	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	300
〈中柱用〉	570	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	570	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	300

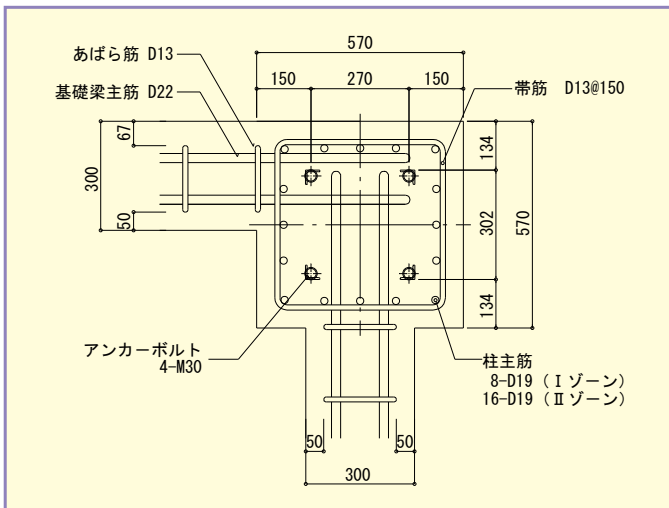
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~440	340~440	400~440	
D22	280~440	340~440	400~440	
D25	280~440	350~440	420~440	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340		
D22	240~340	300~340		
D25	250~340	320~340		

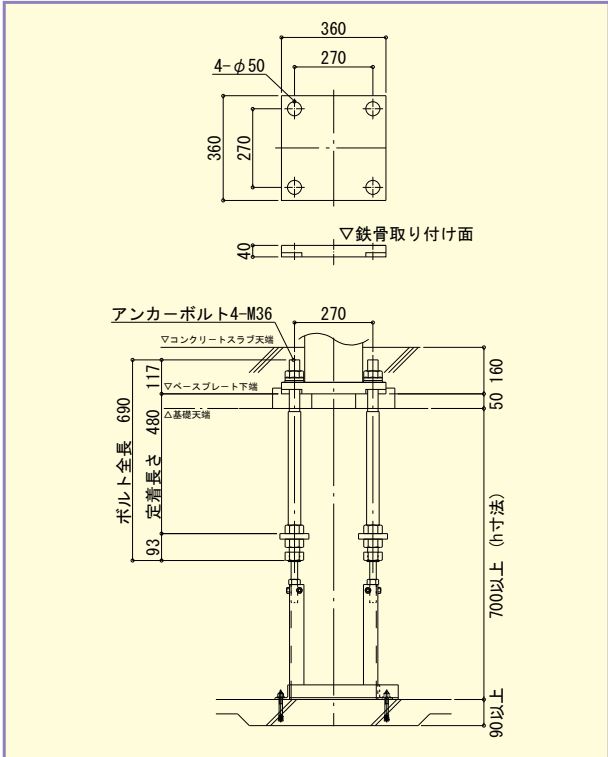


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

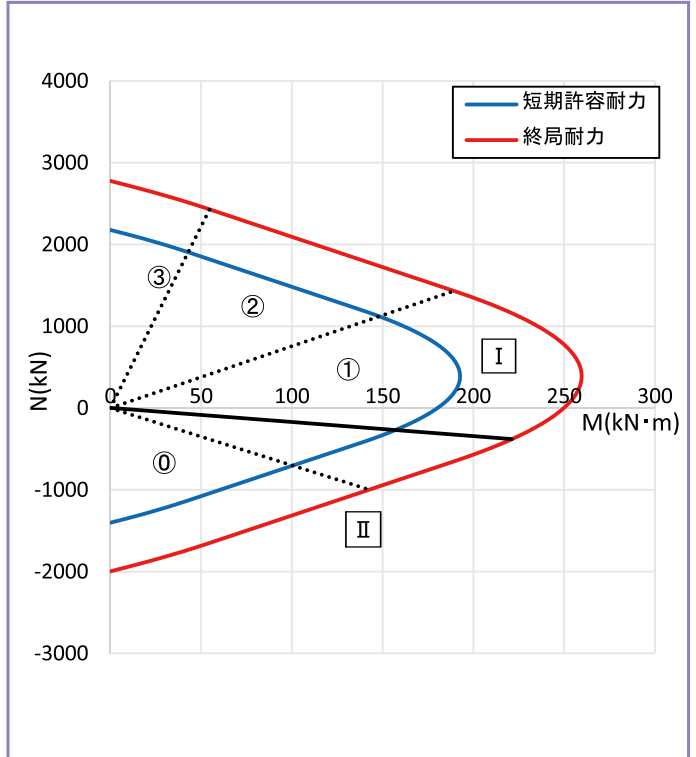
EB200-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	41.4 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	580	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	580	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	580	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	580	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

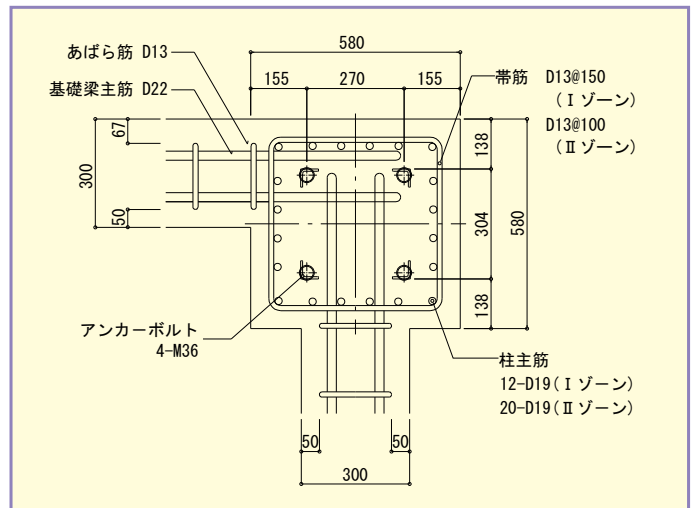
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~430	340~430	400~430	
D22	280~430	340~430	400~430	
D25	280~430	350~430	420~430	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320		
D22	240~320	300~320		
D25	250~320	320		



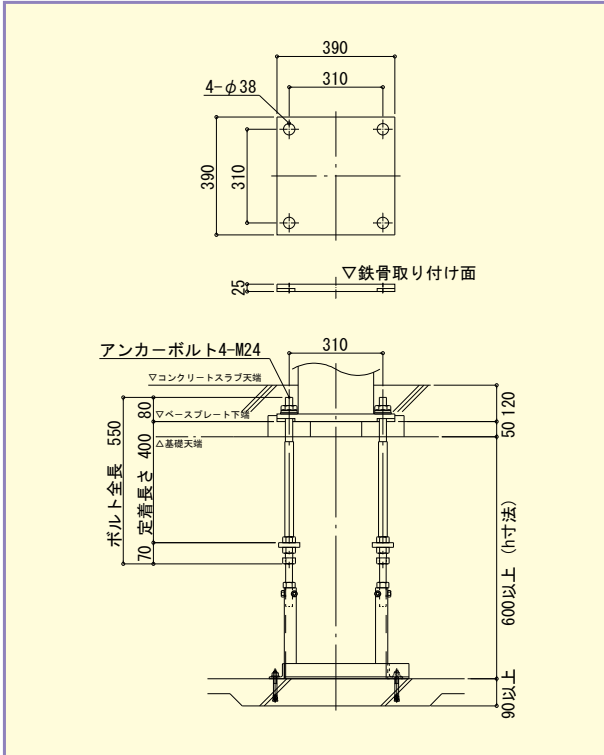
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

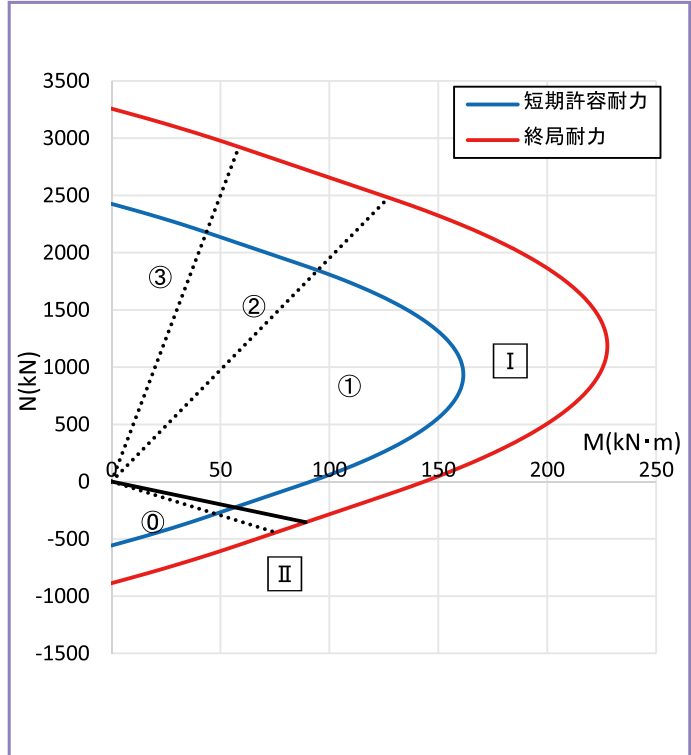
適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	32.2 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	600	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	600	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	600	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	600	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200

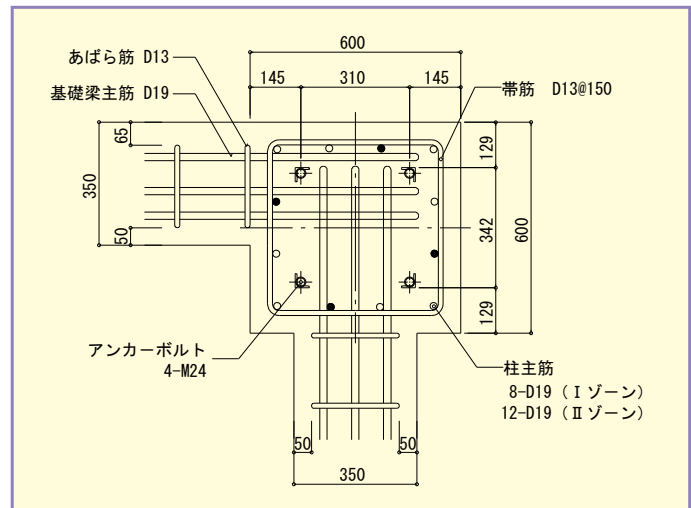
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~490	330~490	380~490	430~490
D19	280~490	340~490	400~490	460~490
D22	280~480	340~480	400~480	460~480

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~390	280~390	330~390	380~390
D19	240~390	300~390	360~390	
D22	240~380	300~380	360~380	

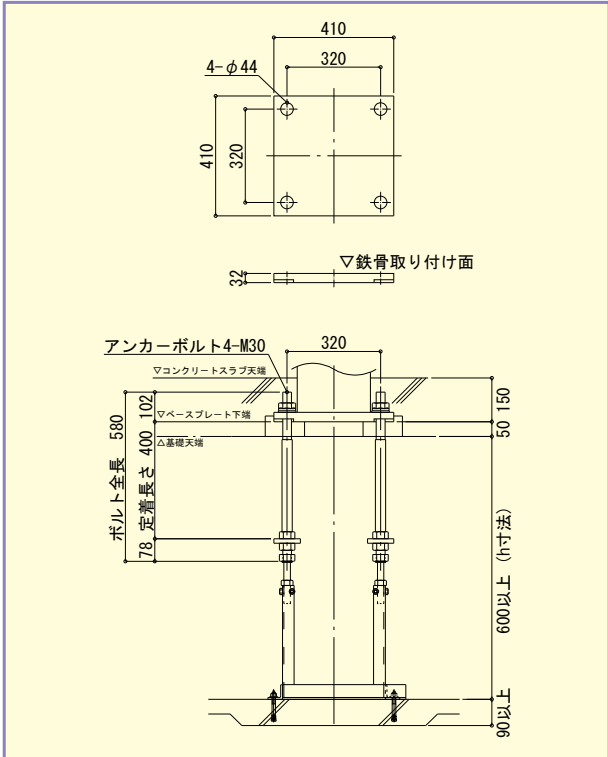


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

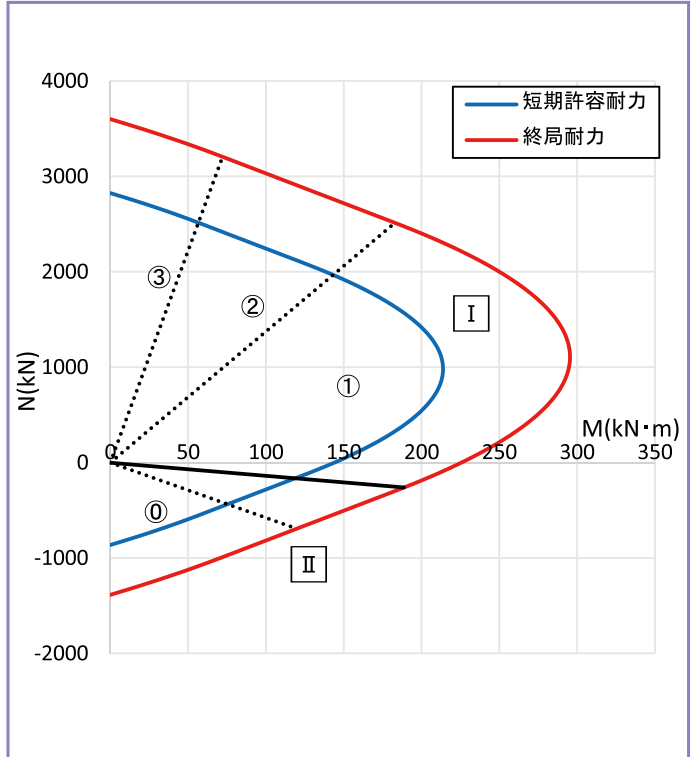
EB250-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □250(板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M30)
回転ばね定数	51.3×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	300
〈中柱用〉	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	300

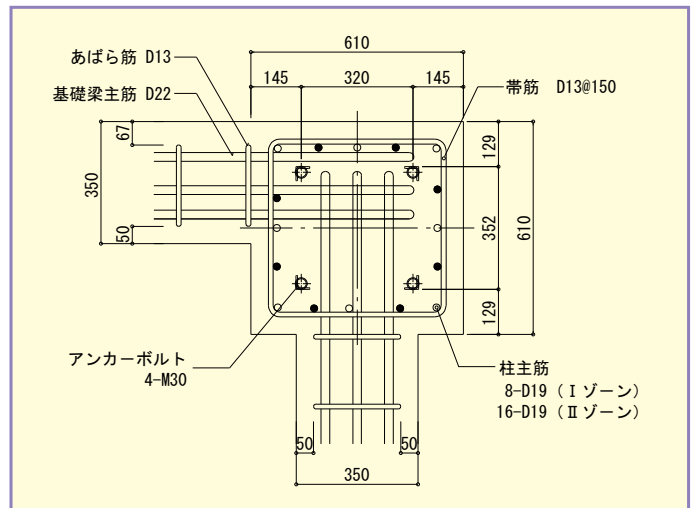
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~500	340~500	400~500	460~500
D22	280~500	340~500	400~500	460~500
D25	280~500	350~500	420~500	490~500

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	
D22	240~390	300~390	360~390	
D25	250~390	320~390	390	



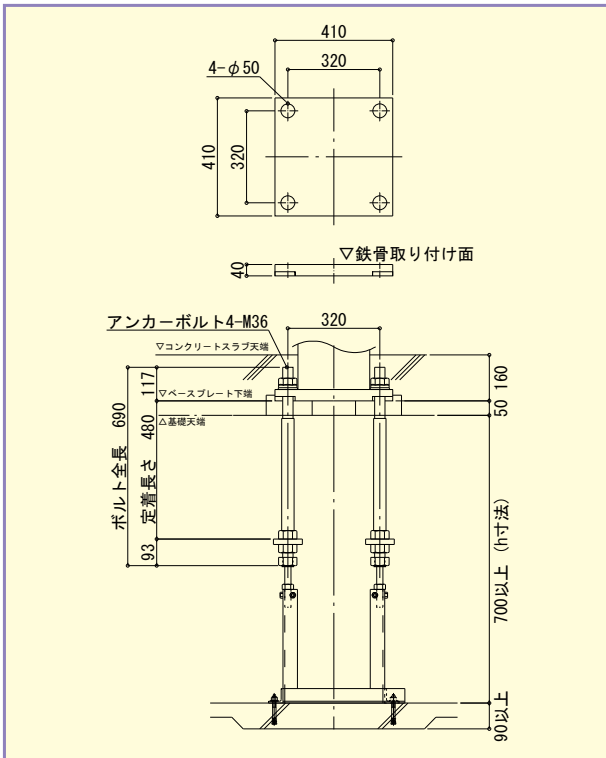
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

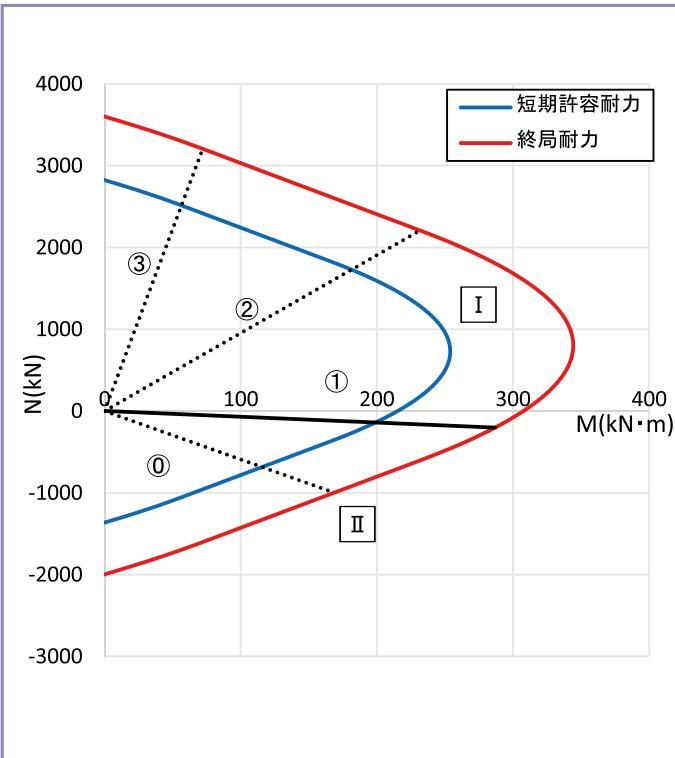
適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	59.7 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	610	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	610	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	610	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	610	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

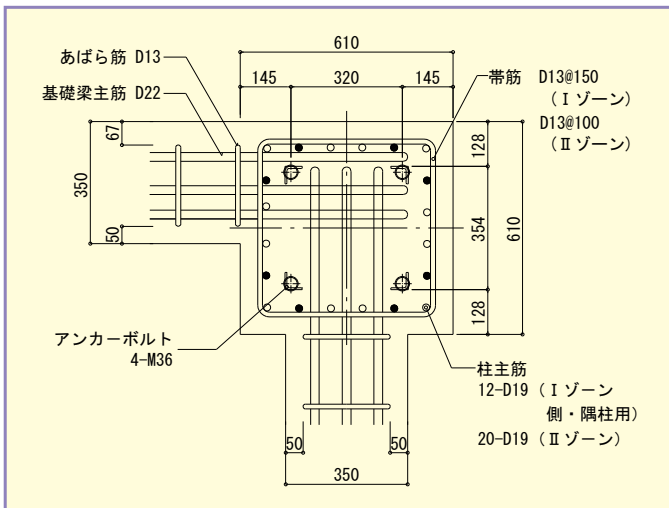
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	290~490	350~490	410~490	470~490
D22	290~490	350~490	410~490	470~490
D25	290~490	360~490	430~490	

柱形中心基礎はりタイプ

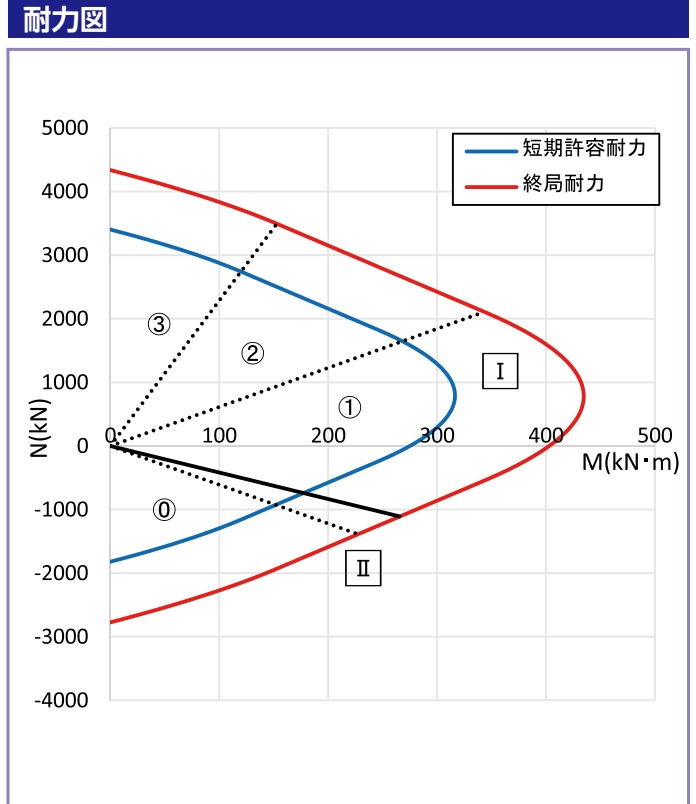
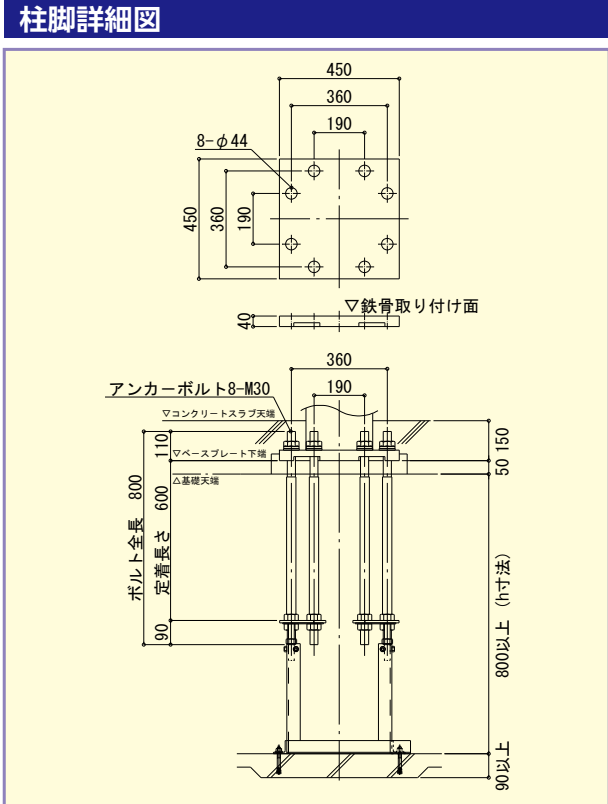
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~370	300~370	360~370	
D22	240~370	300~370	360~370	
D25	250~370	320~370		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	51.1 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	640	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	640	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	470
〈中柱用〉	640	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	640	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	470

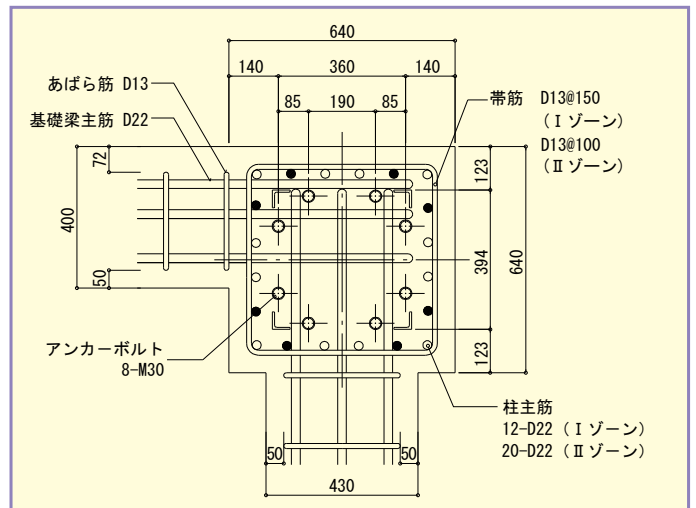
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~450	420~450		
D22	360~450	420~450		
D25	360~450	430~450		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~270	* 430	* 430	
D22	240~270	* 430	* 430	
D25	250~270	* 430	* 430	



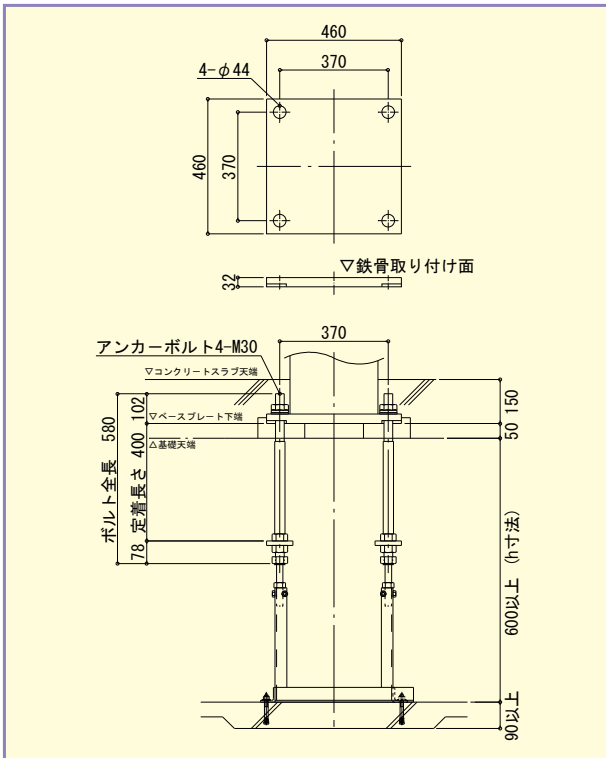
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB300-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

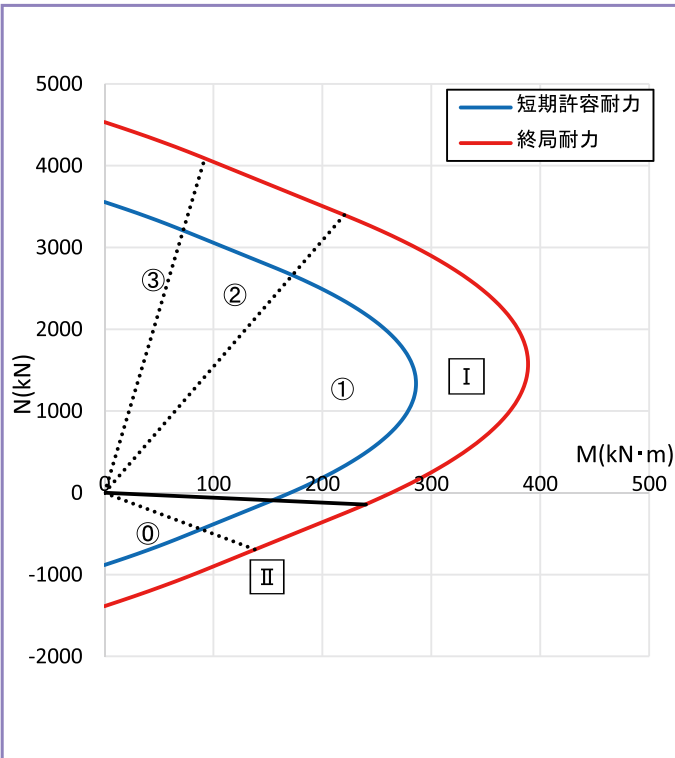
適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	70.1 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	660	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	660	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	280
〈中柱用〉	660	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	660	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	280

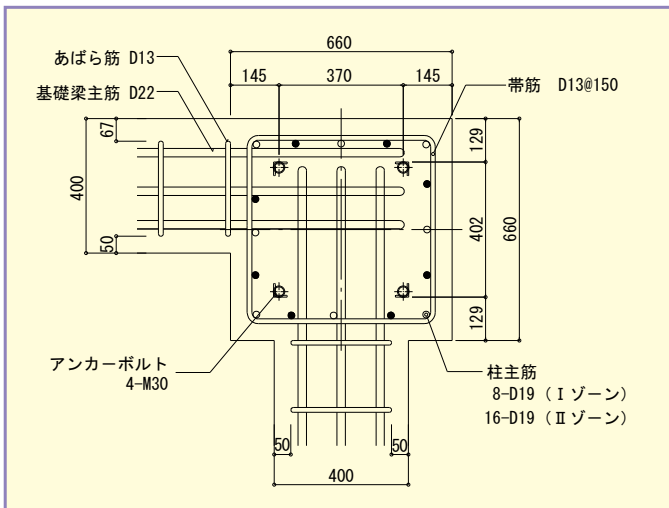
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~550	340~550	400~550	460~550
D22	280~550	340~550	400~550	460~550
D25	280~550	350~550	420~550	490~550

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	

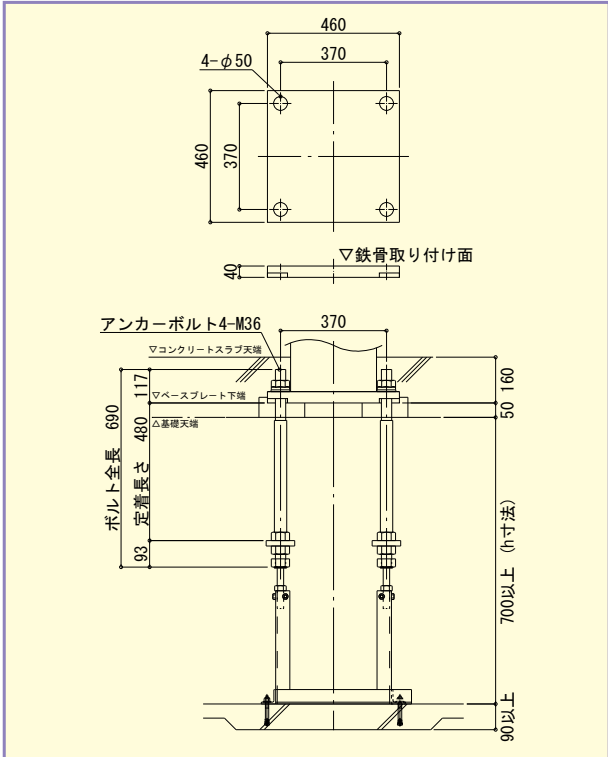


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

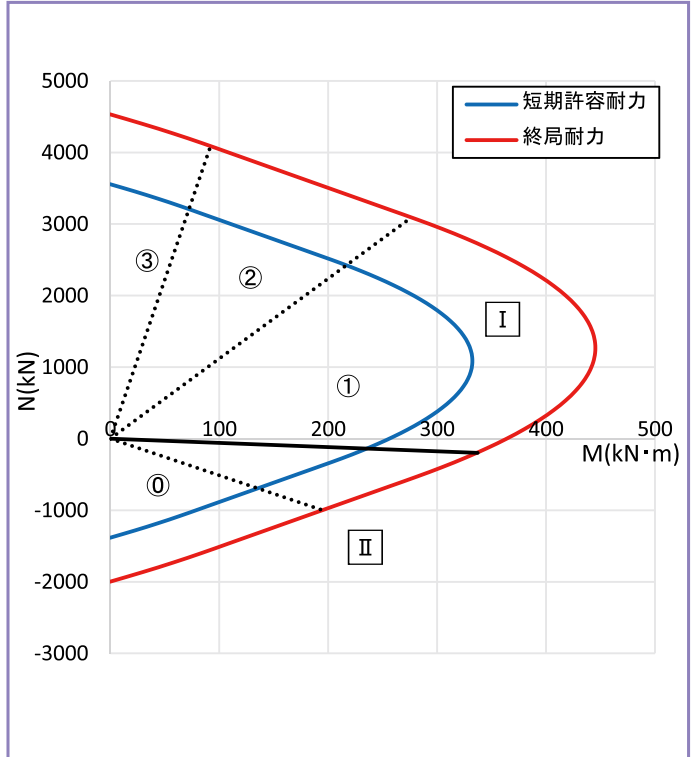
EB300-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	82.9 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	660	12-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	660	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	660	12-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	660	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

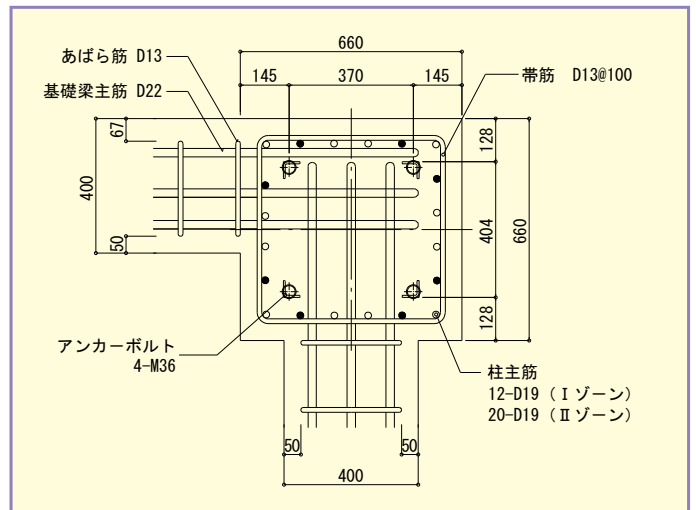
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	290~540	350~540	410~540	470~540
D22	290~540	350~540	410~540	470~540
D25	290~540	360~540	430~540	500~540

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	



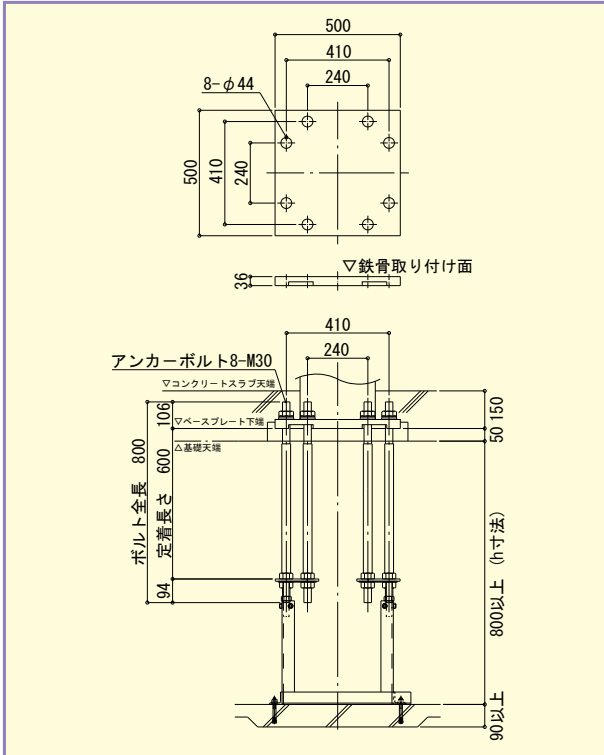
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB300-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

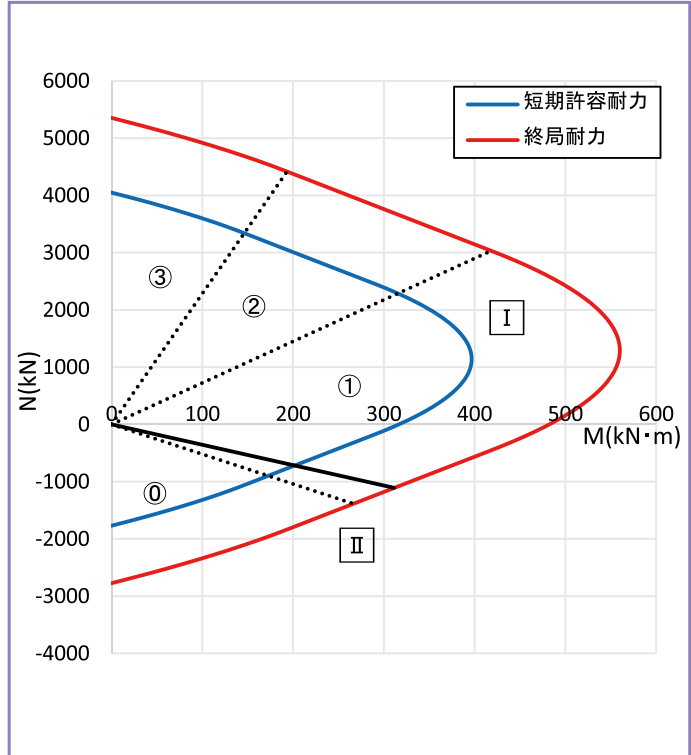
適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	69.4 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	440
〈中柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	440

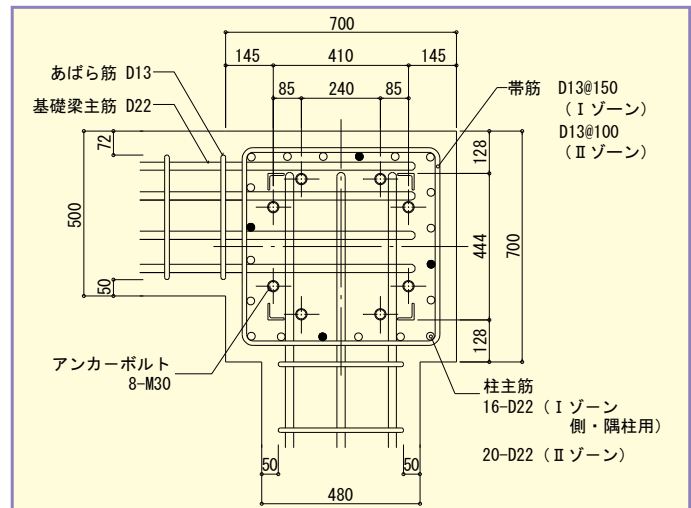
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~510	420~510	480~510	
D22	360~510	420~510	480~510	
D25	360~510	430~510	500~510	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320	* 480	* 480
D22	240~320	300~320	* 480	* 480
D25	250~320	320	* 480	* 480



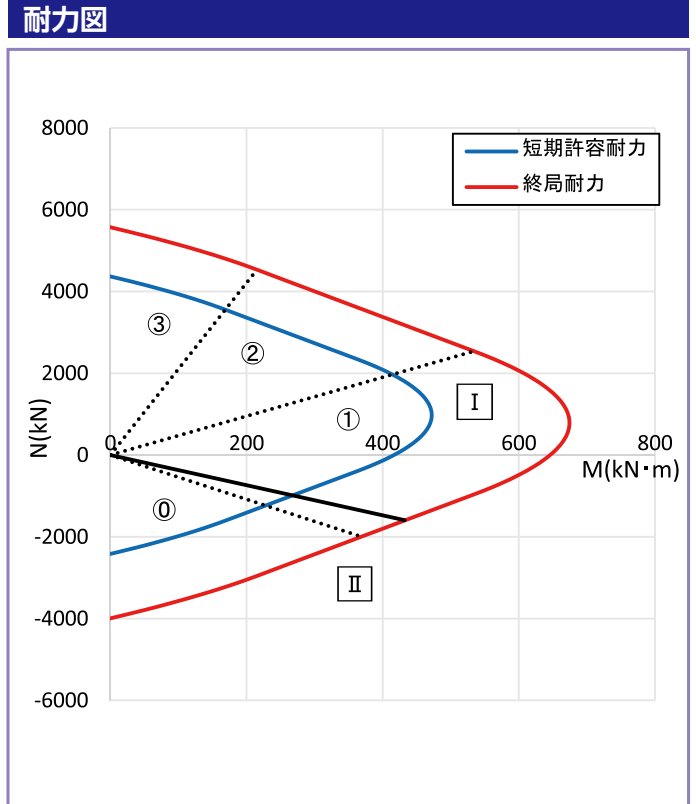
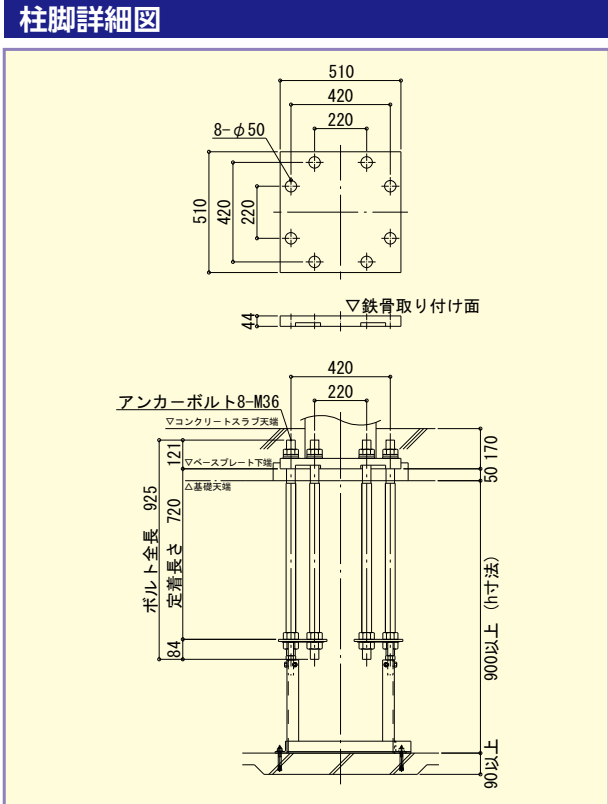
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB300-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	84.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	720	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	720	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	610
〈中柱用〉	720	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	720	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	610

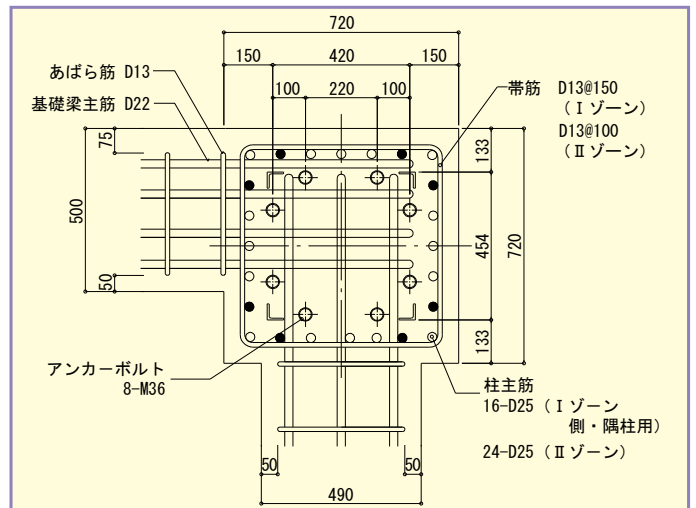
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~500	440~500	500	
D22	380~500	440~500	500	
D25	380~500	450~500		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~290	*490	*490	
D22	240~290	*490	*490	
D25	250~290	*490	*490	



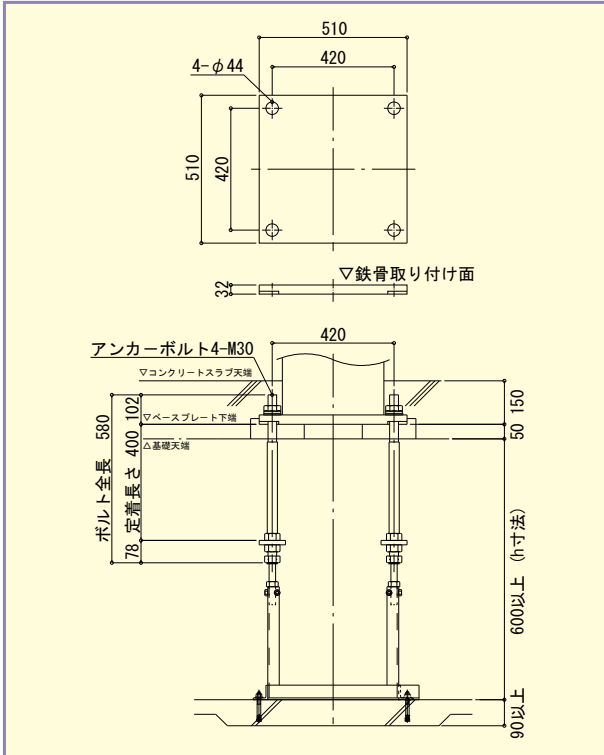
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

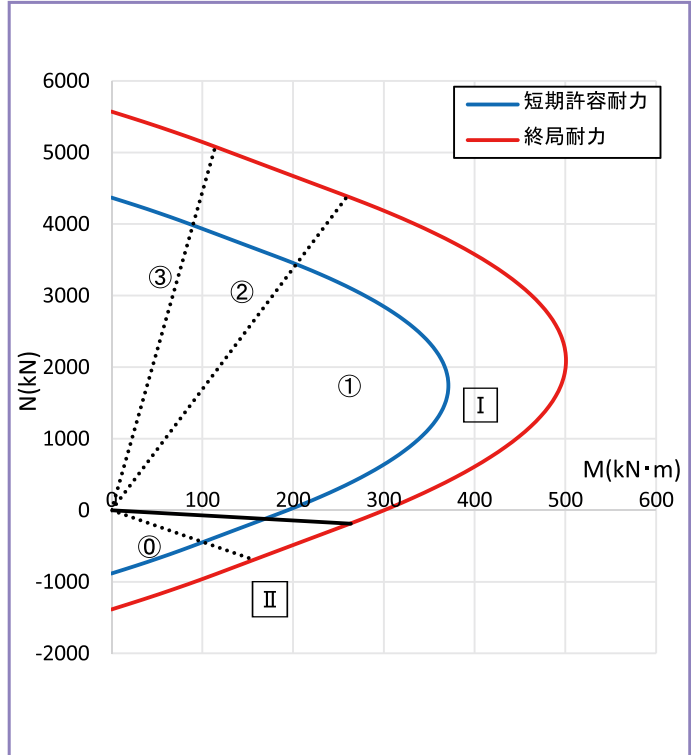
適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲: 9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	93.1 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	710	8-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	710	16-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	250
〈中柱用〉	710	8-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	710	16-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	250

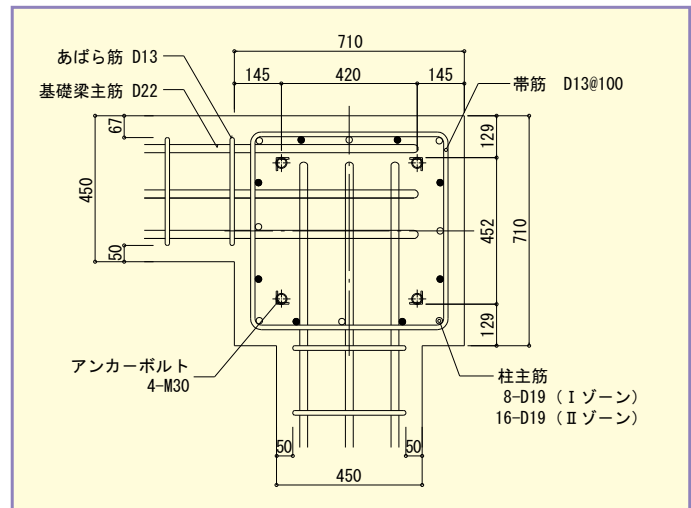
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~600	340~600	400~600	460~600
D22	280~600	340~600	400~600	460~600
D25	280~600	350~600	420~600	490~600

柱形中心基礎はりタイプ

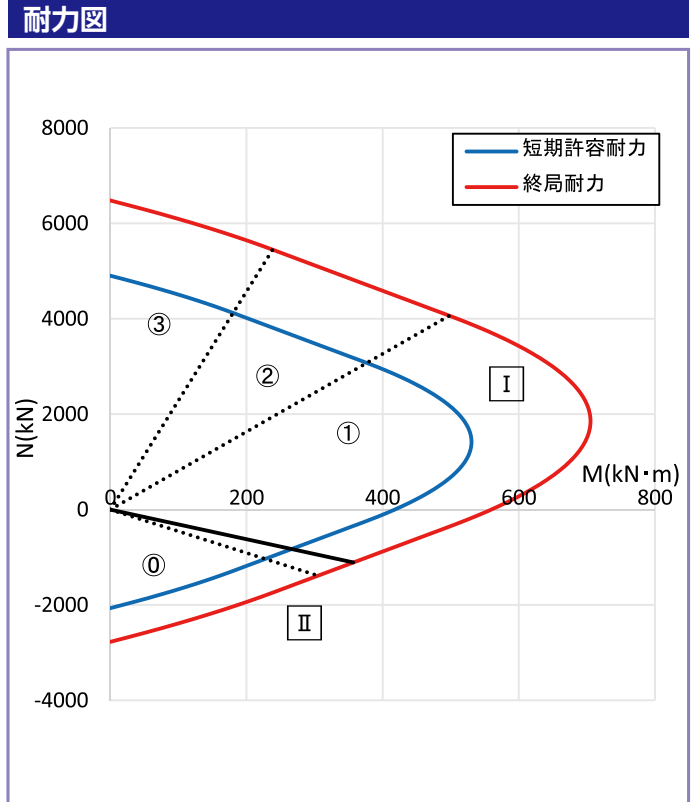
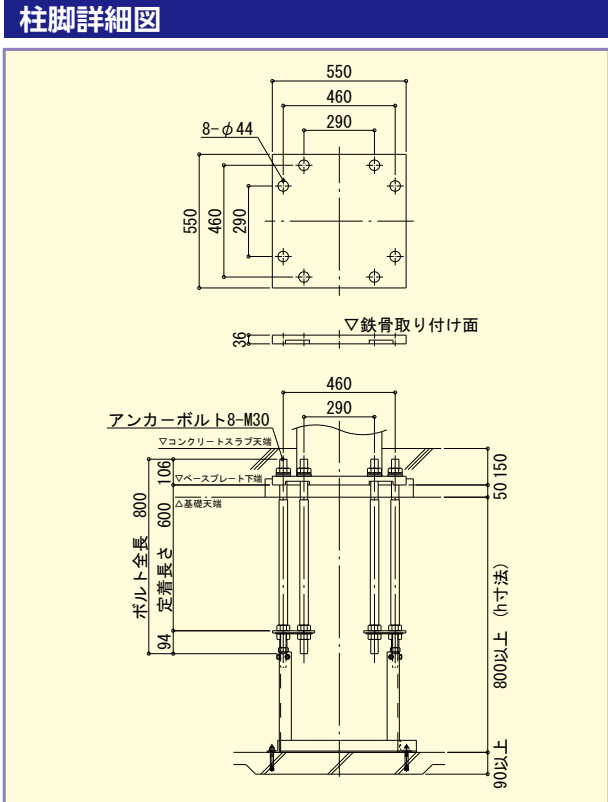
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	89.5 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	750	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	750	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

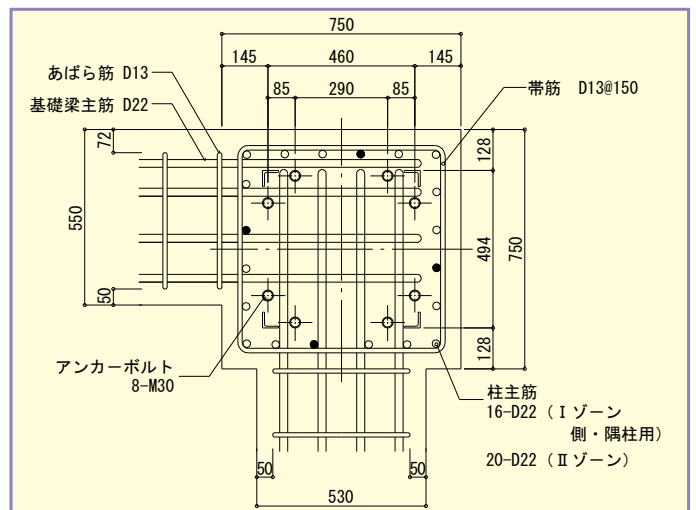
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~560	420~560	480~560	540~560
D22	360~560	420~560	480~560	540~560
D25	360~560	430~560	500~560	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~370	300~370	360~370	* 530
D22	240~370	300~370	360~370	* 530
D25	250~370	320~370	* 530	* 530



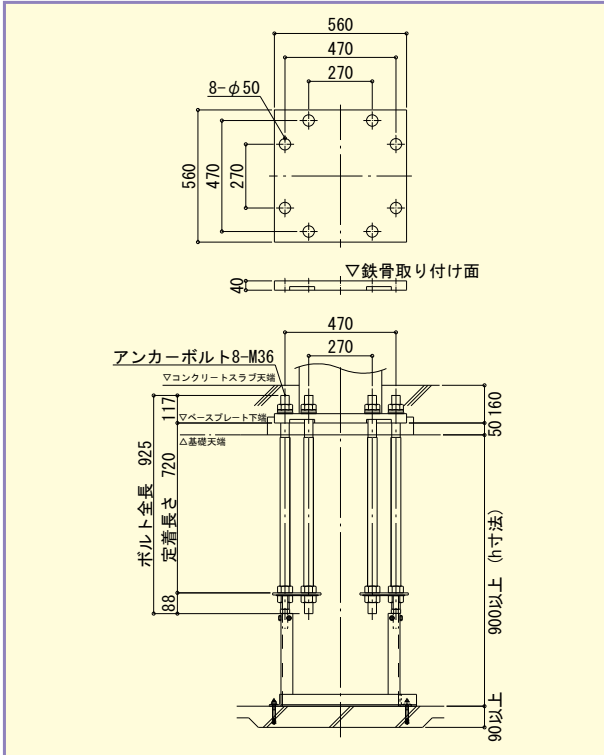
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

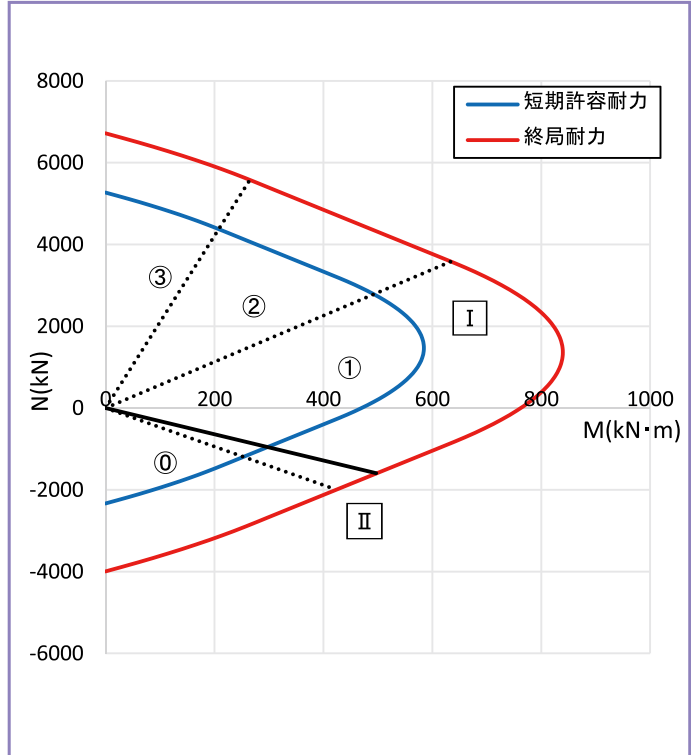
適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲: 9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	105 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590
〈中柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590

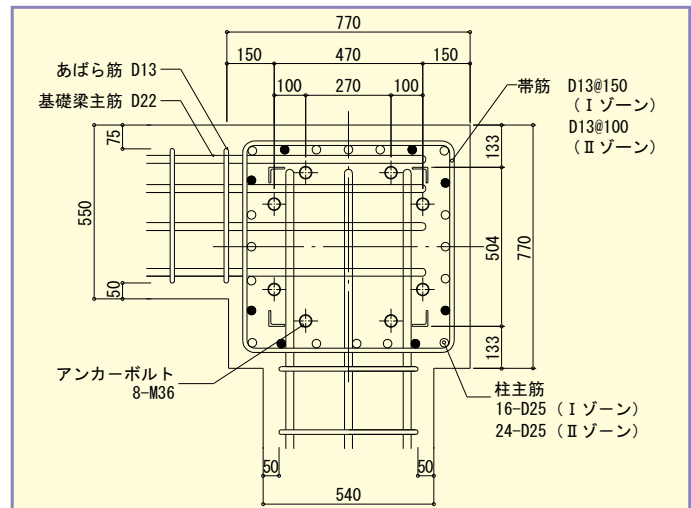
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540



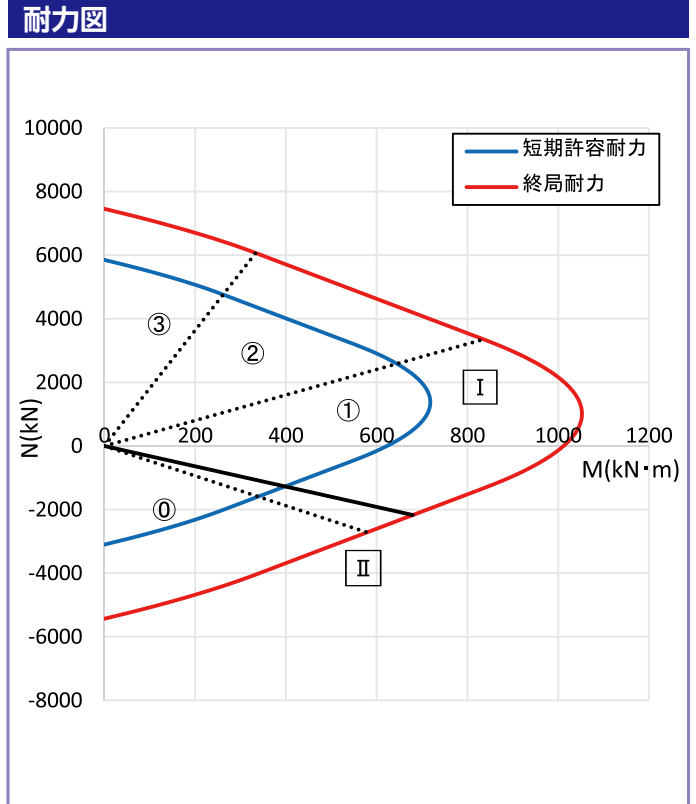
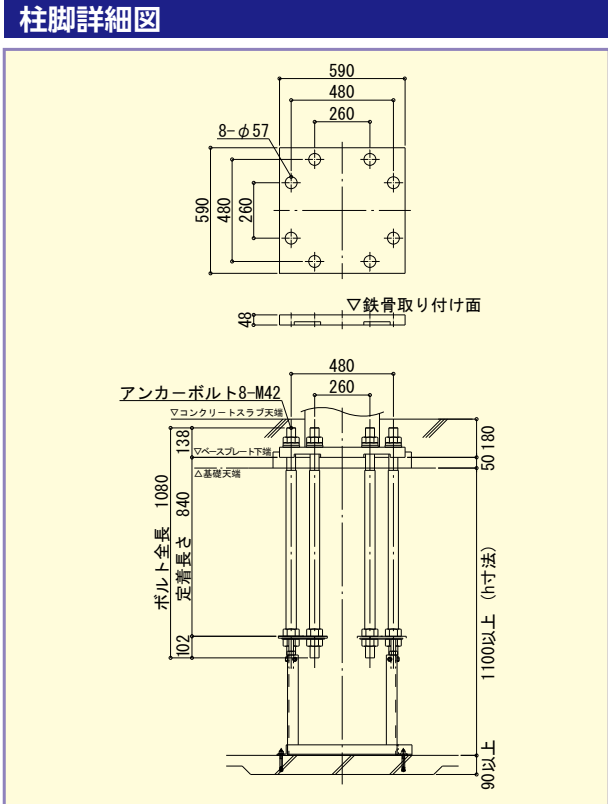
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	133×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	790	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	790	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

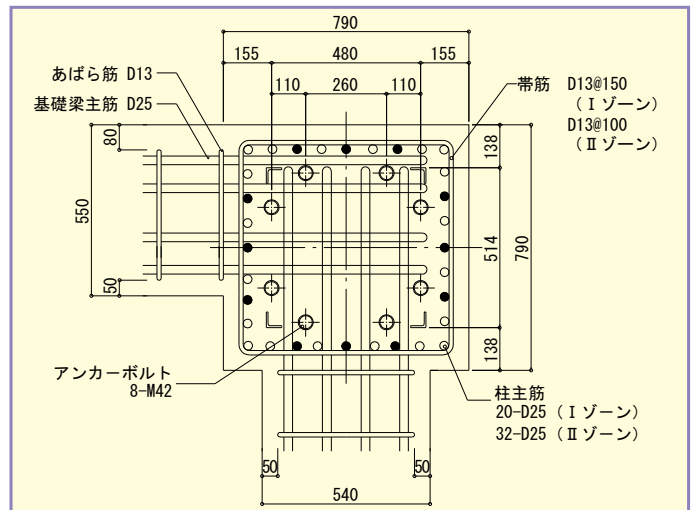
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~320	300~320	* 540	* 540
D25	250~320	320	* 540	* 540
D29	260~320	* 540	* 540	



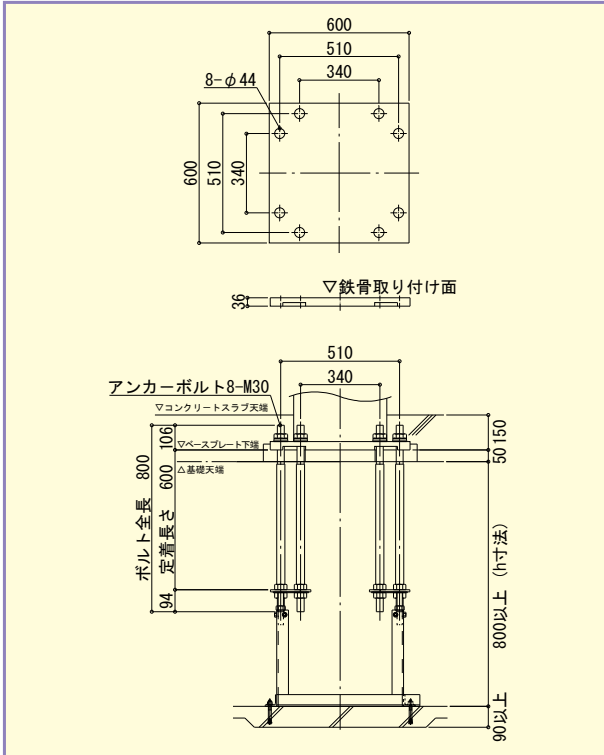
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

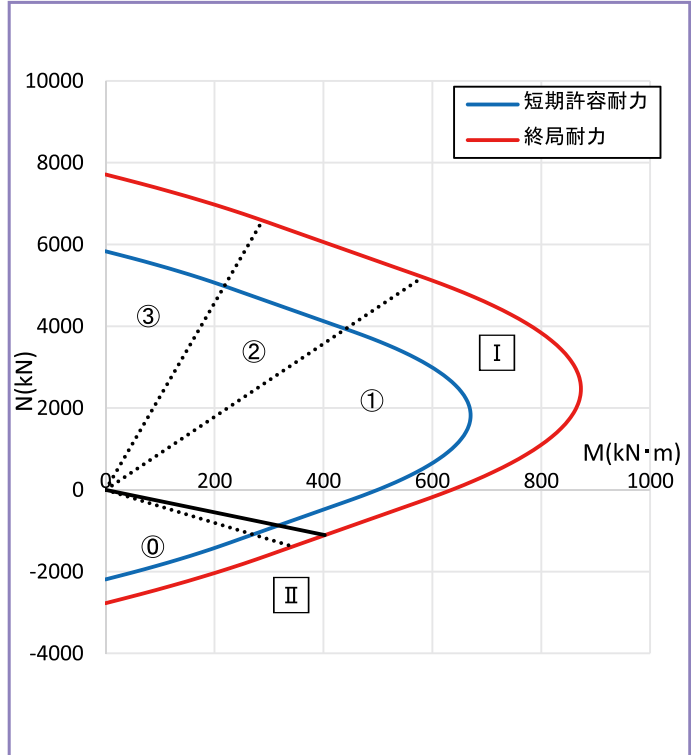
適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	111×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	800	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	470
〈中柱用〉	800	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	470

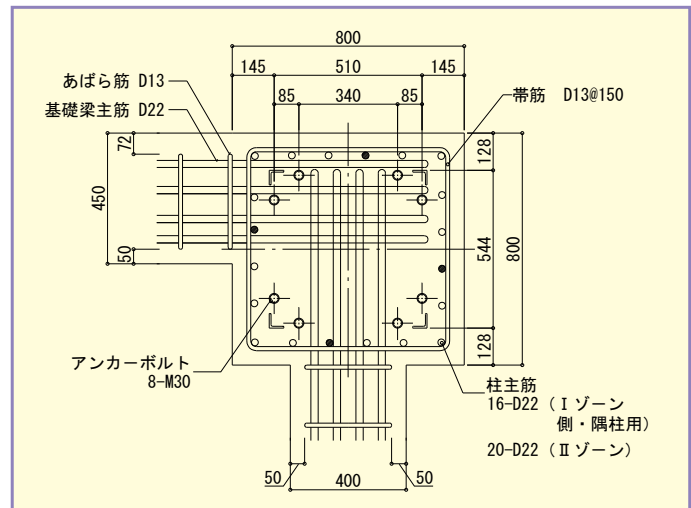
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~610	420~610	480~610	540~610
D22	360~610	420~610	480~610	540~610
D25	360~610	430~610	500~610	570~610

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	*580



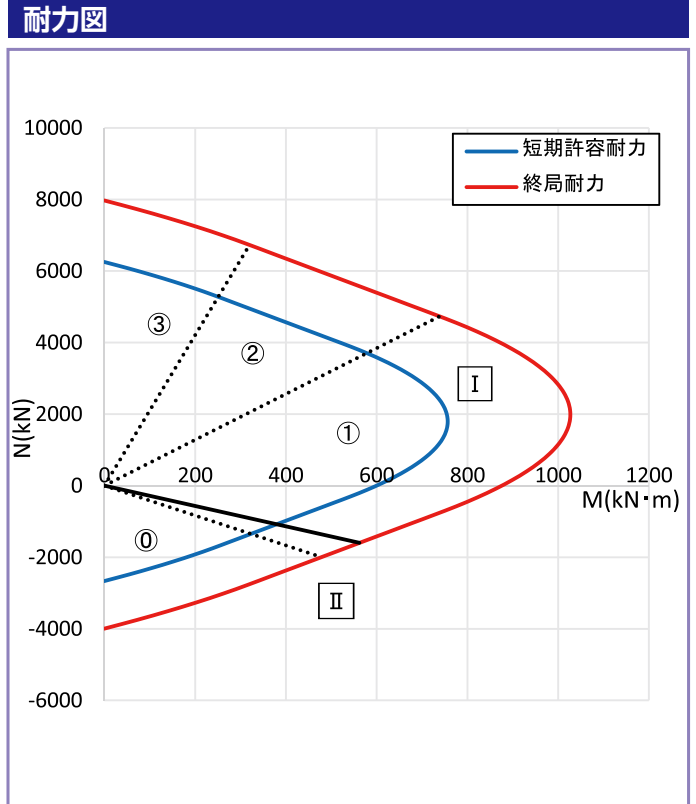
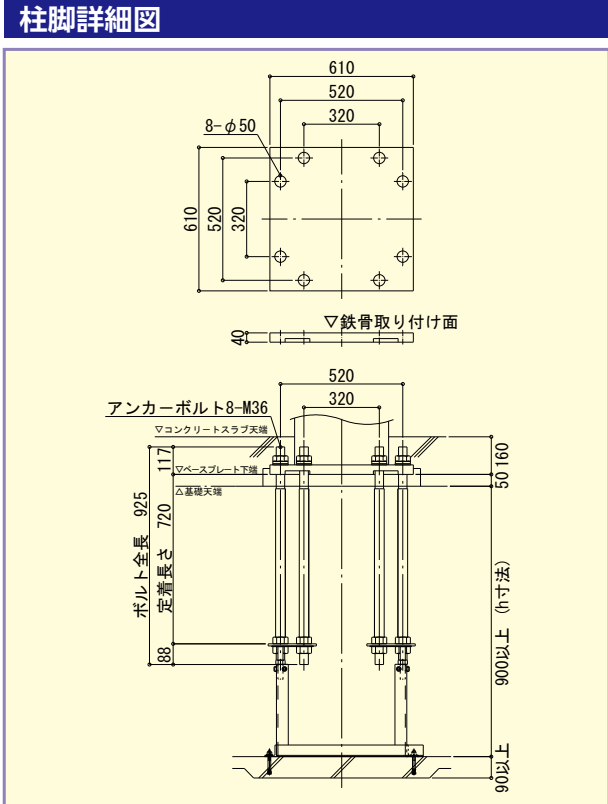
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	127×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	820	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

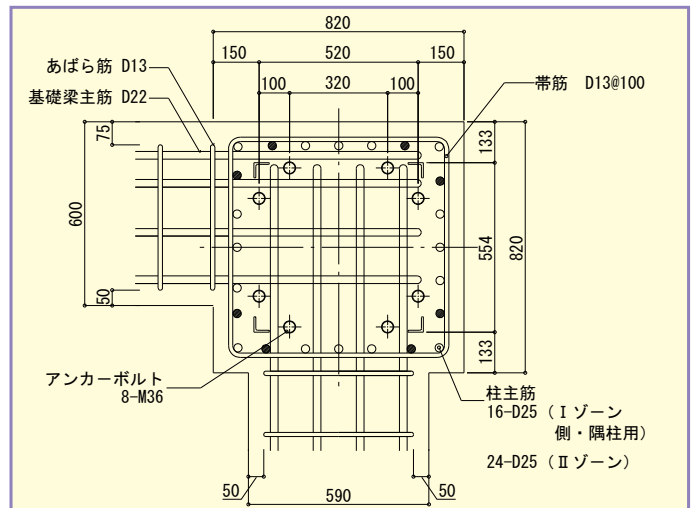
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~600	440~600	500~600	560~600
D22	380~600	440~600	500~600	560~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	* 590
D22	240~390	300~390	360~390	* 590
D25	250~390	320~390	390	* 590



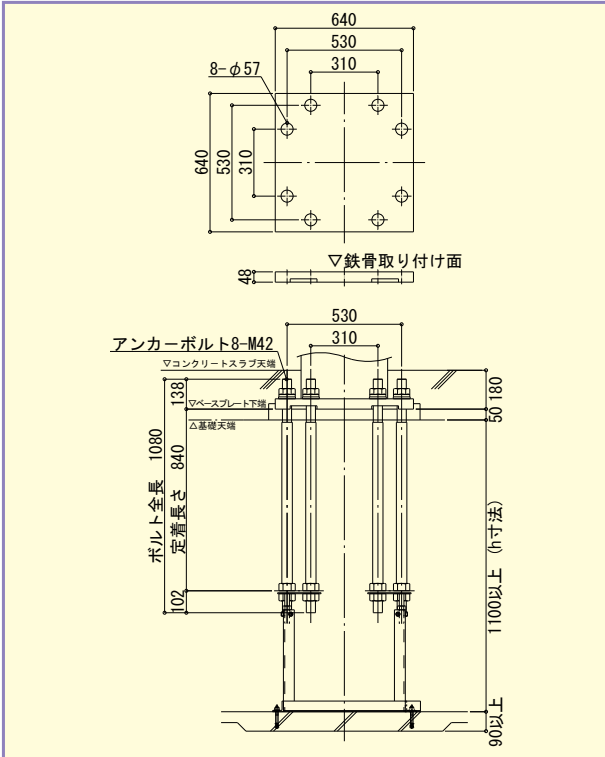
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

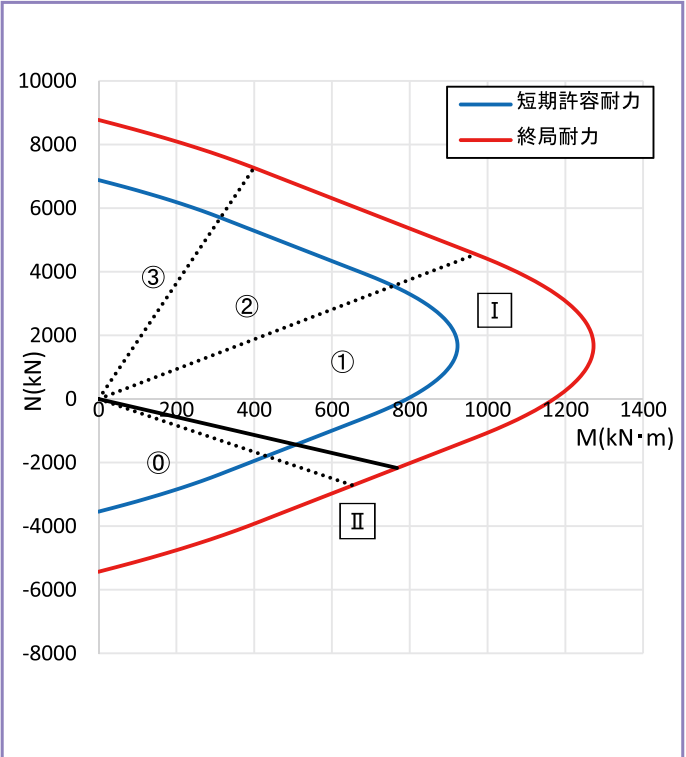
適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲: 9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	175 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

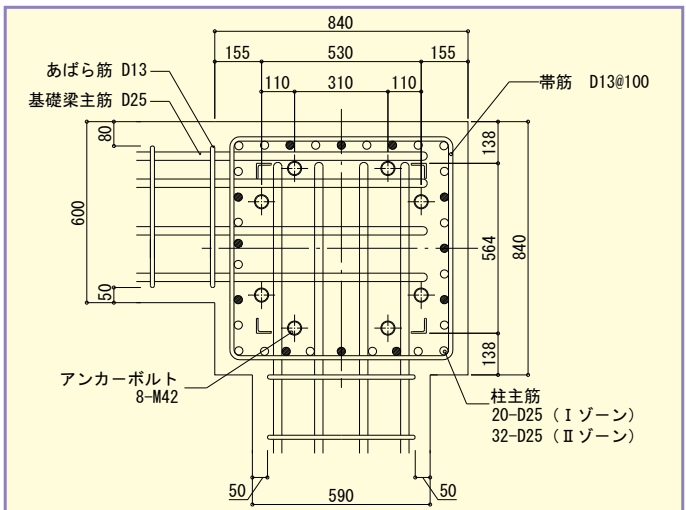
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~600	460~600	520~600	580~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~370	300~370	360~370	* 590
D25	250~370	320~370	* 590	* 590
D29	260~370	340~370	* 590	* 590

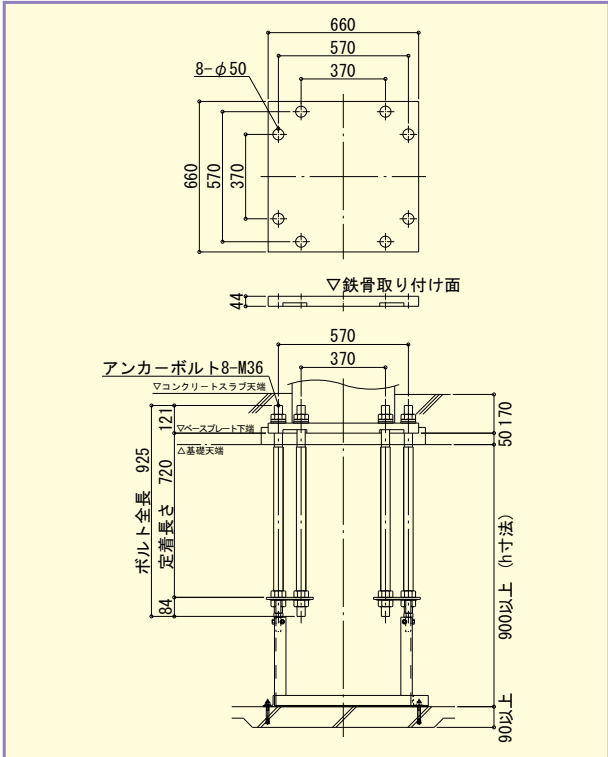


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2 本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

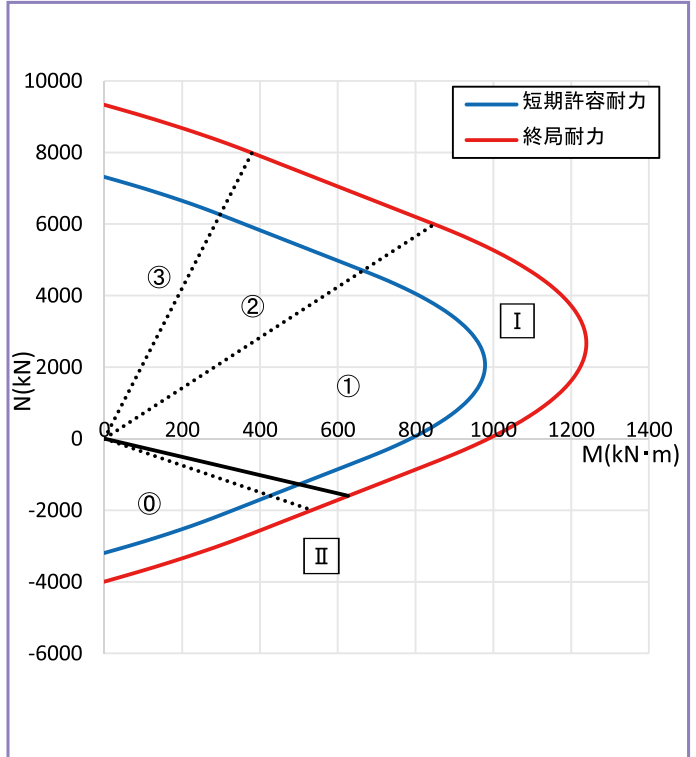
EB450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	169 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

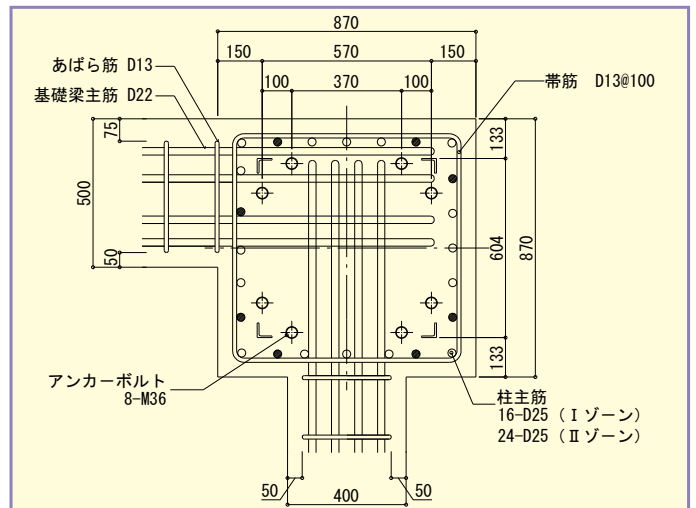
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~650	440~650	500~650	560~650
D22	380~650	440~650	500~650	560~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	* 640



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

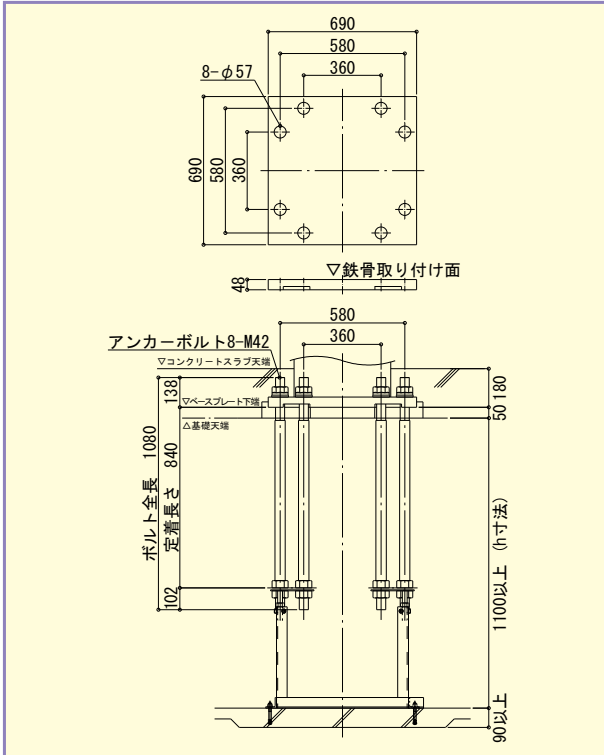
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

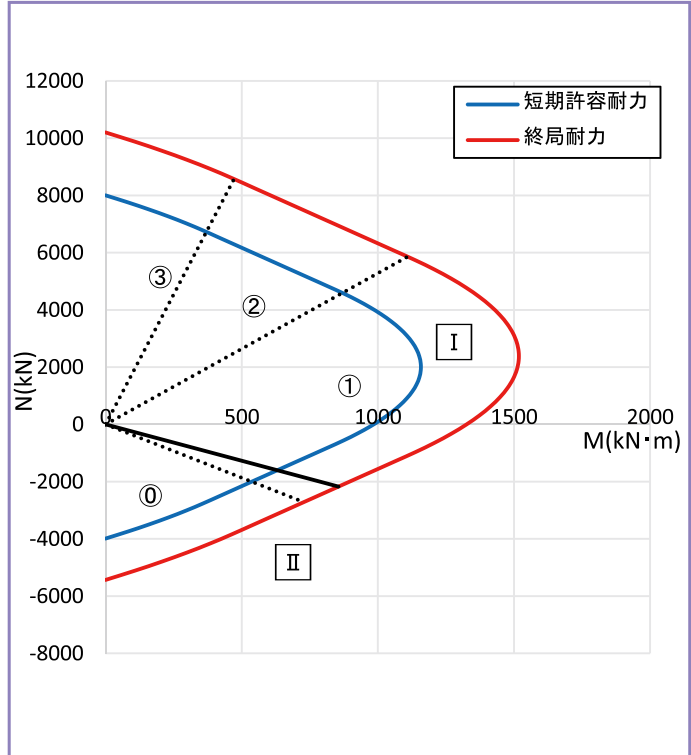
適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	199×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

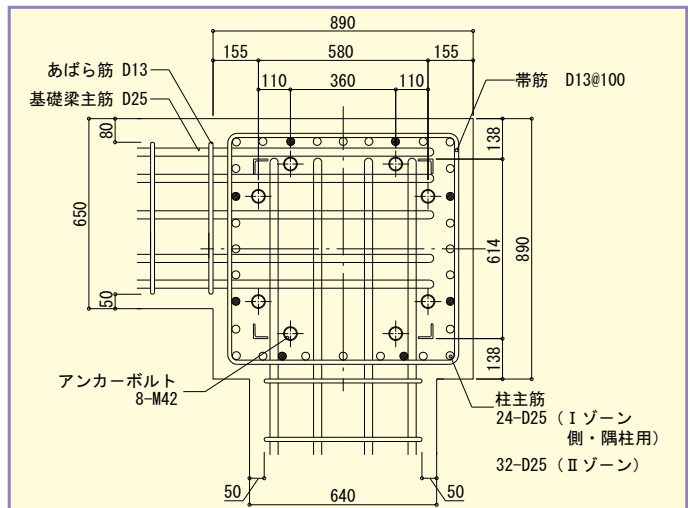
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~650	460~650	520~650	580~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	*640
D29	260~420	340~420	420	*640



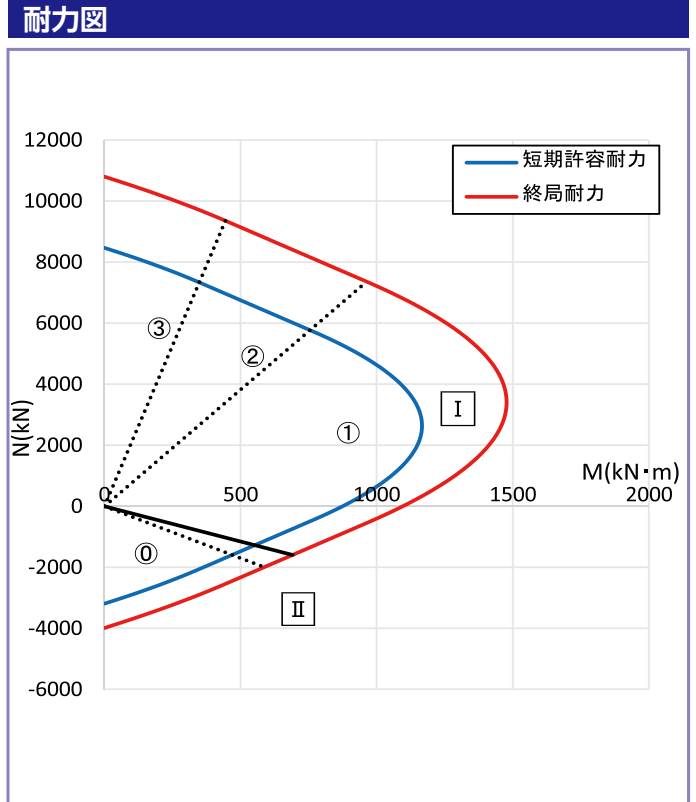
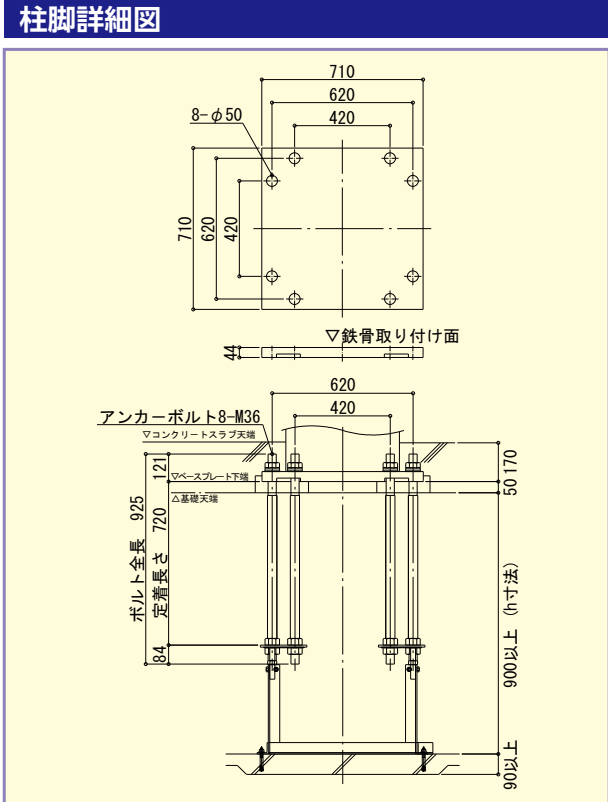
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	210×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

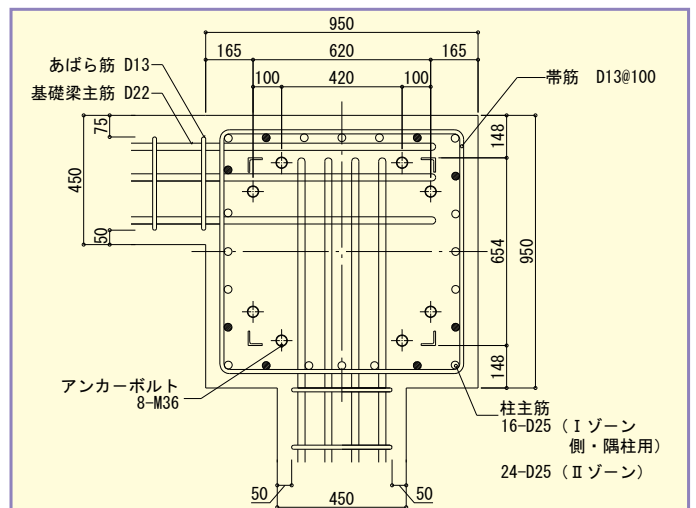
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~720	460~720	520~720	580~720
D22	400~720	460~720	520~720	580~720
D25	400~720	470~720	540~720	610~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490



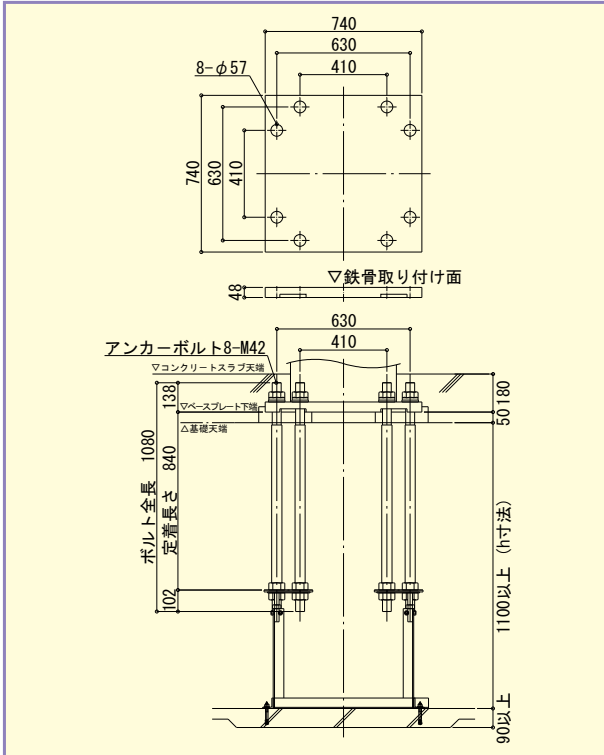
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーン<側・隅柱用>の場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

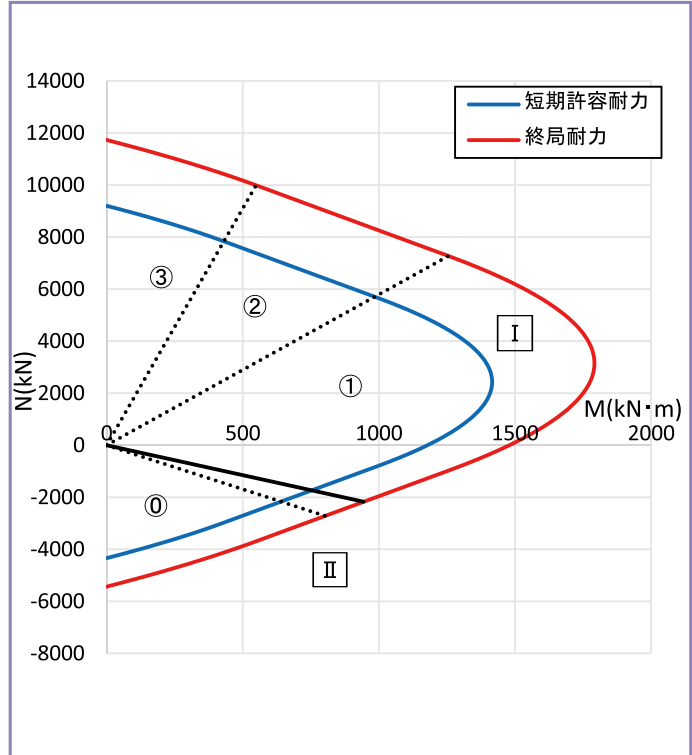
適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	238 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

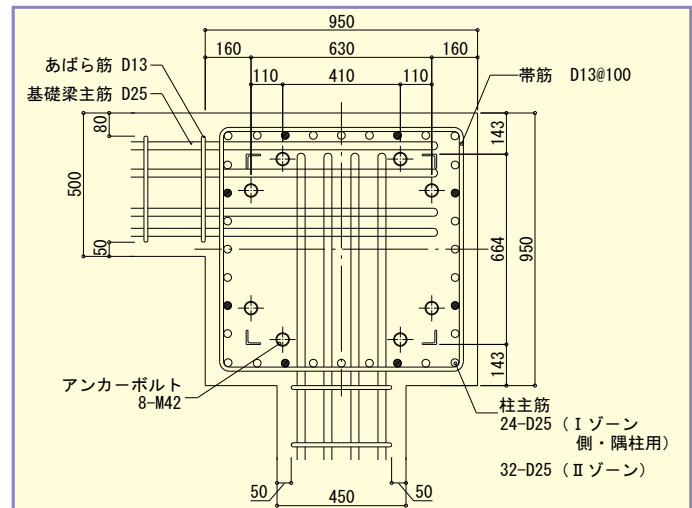
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	*690



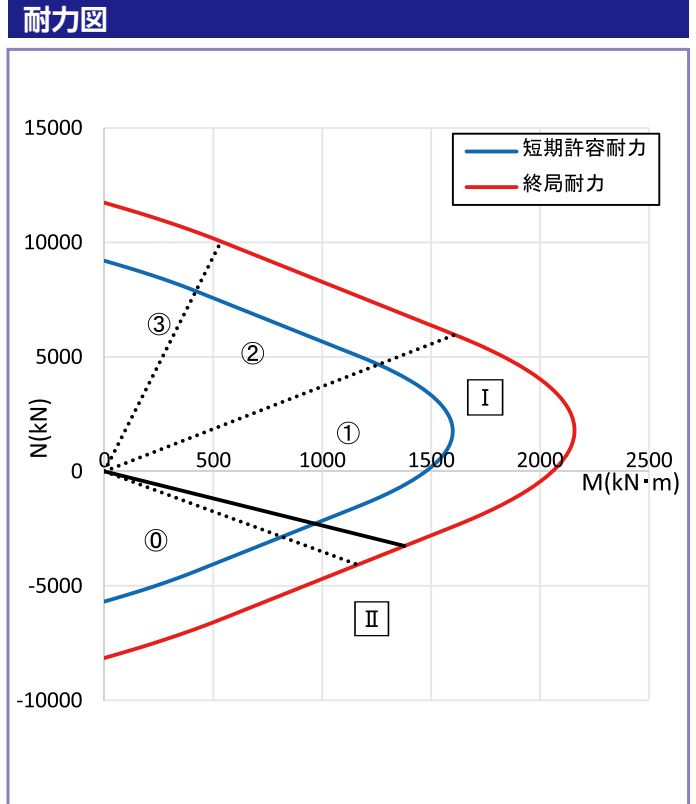
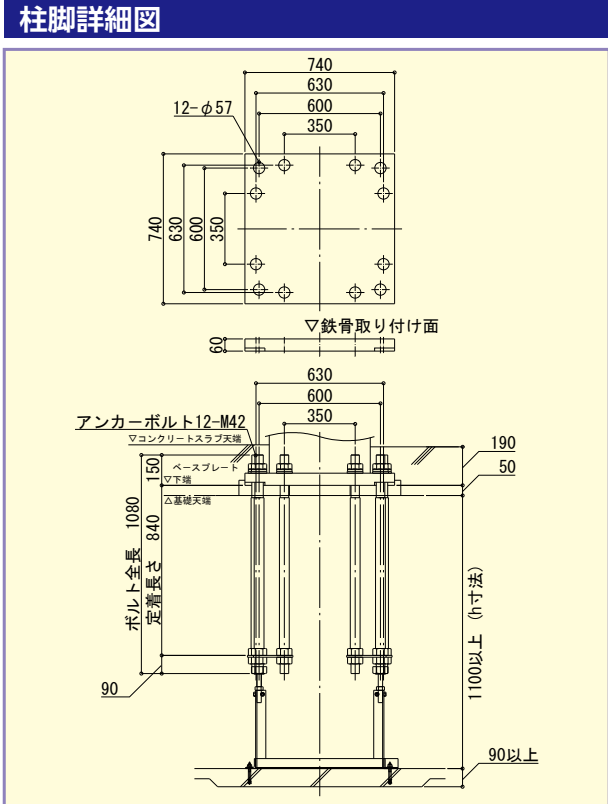
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-12-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M42)
回転ばね定数	396 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	28-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~680	500~680	560~680	620~680
D25	440~680	510~680	580~680	650~680
D29	440~680	520~680	600~680	680

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	* 650
D25	250~410	320~410	390~410	* 650
D29	260~410	340~410	* 650	* 650

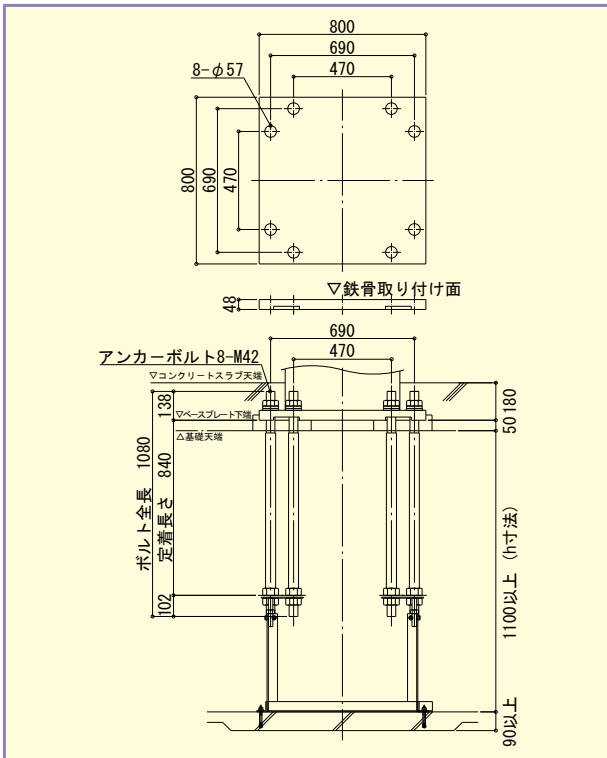
注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

EB550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

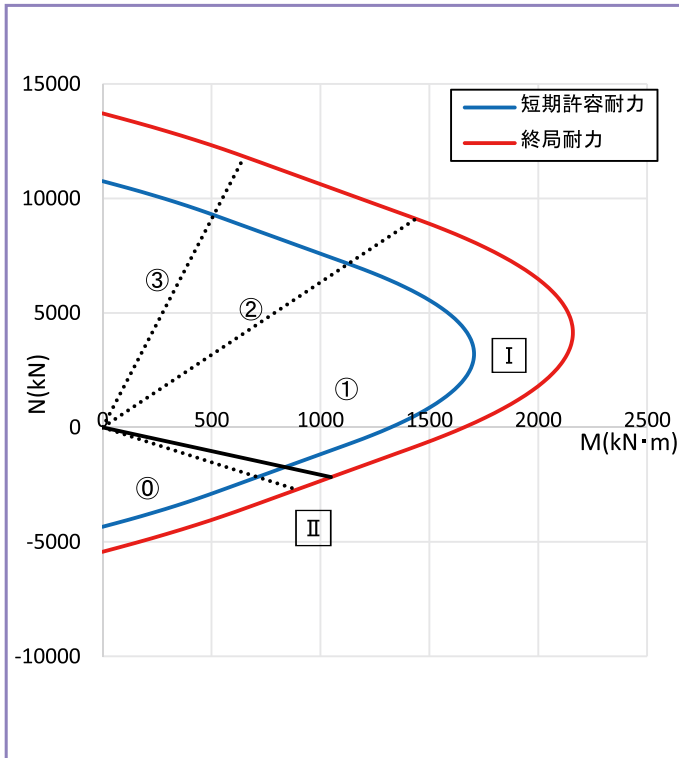
適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	317×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680

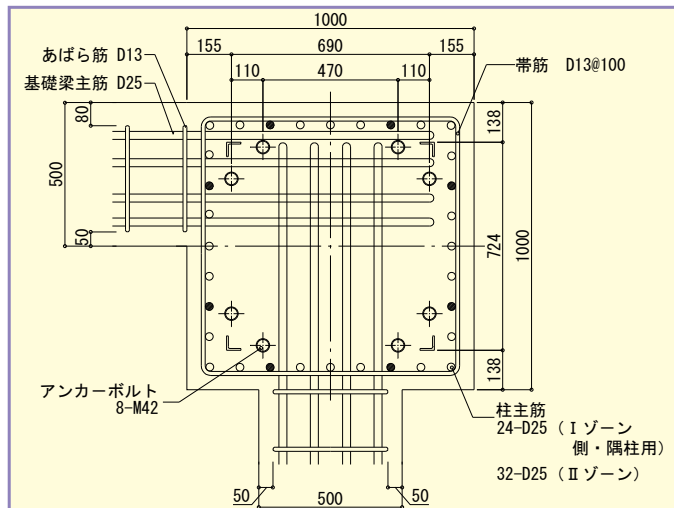
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~760	460~760	520~760	580~760
D25	400~760	470~760	540~760	610~760
D29	400~760	480~760	560~760	640~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530



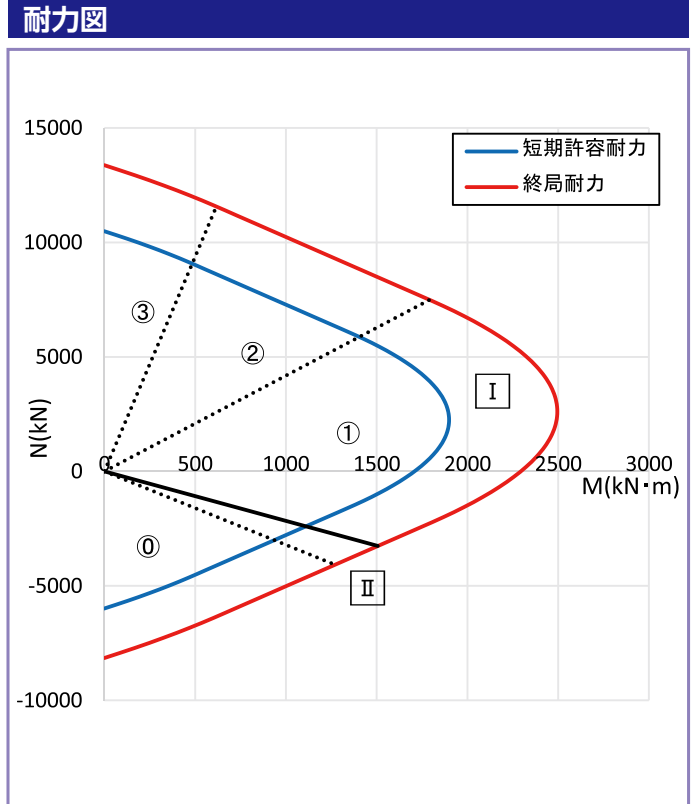
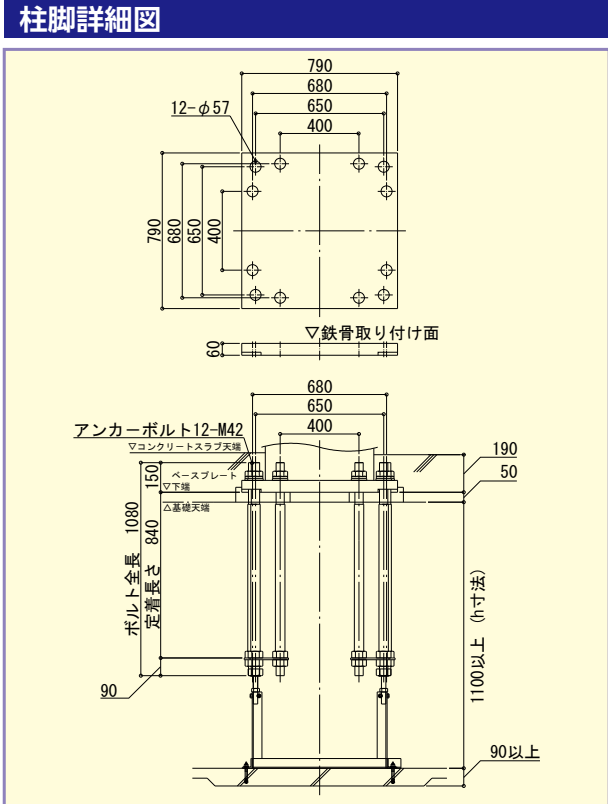
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB550-12-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M42)
回転ばね定数	475 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	28-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630

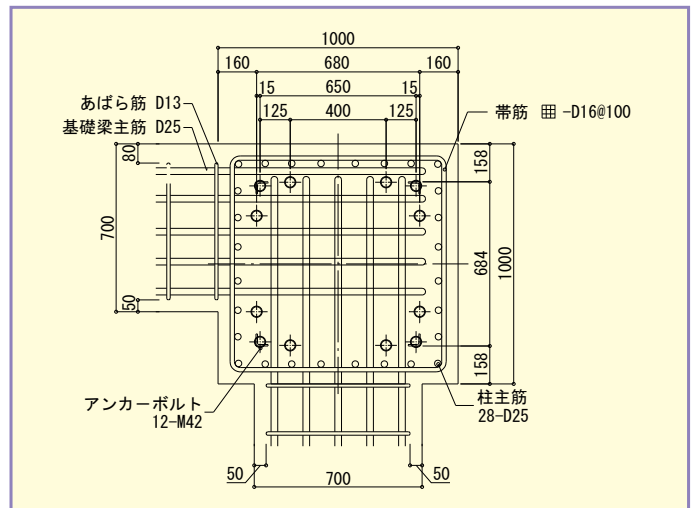
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~730	500~730	560~730	620~730
D25	440~730	510~730	580~730	650~730
D29	440~730	520~730	600~730	680~730

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	*700

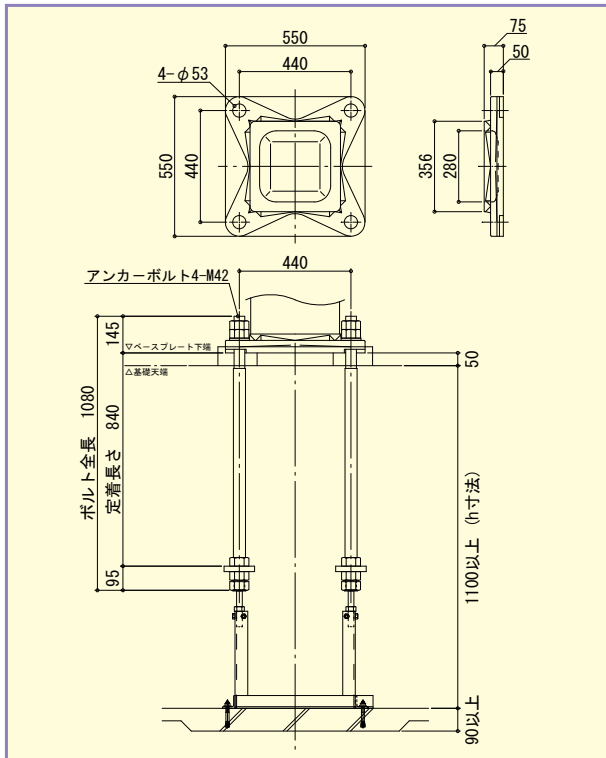


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
 注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

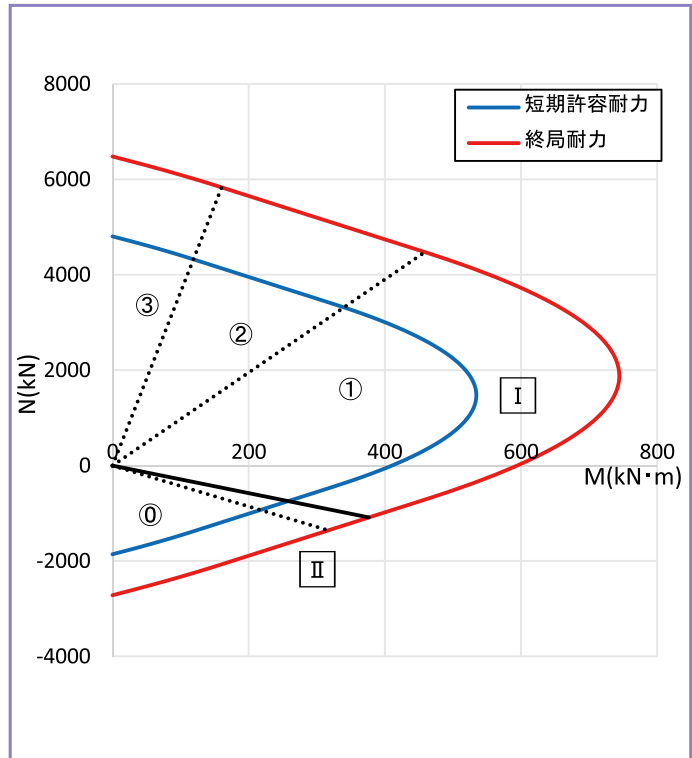
GB350-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	128×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	750	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	510
〈中柱用〉	750	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	510

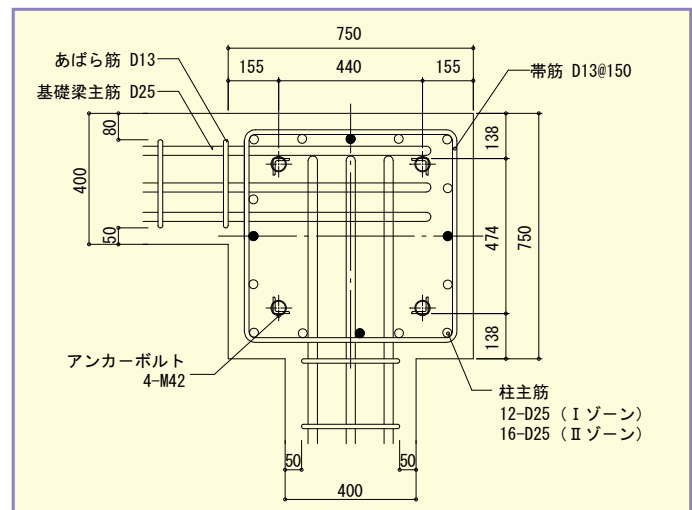
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~610	360~610	420~610	480~610
D25	300~610	370~610	440~610	510~610
D29	300~610	380~610	460~610	540~610

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~480	300~480	360~480	420~480
D25	250~480	320~480	390~480	460~480
D29	260~480	340~480	420~480	

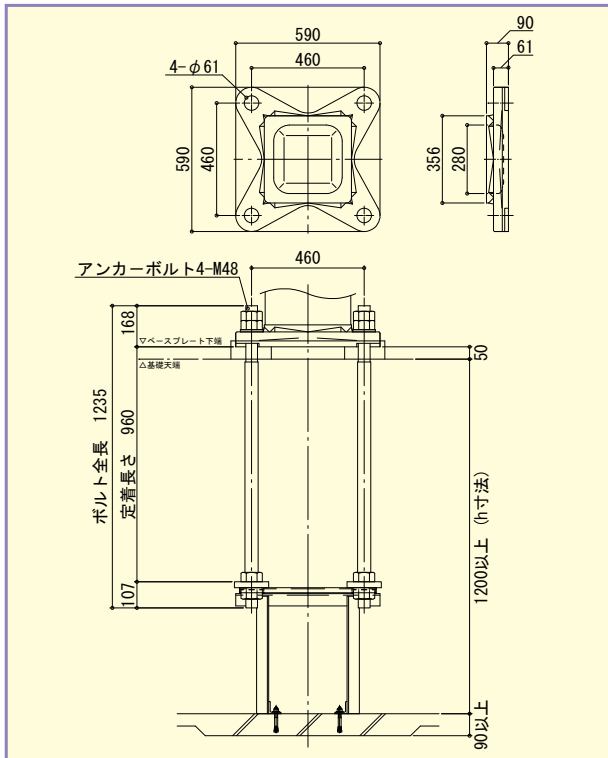


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

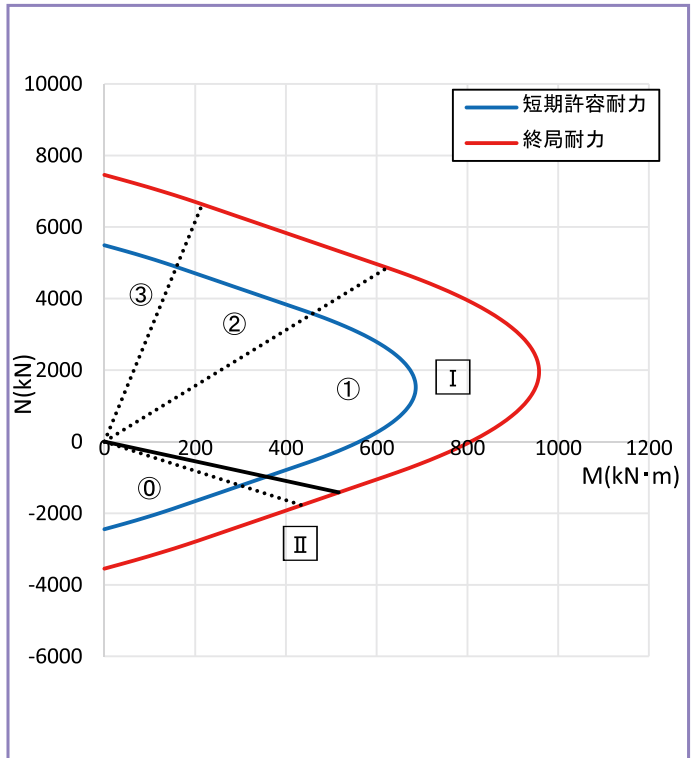
GB350-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	156 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	610
〈中柱用〉	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	610

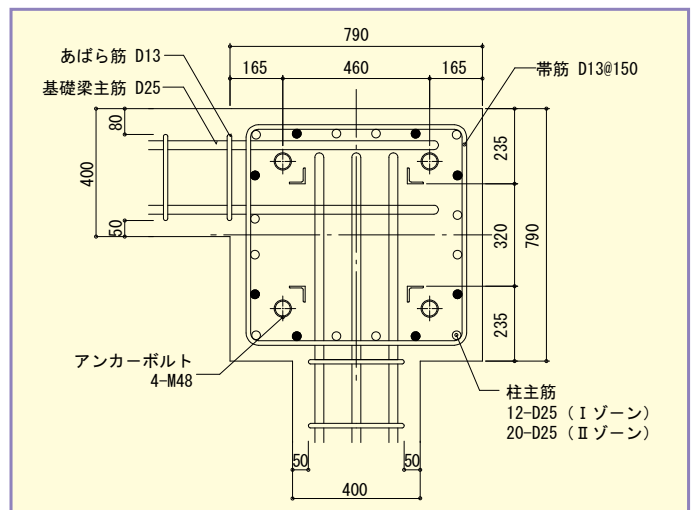
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~600	400~600	460~600	520~600
D25	340~600	410~600	480~600	550~600
D29	340~600	420~600	500~600	580~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~430	300~430	360~430	420~430
D25	250~430	320~430	390~430	
D29	260~430	340~430	420~430	

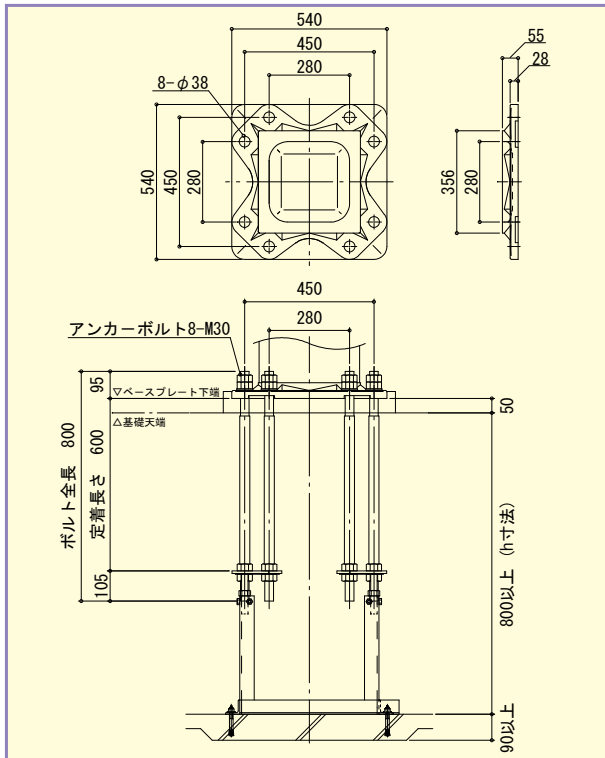


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

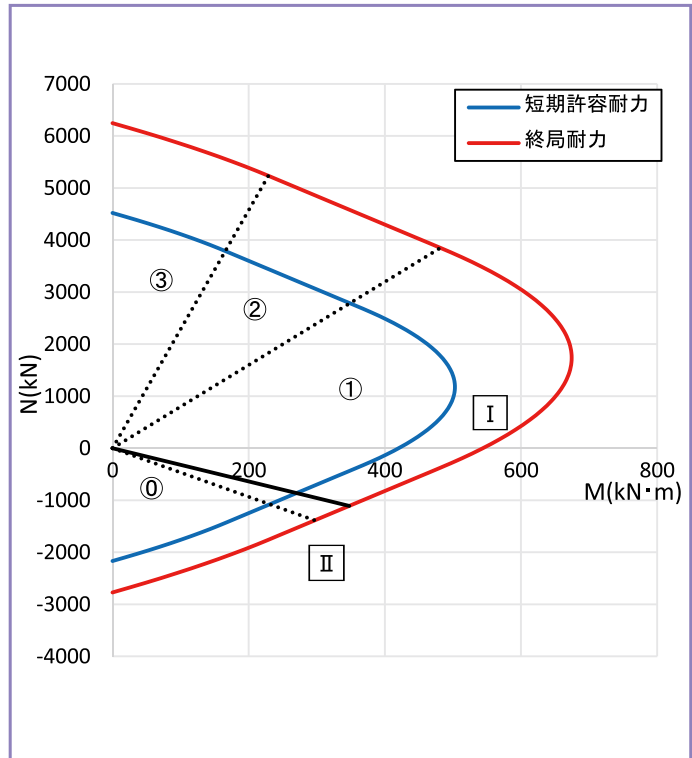
GB350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	150×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

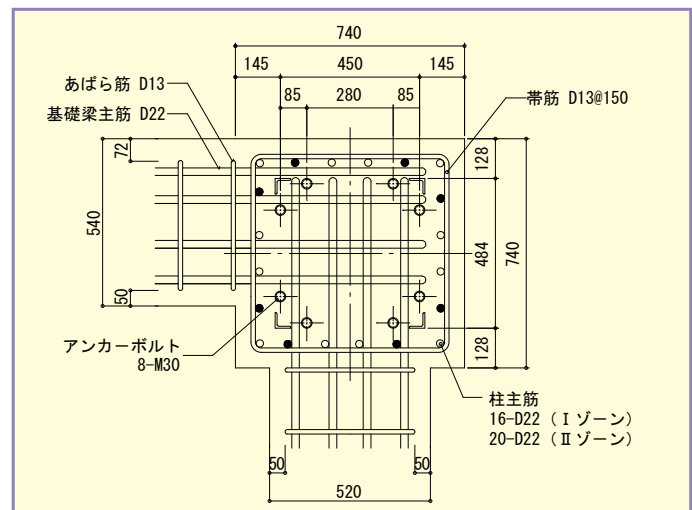
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~550	420~550	480~550	540~550
D22	360~550	420~550	480~550	540~550
D25	360~550	430~550	500~550	

柱形中心基礎はりタイプ

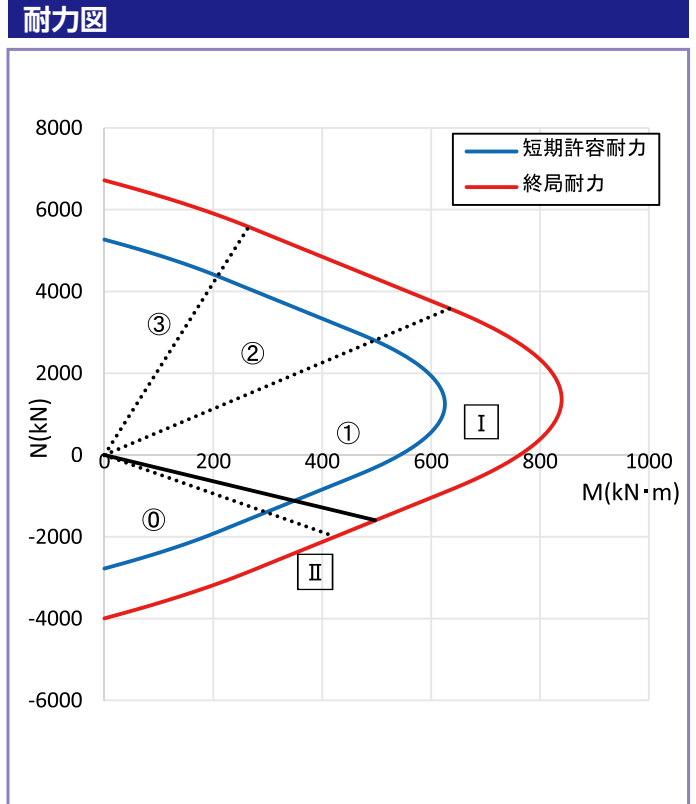
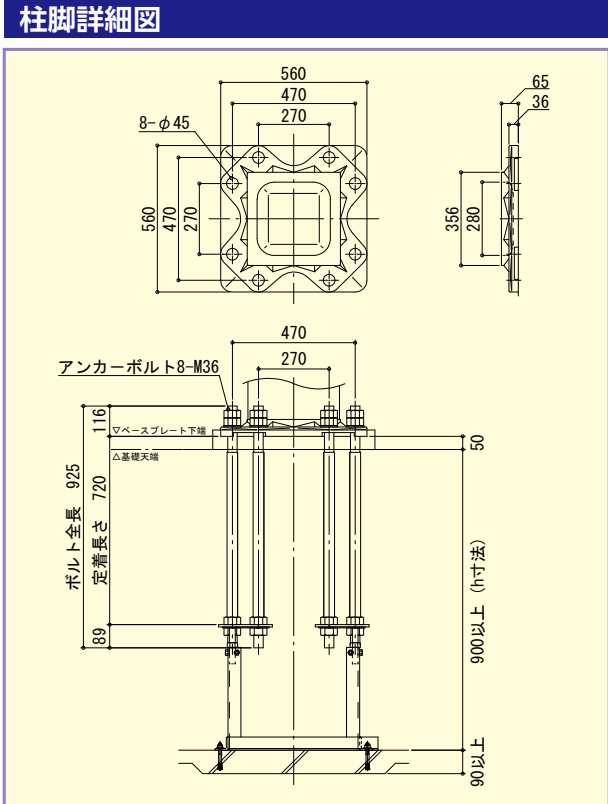
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~360	300~360	360	*520
D22	240~360	300~360	360	*520
D25	250~360	320~360	*520	*520



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB350-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	188 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590
〈中柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540

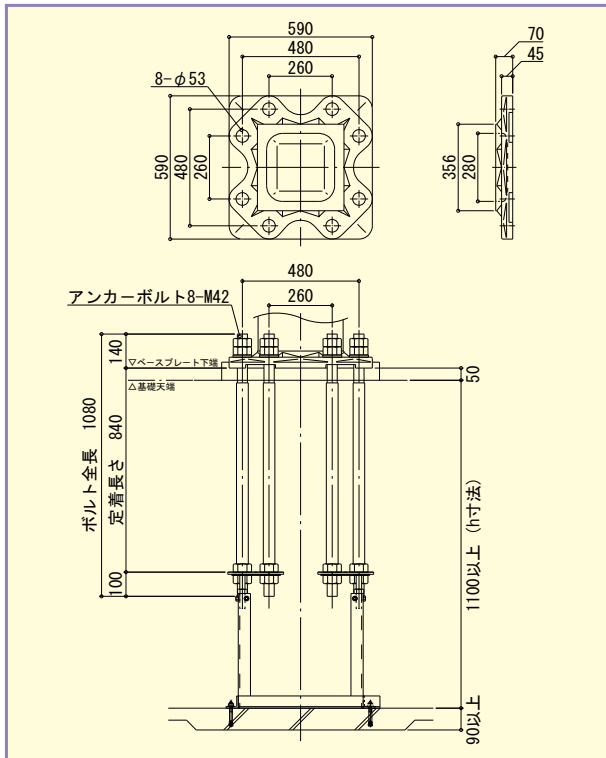
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

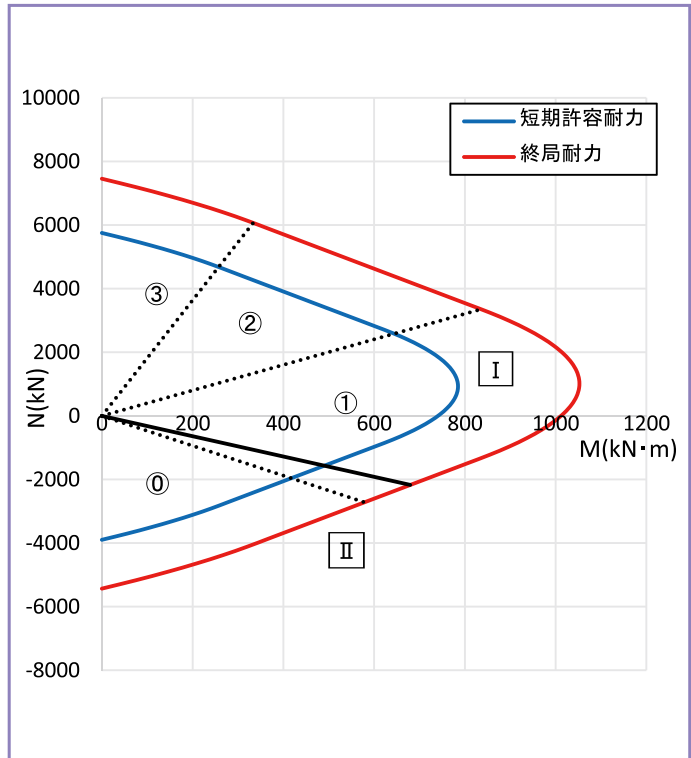
GB350-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	216×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	800	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	800	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	630

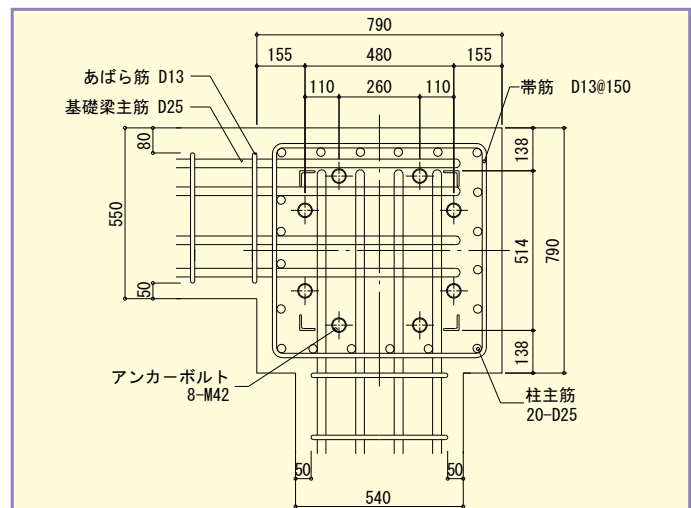
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~320	300~320	* 540	* 540
D25	250~320	320	* 540	* 540
D29	260~320	* 540	* 540	



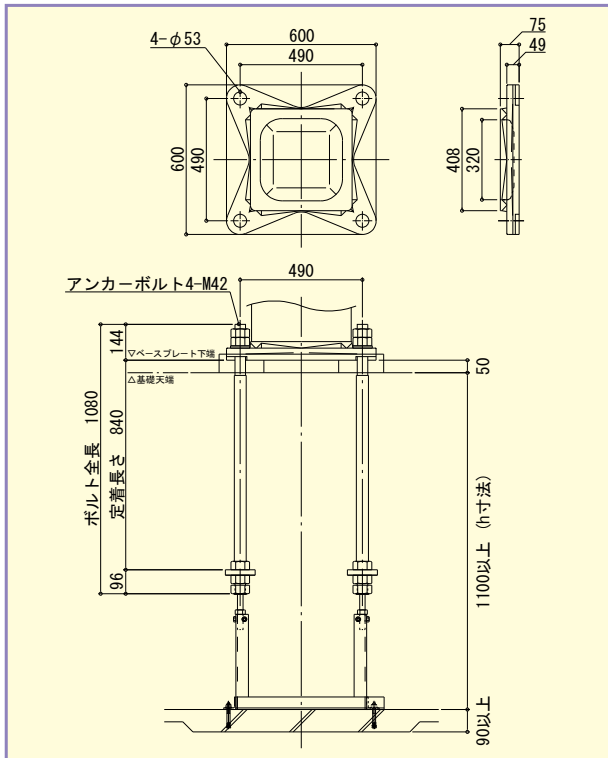
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

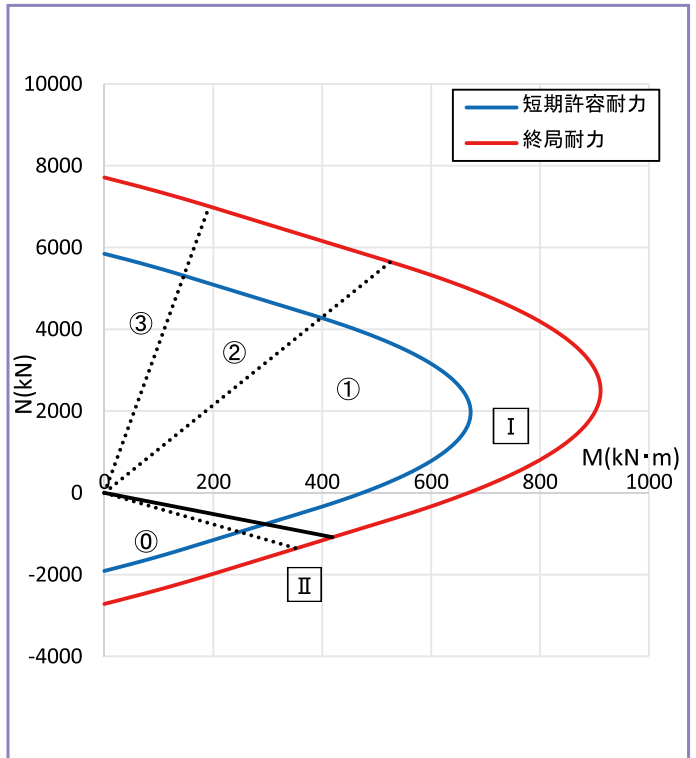
GB400-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	163×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420
〈中柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420

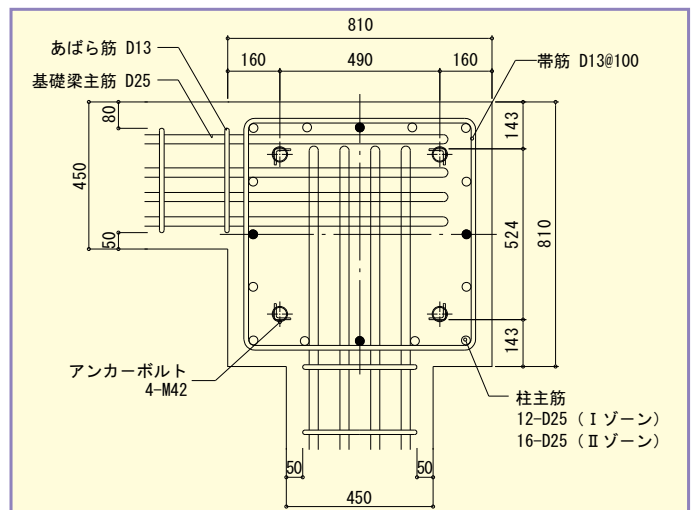
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~660	360~660	420~660	480~660
D25	300~660	370~660	440~660	510~660
D29	300~660	380~660	460~660	540~660

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530

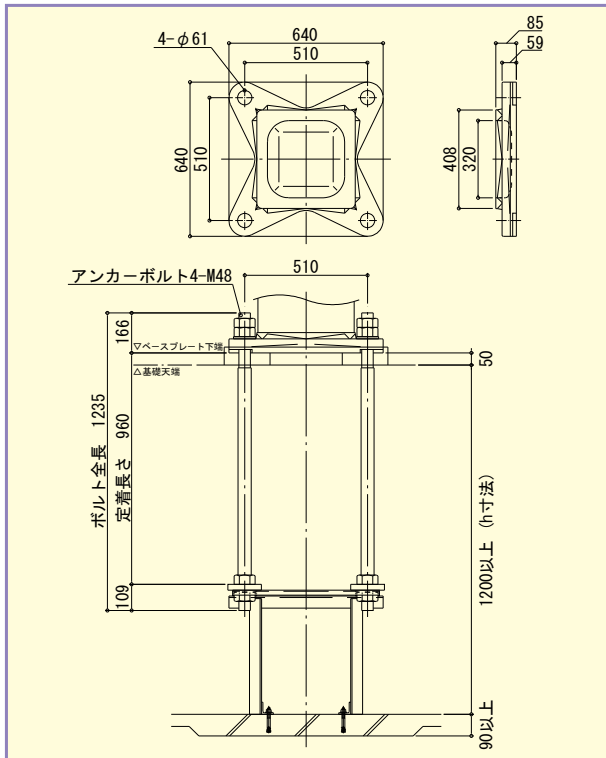


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

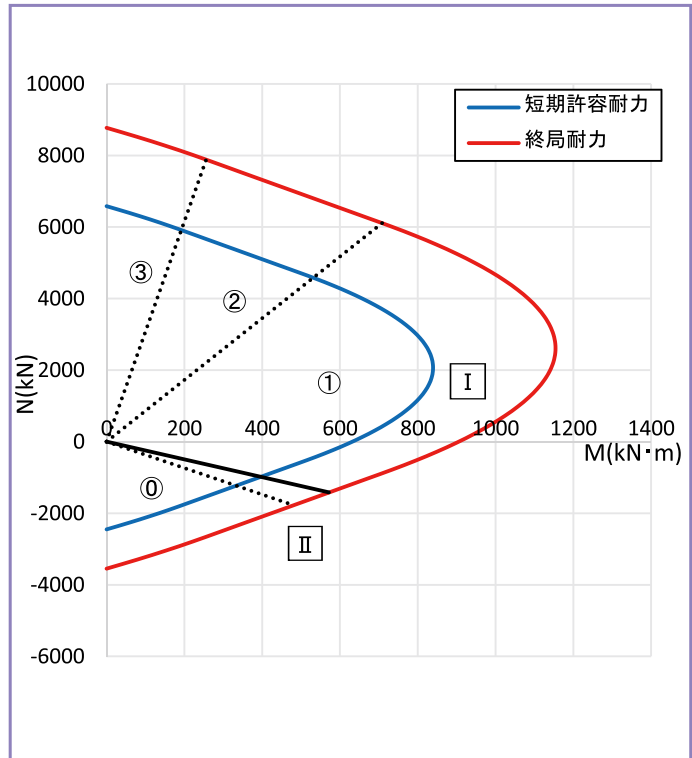
GB400-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	194 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	520
〈中柱用〉	840	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	520

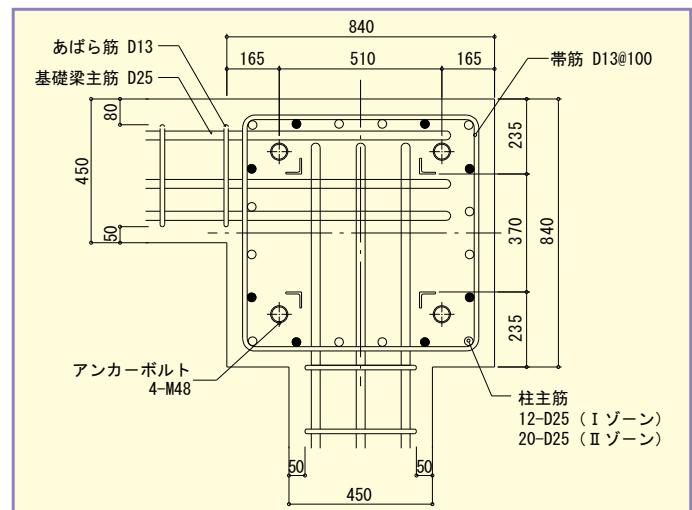
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~650	400~650	460~650	520~650
D25	340~650	410~650	480~650	550~650
D29	340~650	420~650	500~650	580~650

柱形中心基礎はりタイプ

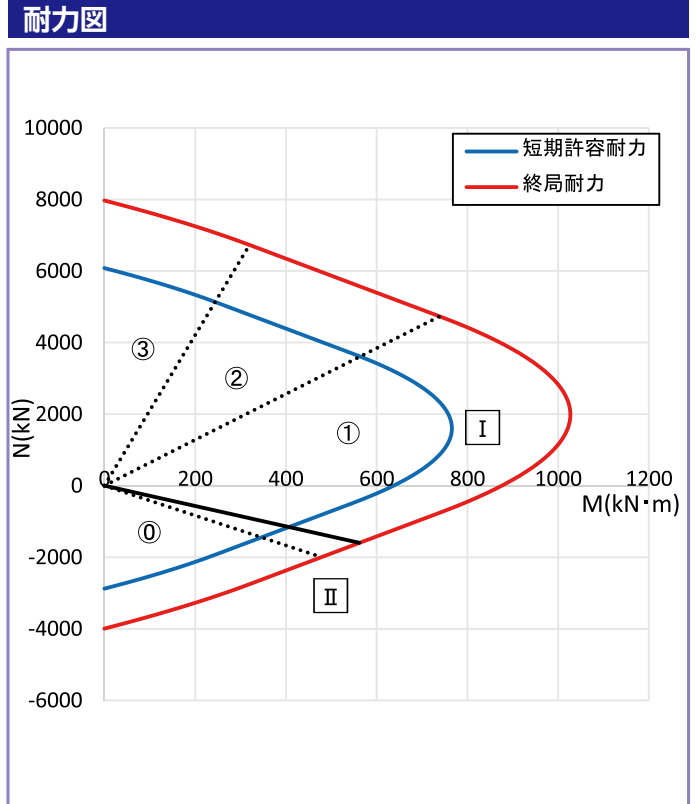
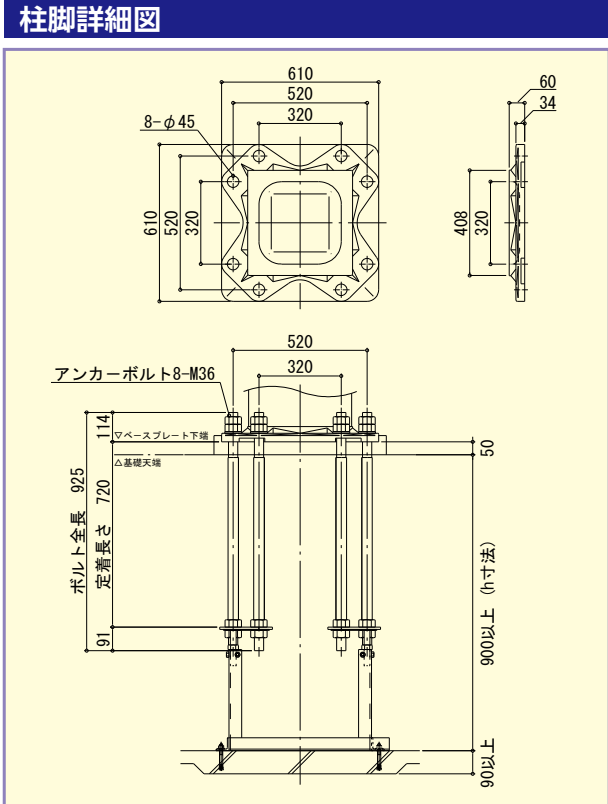
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~480	300~480	360~480	420~480
D25	250~480	320~480	390~480	460~480
D29	260~480	340~480	420~480	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

GB400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	234 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

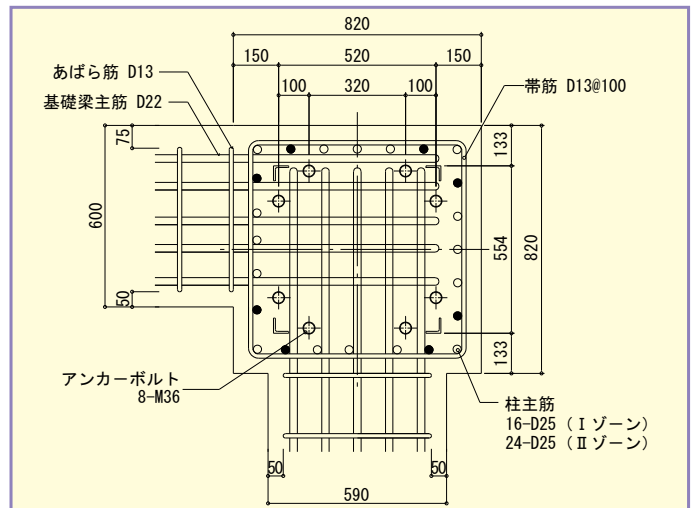
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~600	440~600	500~600	560~600
D22	380~600	440~600	500~600	560~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	* 590
D22	240~390	300~390	360~390	* 590
D25	250~390	320~390	390	* 590

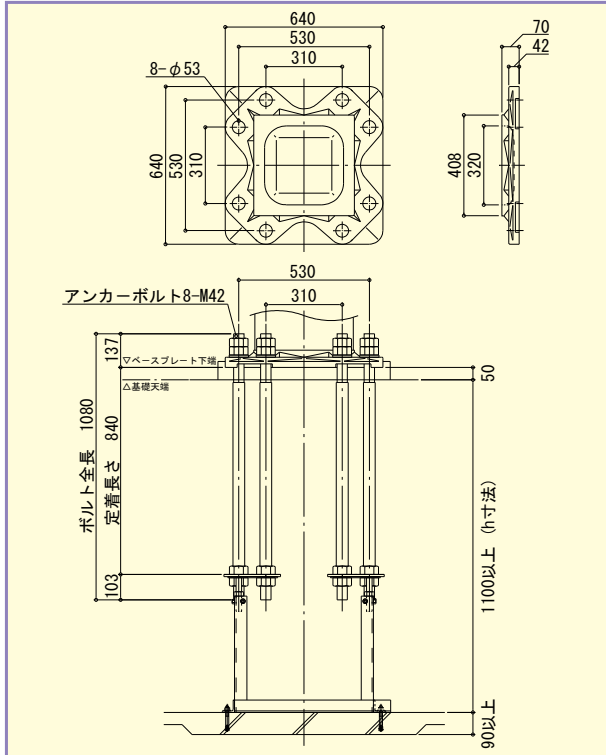


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

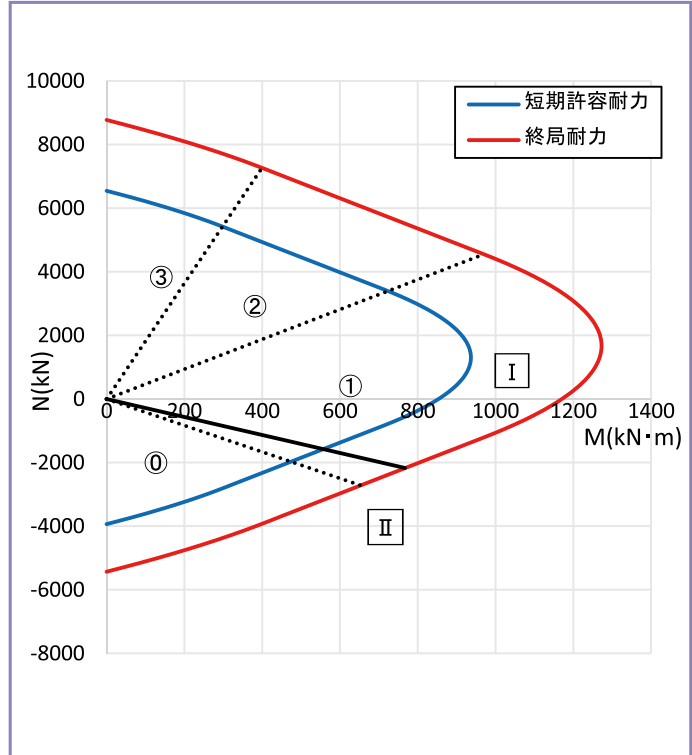
GB400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	282 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	640
〈中柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	640

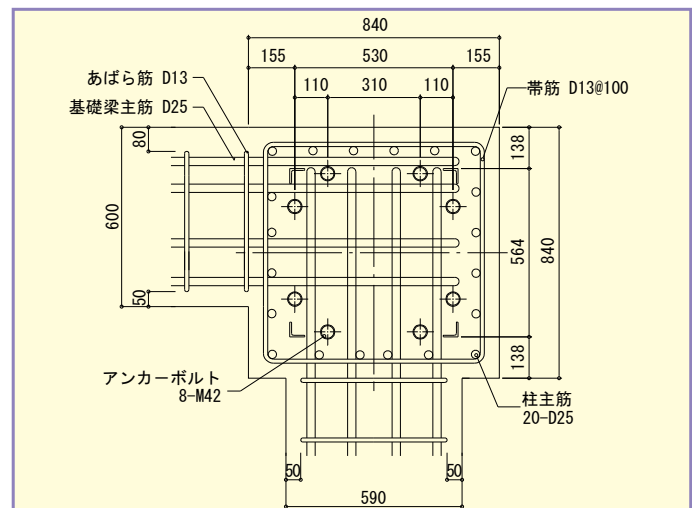
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~600	460~600	520~600	580~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~370	300~370	360~370	* 590
D25	250~370	320~370	* 590	* 590
D29	260~370	340~370	* 590	* 590



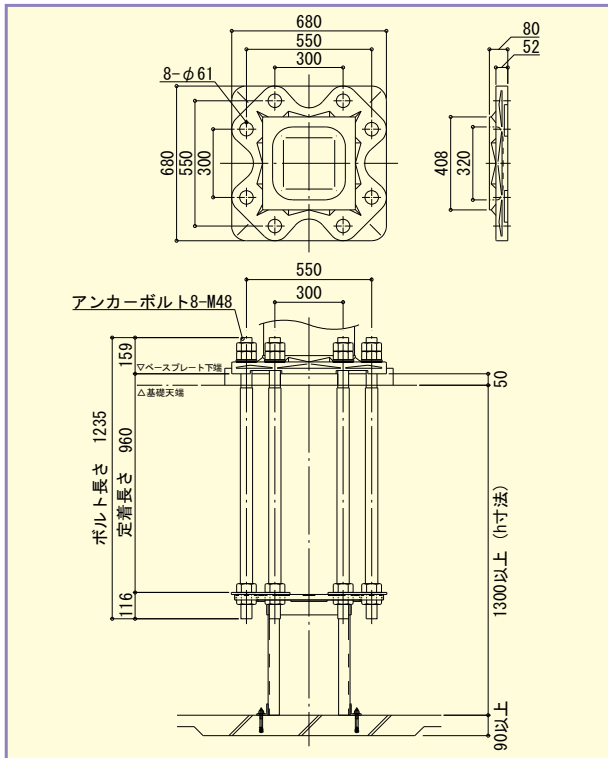
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

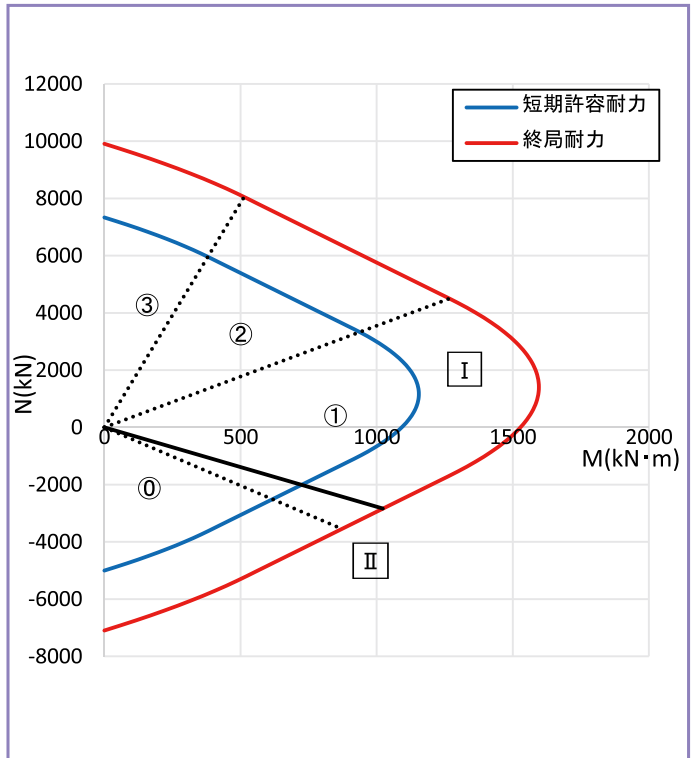
GB400-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	321 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	880	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	890	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810
〈中柱用〉	880	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	890	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810

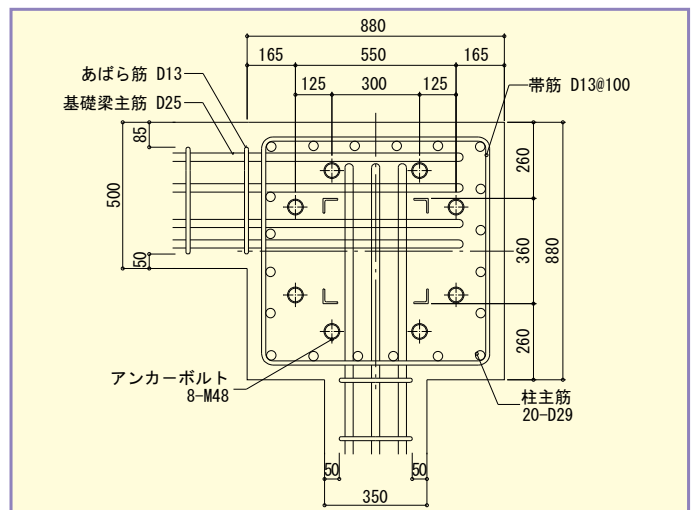
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~610	490~610	550~610	610
D25	430~610	500~610	570~610	
D29	430~610	510~610	590~610	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~360	300~360	360	* 600
D25	250~360	320~360	* 600	* 600
D29	260~360	340~360	* 600	* 600



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

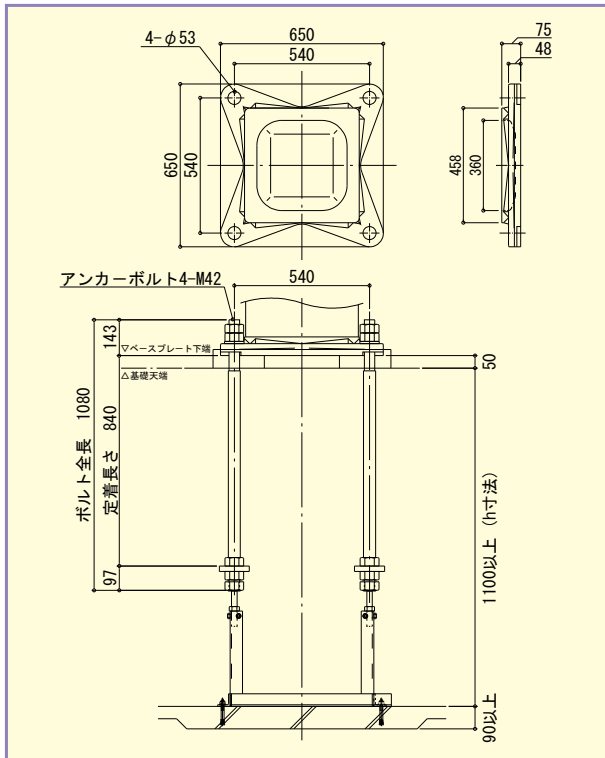
注 2) *がつけ基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB

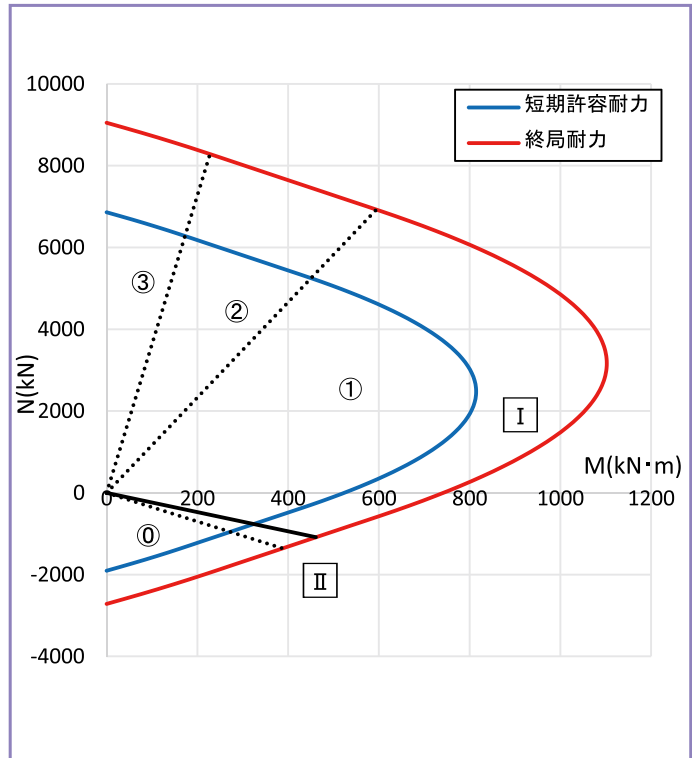
GB450-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	199×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	860	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	860	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420
〈中柱用〉	860	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	860	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	420

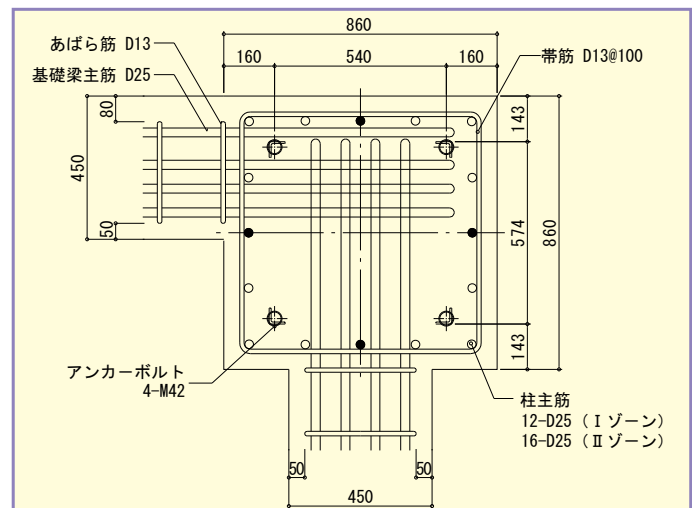
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~710	360~710	420~710	480~710
D25	300~710	370~710	440~710	510~710
D29	300~710	380~710	460~710	540~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~580	300~580	360~580	420~580
D25	250~580	320~580	390~580	460~580
D29	260~580	340~580	420~580	500~580

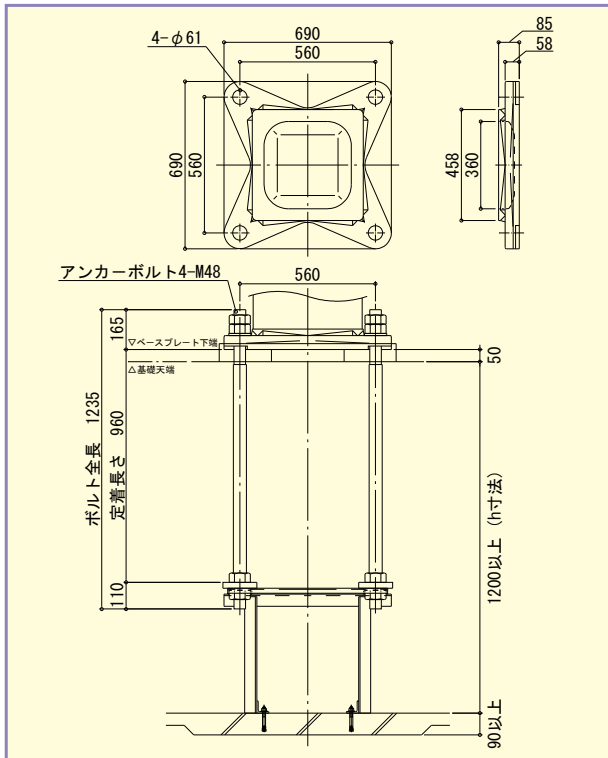


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

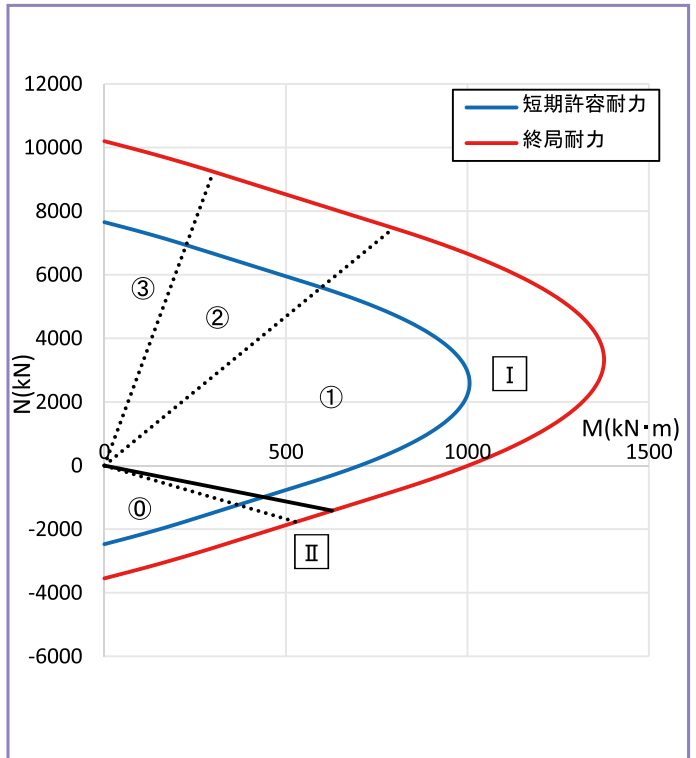
GB450-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	236 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	510
〈中柱用〉	890	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	510

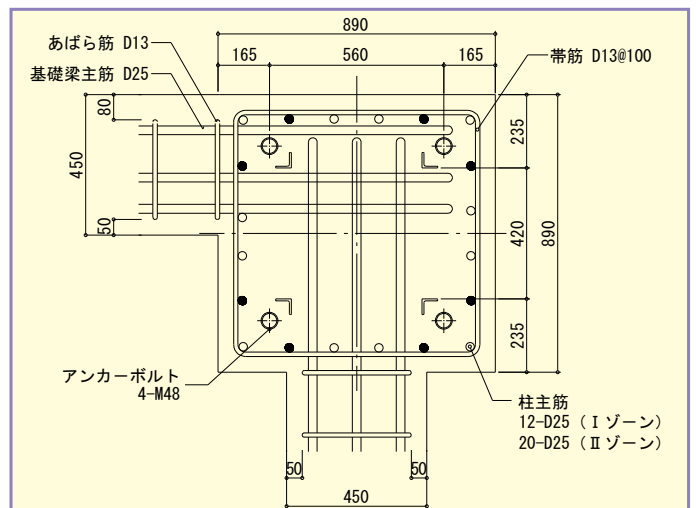
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~700	400~700	460~700	520~700
D25	340~700	410~700	480~700	550~700
D29	340~700	420~700	500~700	580~700

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530

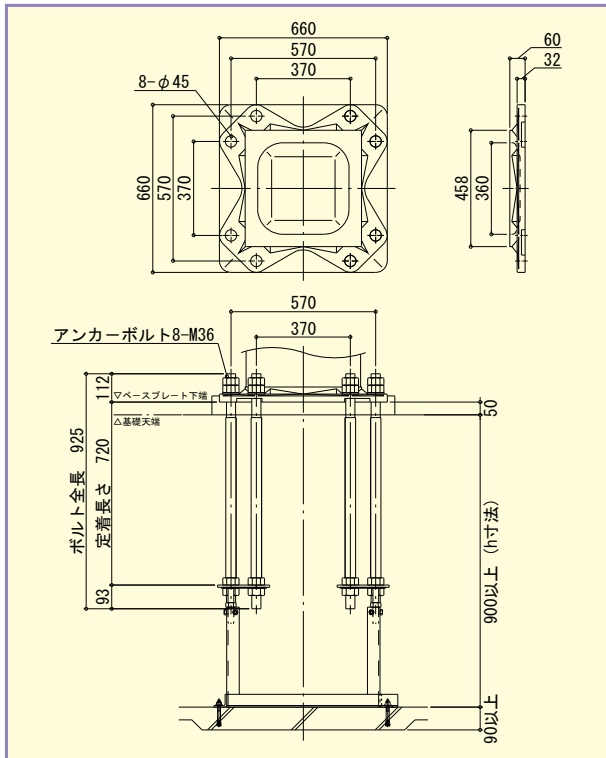


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

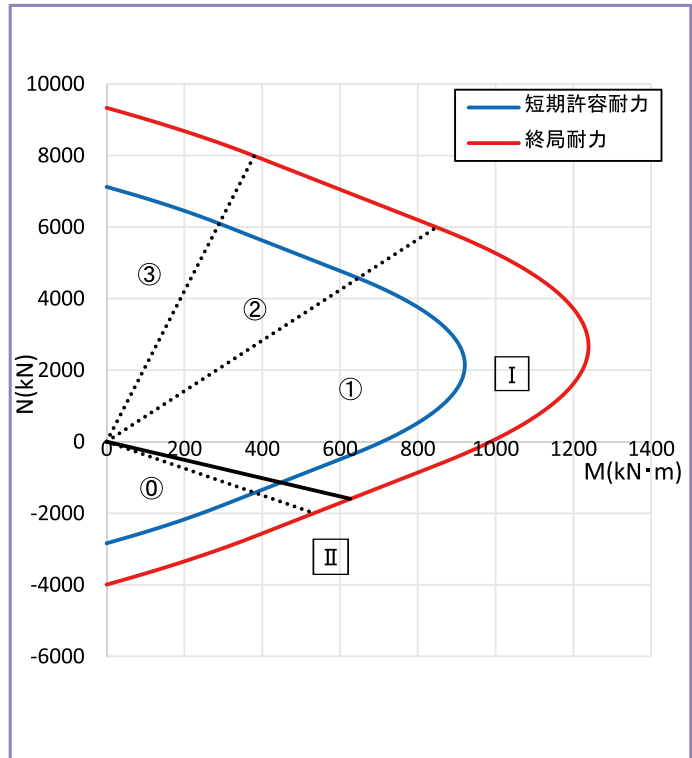
GB450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	296 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

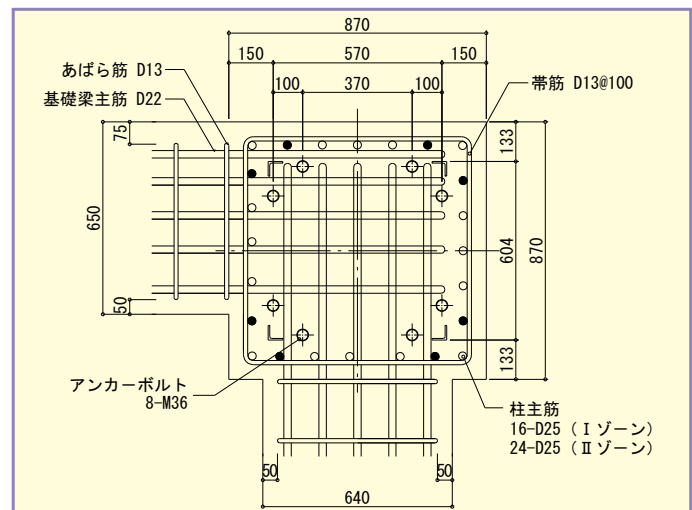
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~650	440~650	500~650	560~650
D22	380~650	440~650	500~650	560~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	*640



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

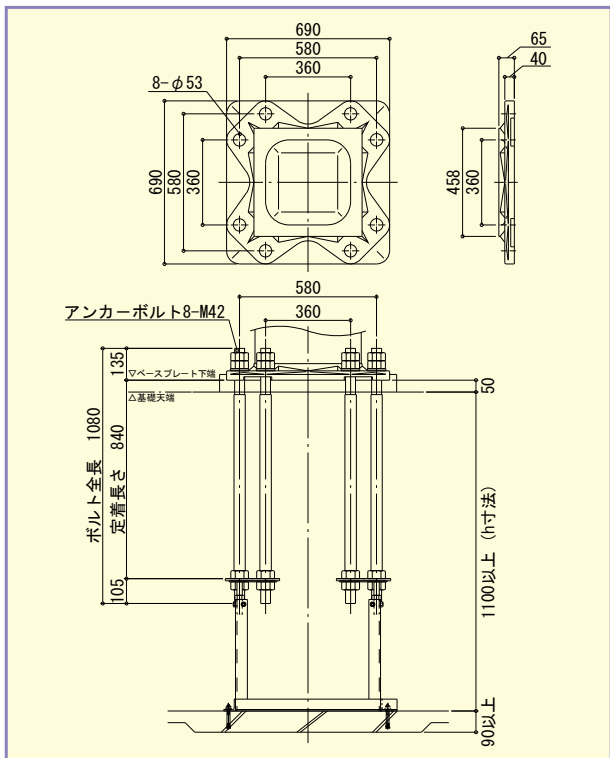
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

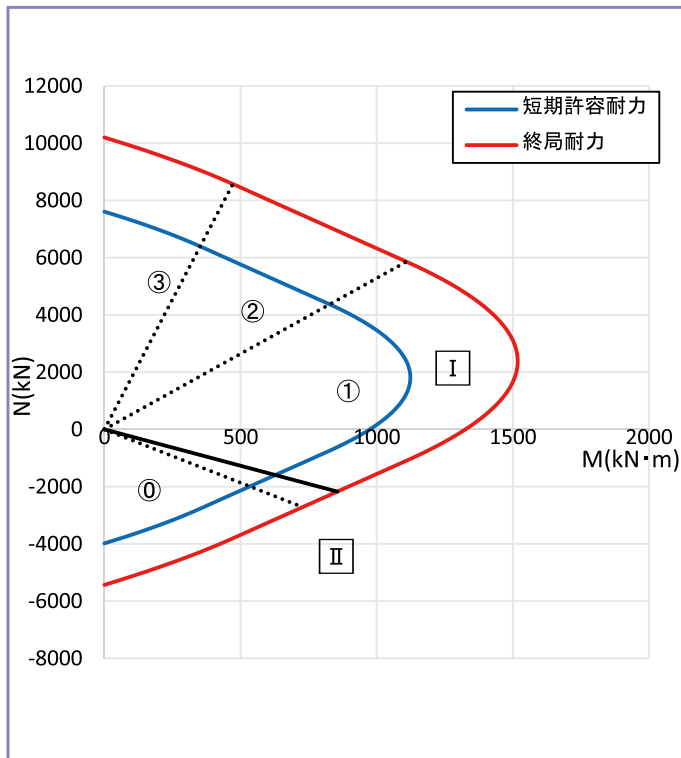
GB450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	348 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

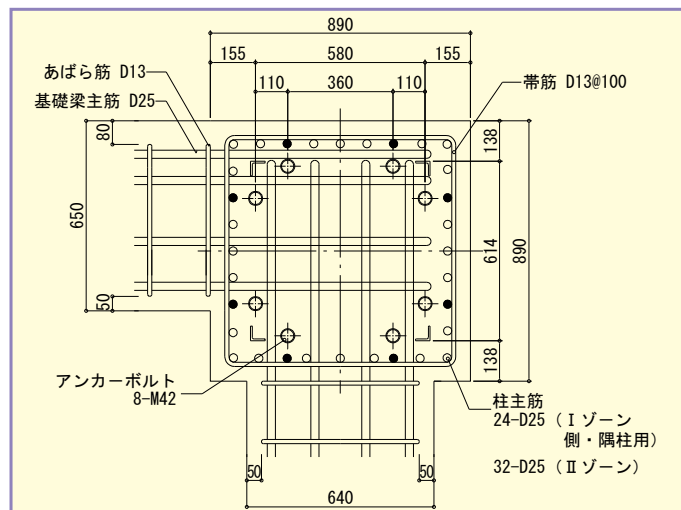
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~650	460~650	520~650	580~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	* 640
D29	260~420	340~420	420	* 640

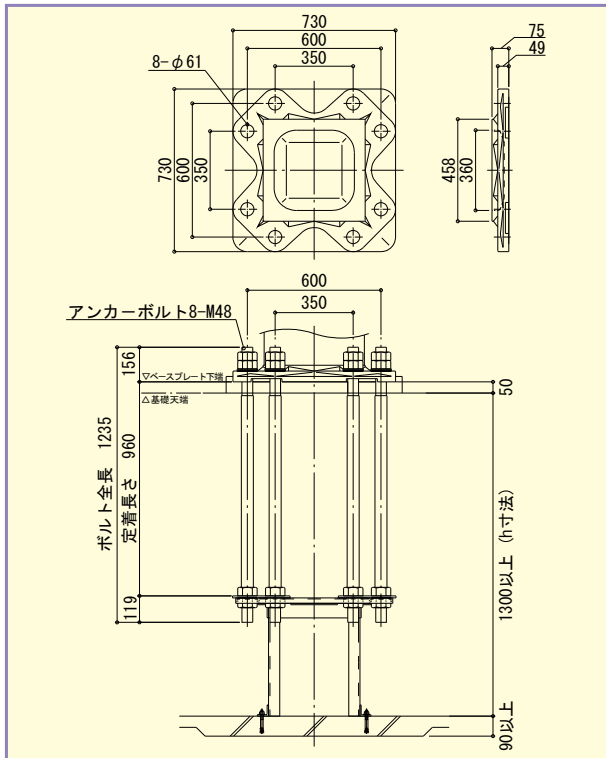


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーン<側・隅柱用>の場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

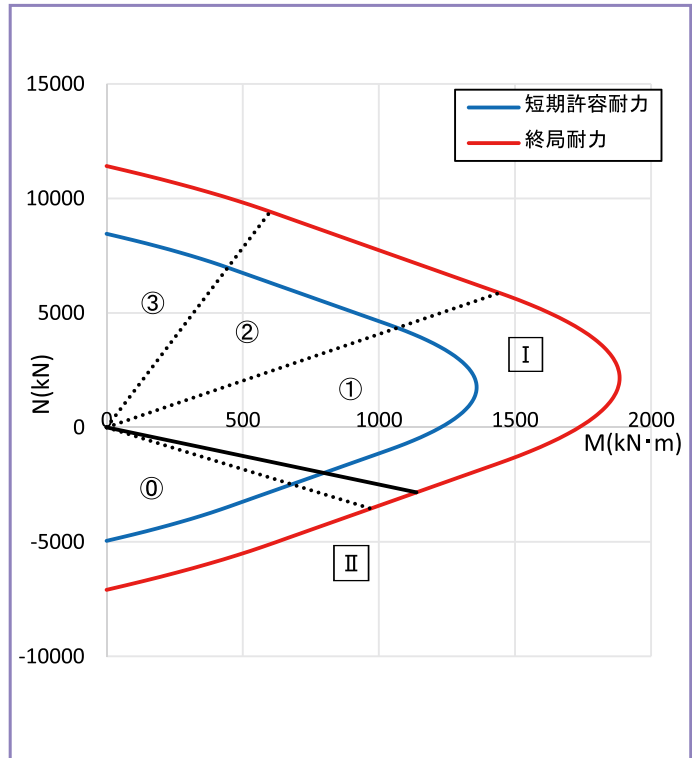
GB450-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	413×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	930	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	940	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810
〈中柱用〉	930	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	940	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	810

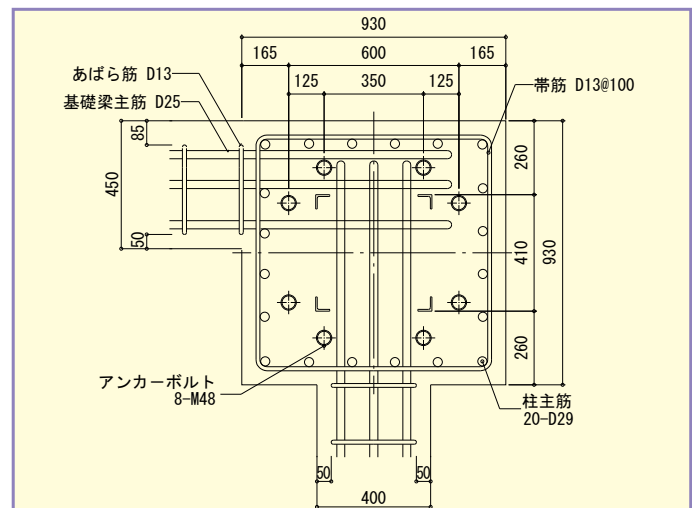
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~660	490~660	550~660	610~660
D25	430~660	500~660	570~660	640~660
D29	430~660	510~660	590~660	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	* 650
D25	250~410	320~410	390~410	* 650
D29	260~410	340~410	* 650	* 650



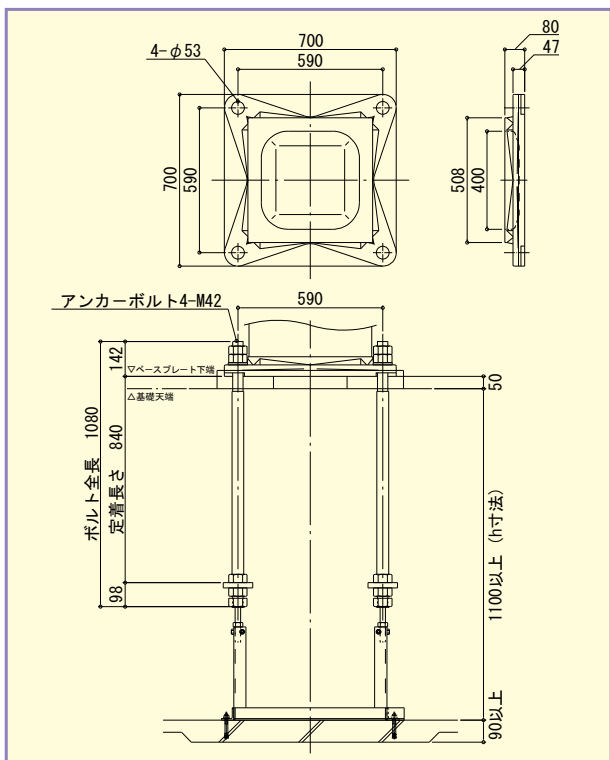
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

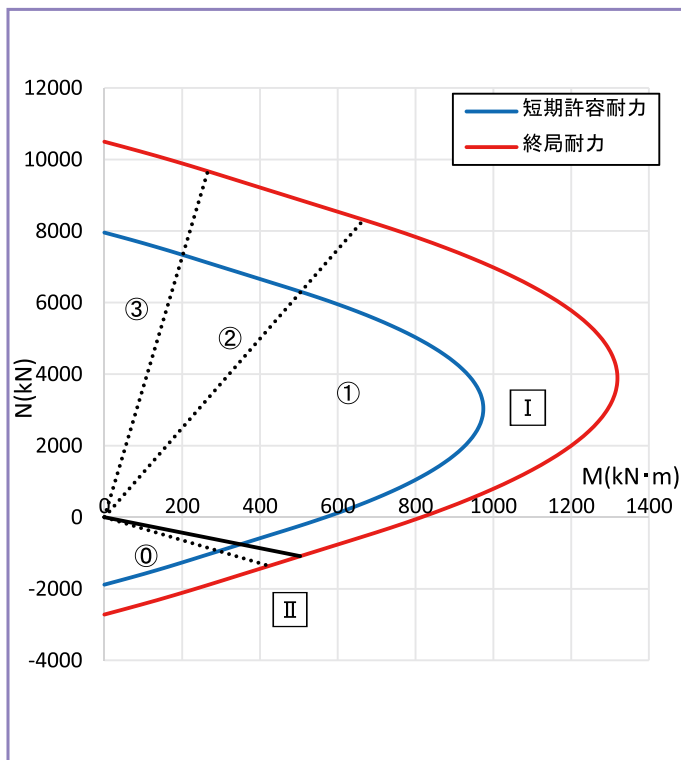
GB500-4-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M42)
回転ばね定数	244 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	910	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	910	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	410
〈中柱用〉	910	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	910	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	410

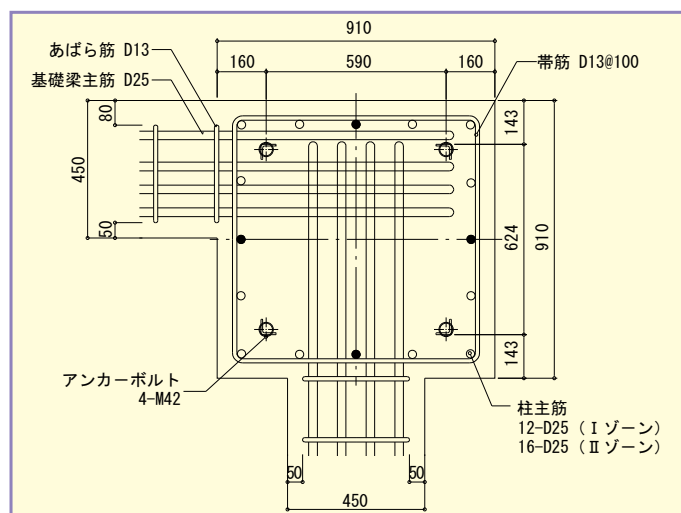
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~760	360~760	420~760	480~760
D25	300~760	370~760	440~760	510~760
D29	300~760	380~760	460~760	540~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~630	300~630	360~630	420~630
D25	250~630	320~630	390~630	460~630
D29	260~630	340~630	420~630	500~630

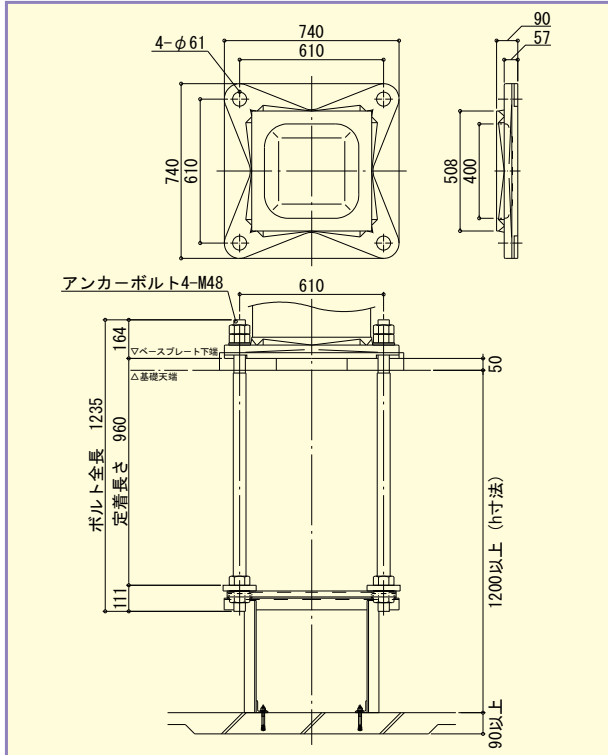


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

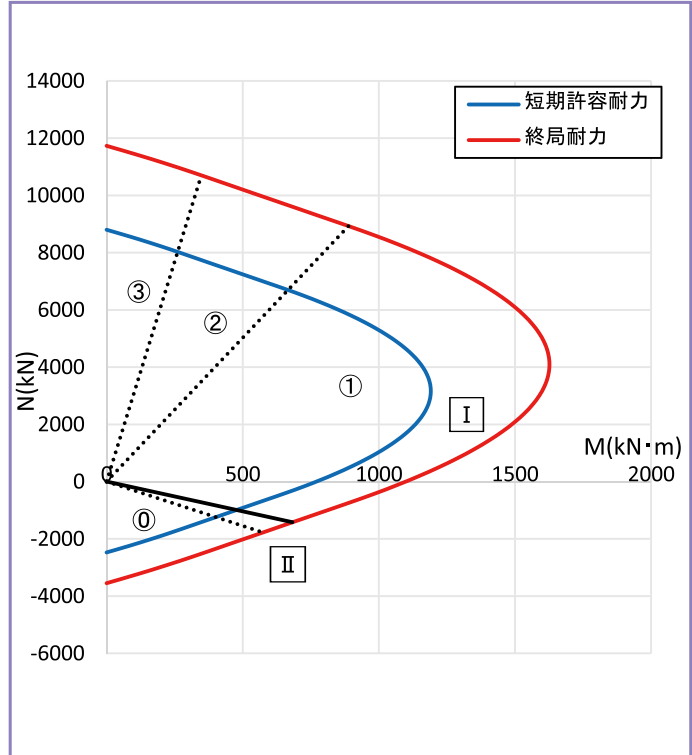
GB500-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M48)
回転ばね定数	290 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	500
〈中柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	500

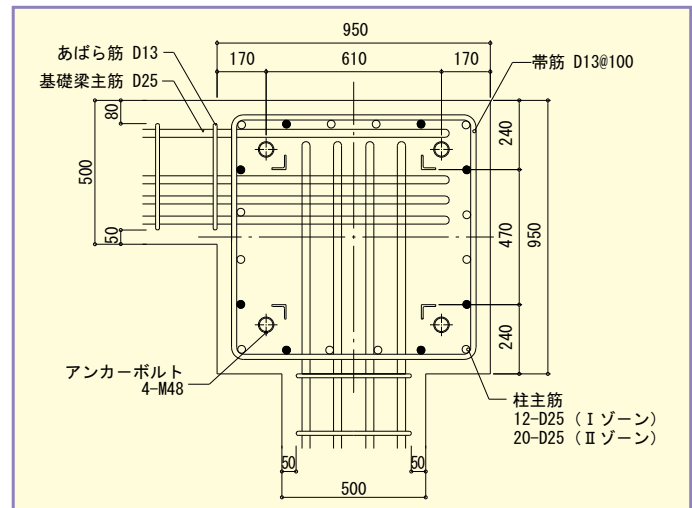
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	350~760	410~760	470~760	530~760
D25	350~760	420~760	490~760	560~760
D29	350~760	430~760	510~760	590~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~580	300~580	360~580	420~580
D25	250~580	320~580	390~580	460~580
D29	260~580	340~580	420~580	500~580

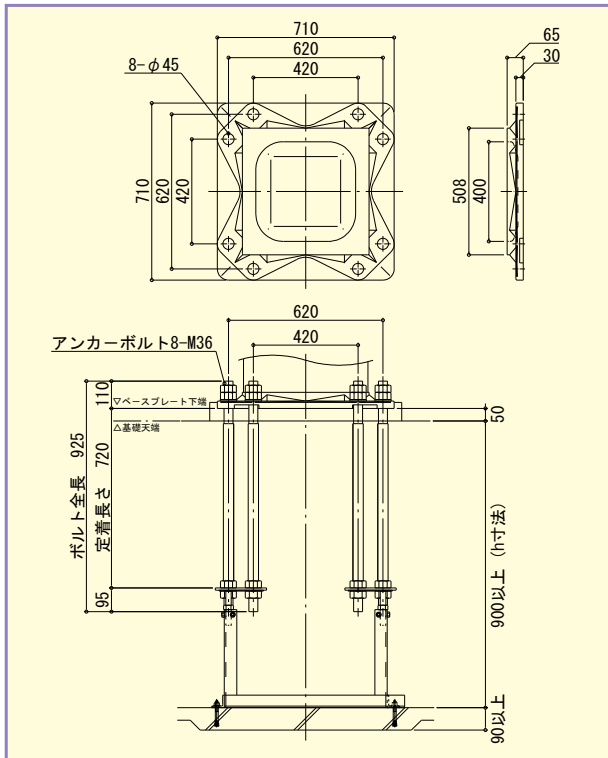


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

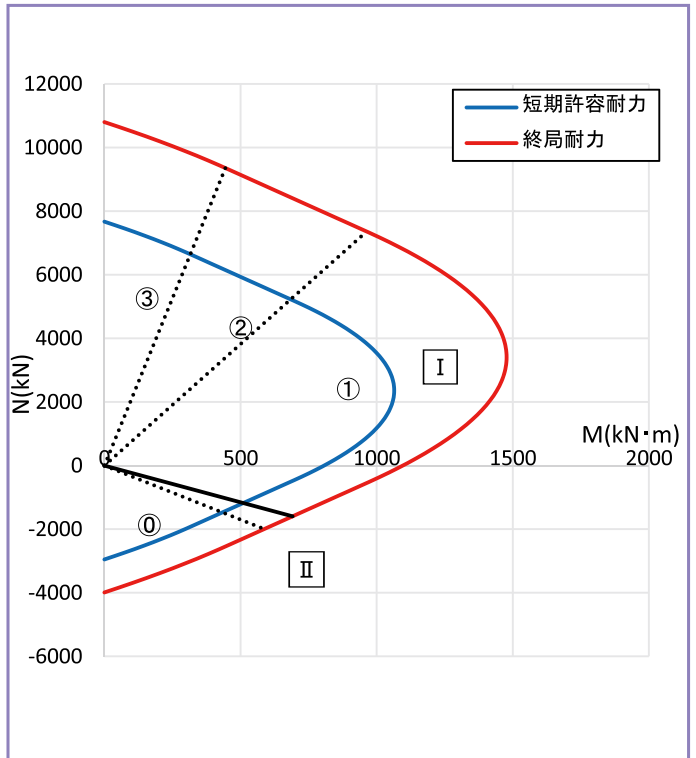
GB500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	354 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

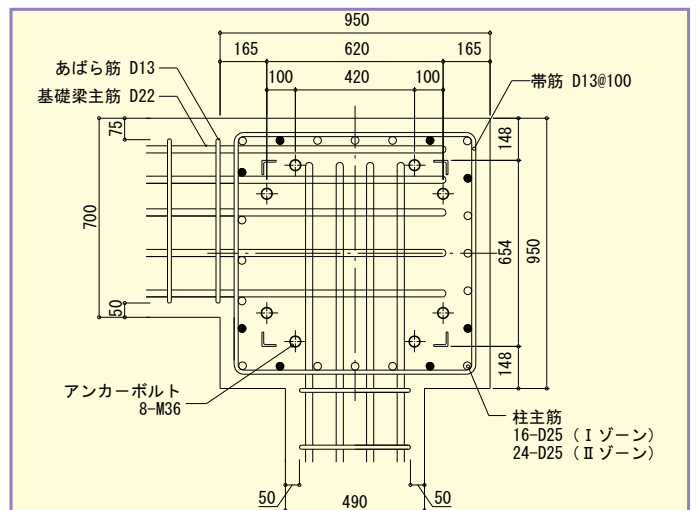
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~720	460~720	520~720	580~720
D22	400~720	460~720	520~720	580~720
D25	400~720	470~720	540~720	610~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490

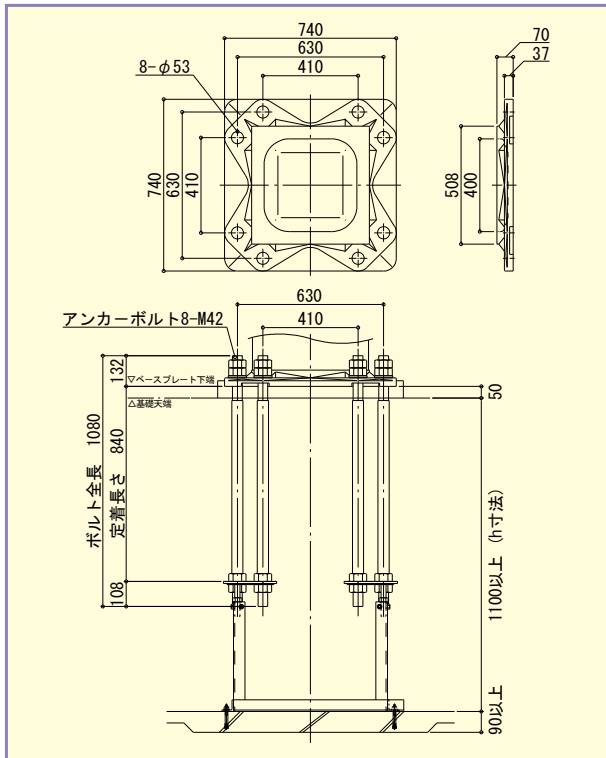


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

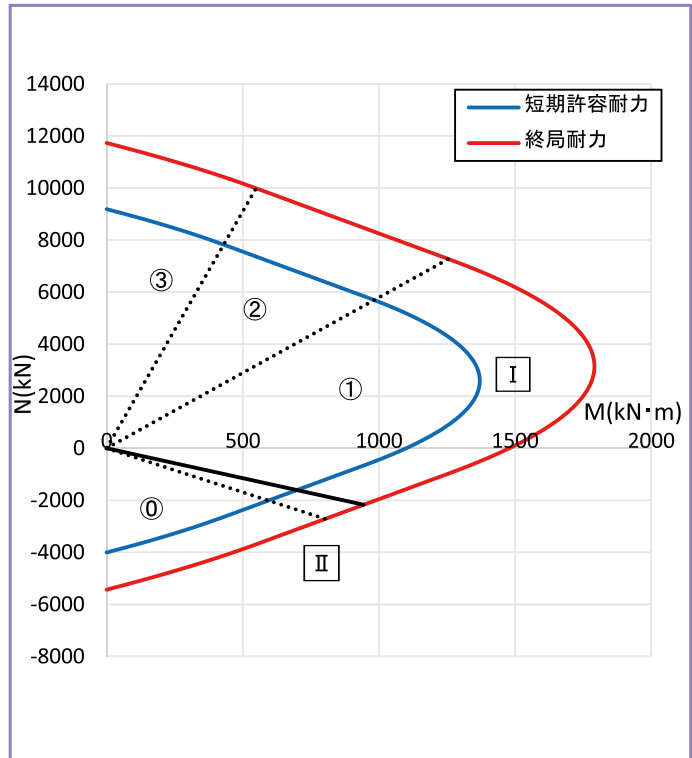
GB500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	421 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

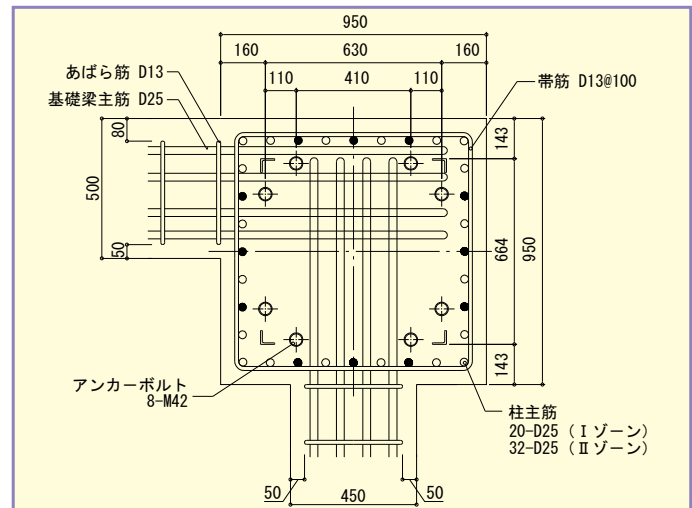
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	* 690



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

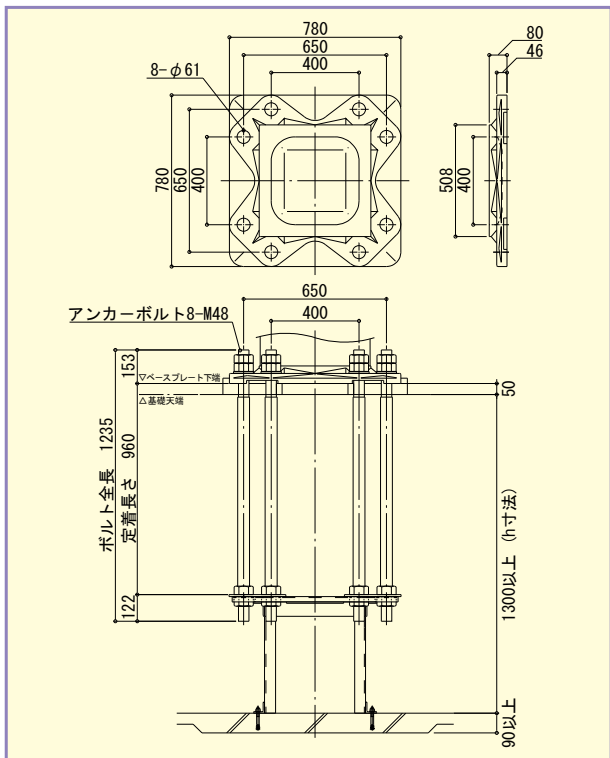
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

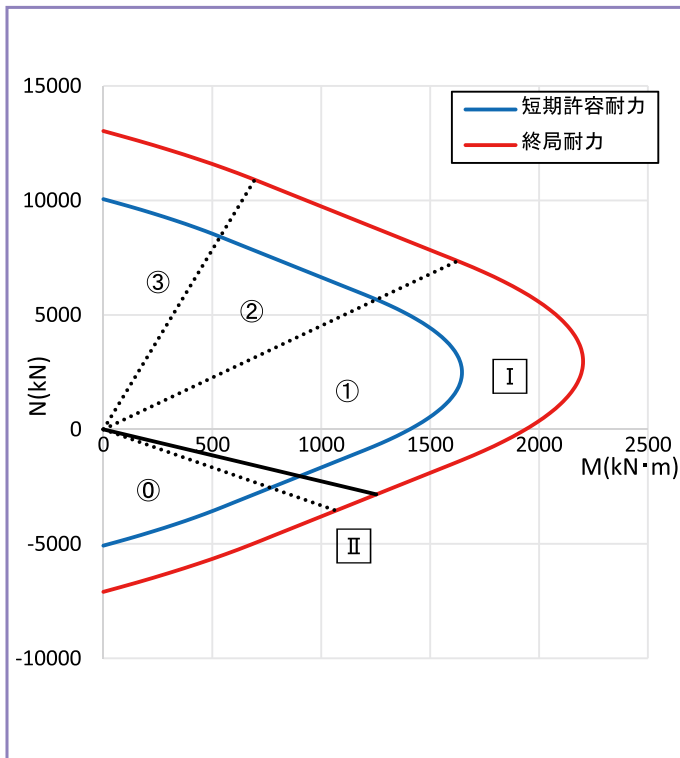
GB500-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	489 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	1000	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	780
〈中柱用〉	1000	20-D29 (SD390)	D13@100 (SD295)	1000	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	780

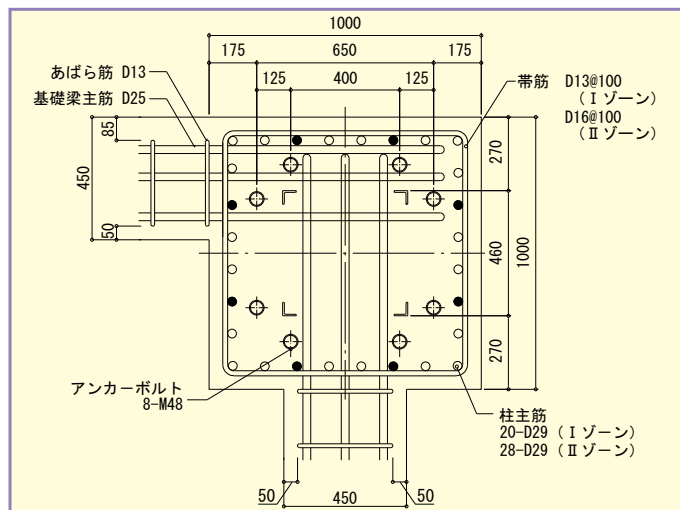
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~720	500~720	560~720	620~720
D25	440~720	510~720	580~720	650~720
D29	440~720	520~720	600~720	680~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	* 700



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

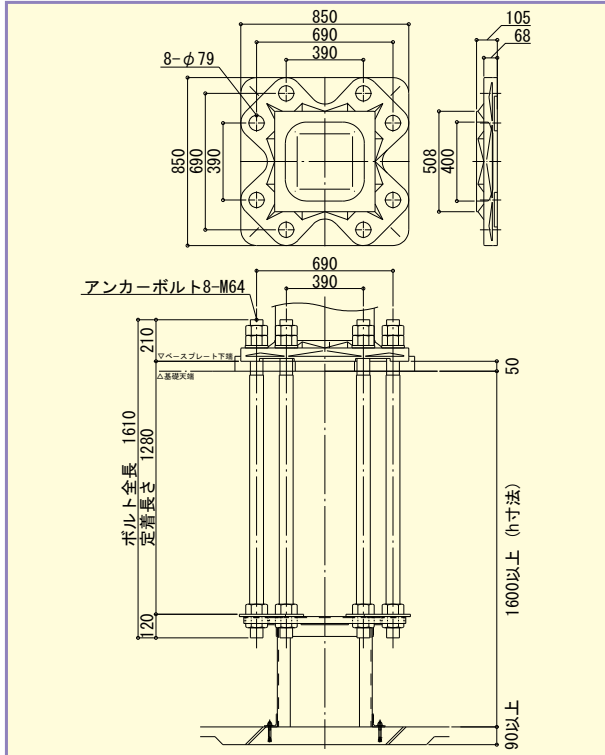
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

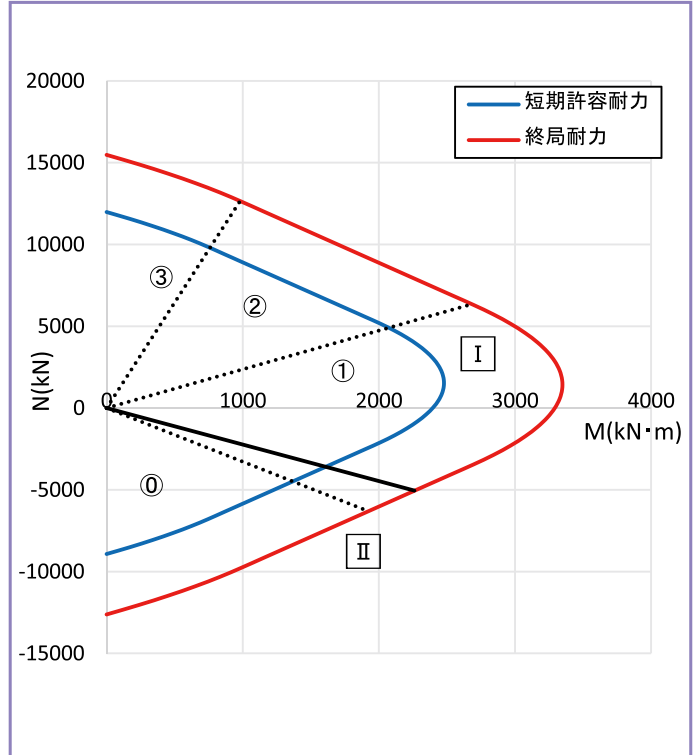
GB500-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	659 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150
〈中柱用〉	1100	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150

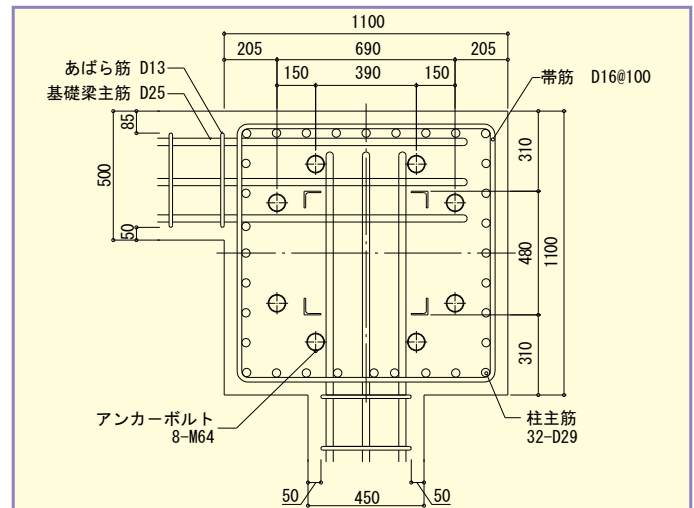
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	490~780	560~780	630~780	700~780
D29	490~780	570~780	650~780	730~780

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	*750

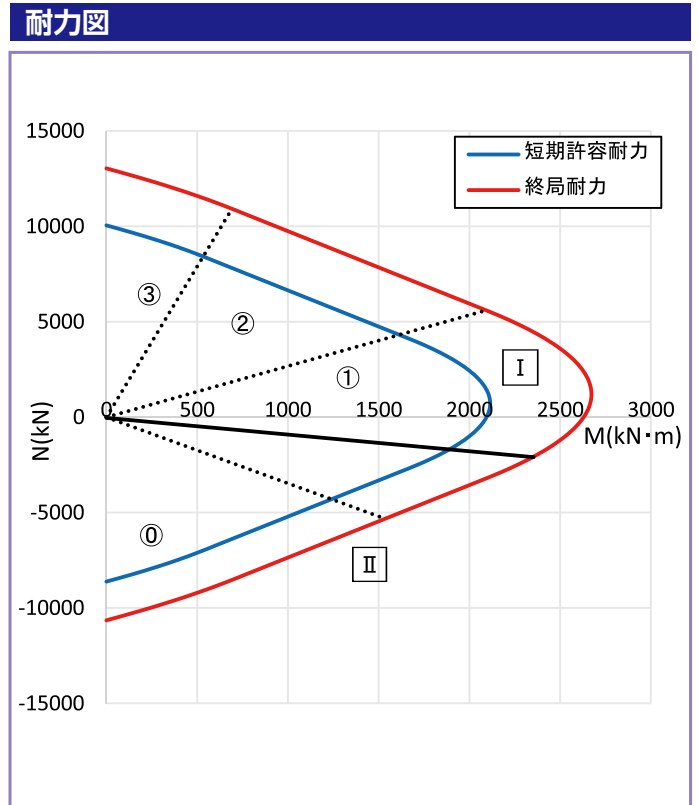
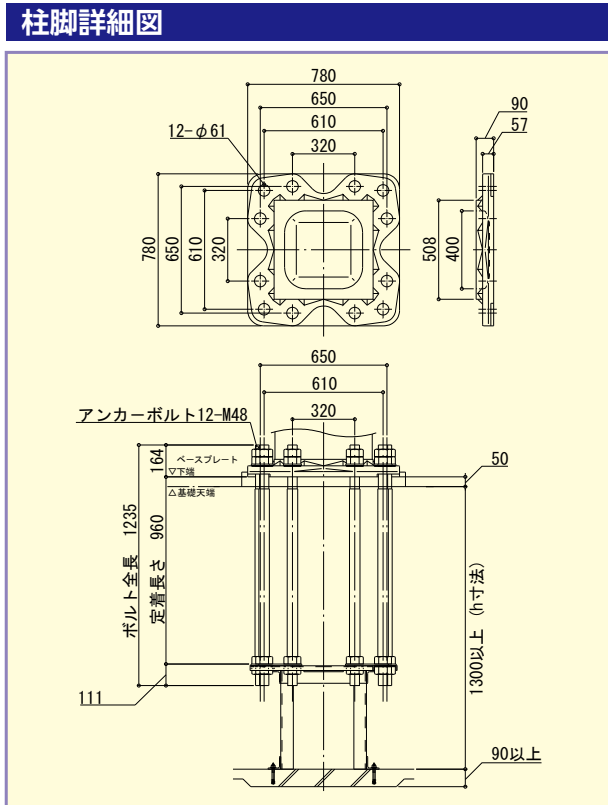


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB500-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	695 × 10 ³ kN・m/rad



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1000	16-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	帯筋-D16@100 (SD295)	790

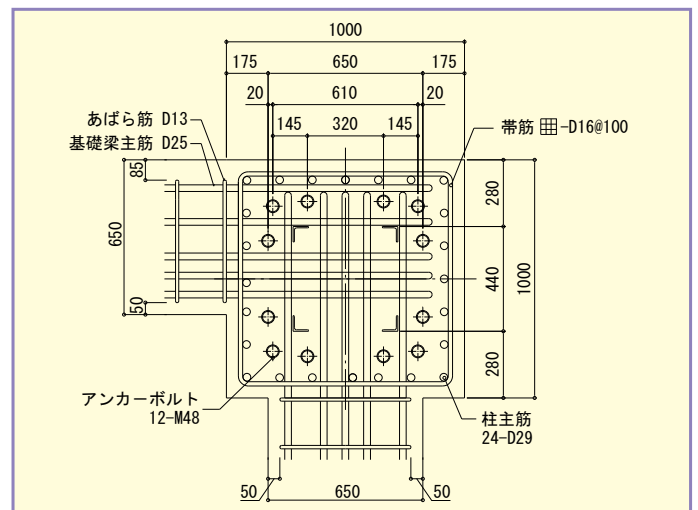
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~680	550~680	610~680	670~680
D25	490~680	560~680	630~680	
D29	490~680	570~680	650~680	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~350	300~350	* 650	* 650
D25	250~350	320~350	* 650	* 650
D29	260~350	340~350	* 650	* 650

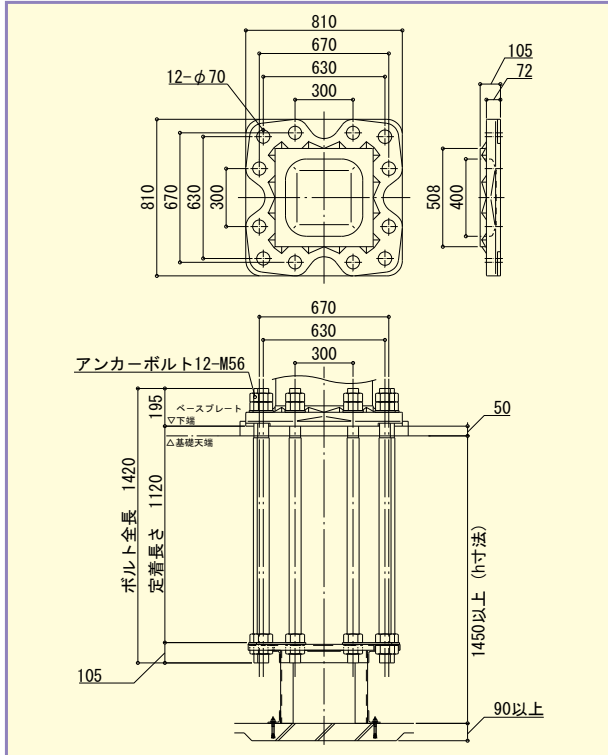


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

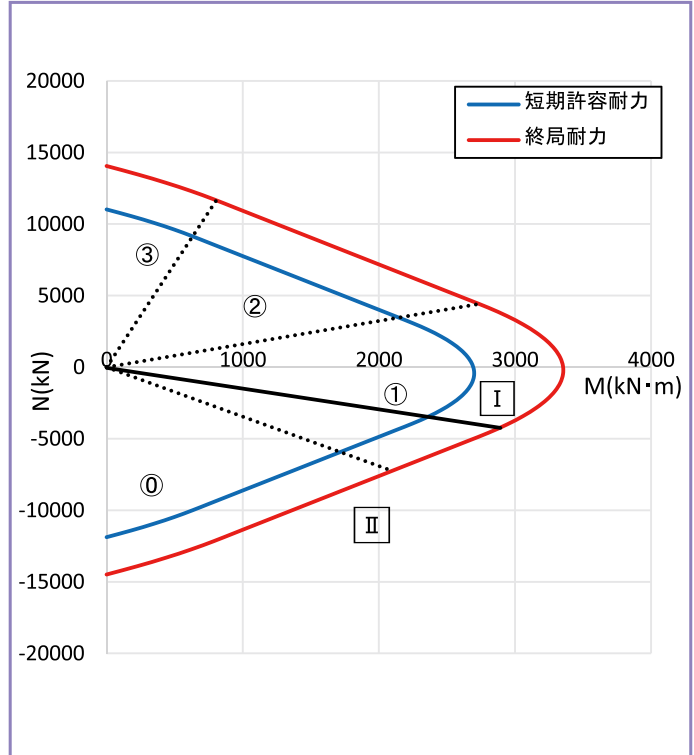
GB500-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	771 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1050	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

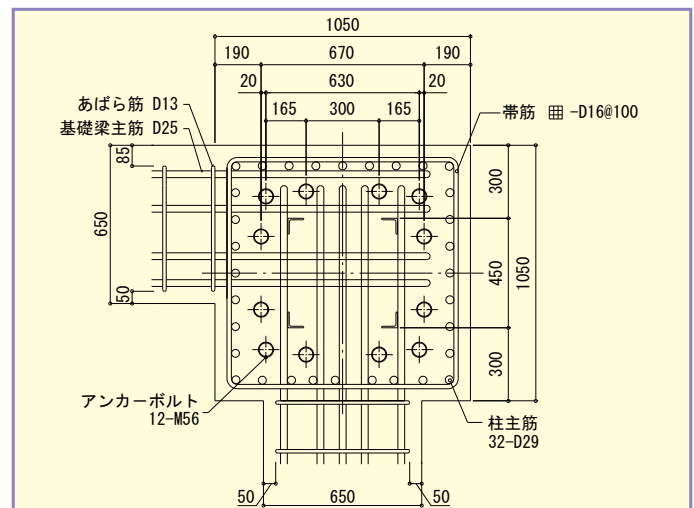
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~700	580~700	640~700	700
D25	520~700	590~700	660~700	
D29	520~700	600~700	680~700	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~340	300~340	* 650	* 650
D25	250~340	320~340	* 650	* 650
D29	260~340	340	* 650	* 650



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

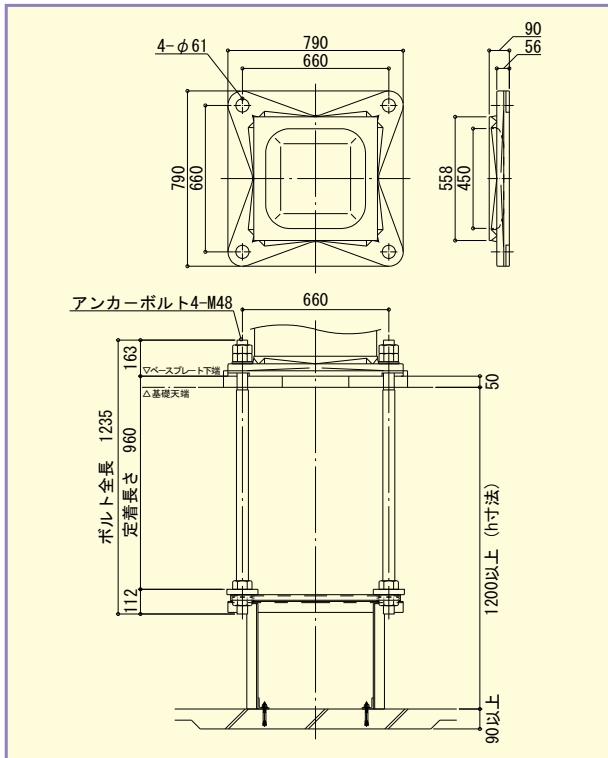
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

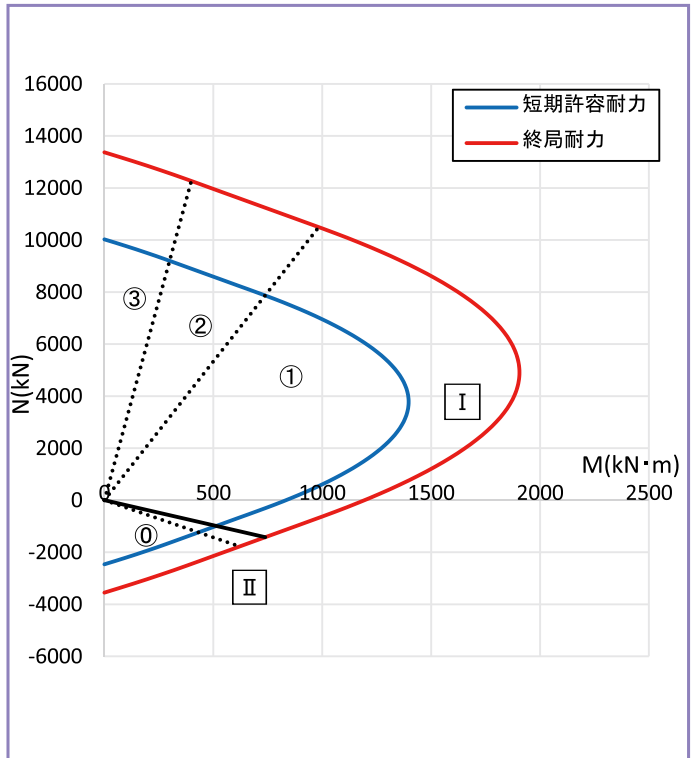
GB550-4-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550(板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M48)
回転ばね定数	339×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	490
〈中柱用〉	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	490

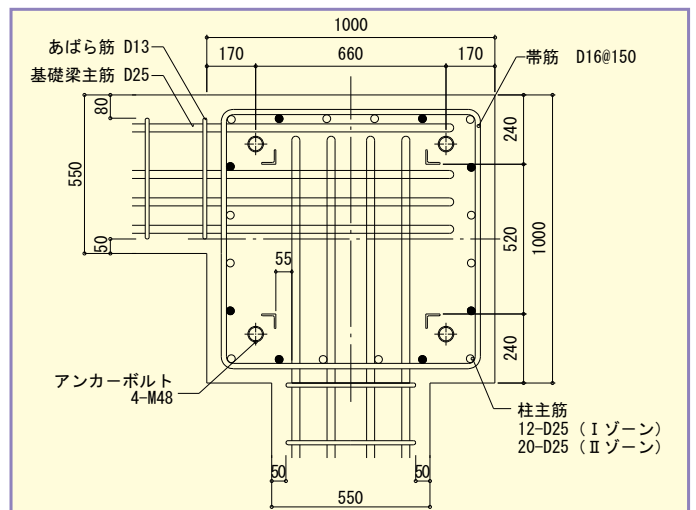
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	350~810	410~810	470~810	530~810
D25	350~810	420~810	490~810	560~810
D29	350~810	430~810	510~810	590~810

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~630	300~630	360~630	420~630
D25	250~630	320~630	390~630	460~630
D29	260~630	340~630	420~630	500~630

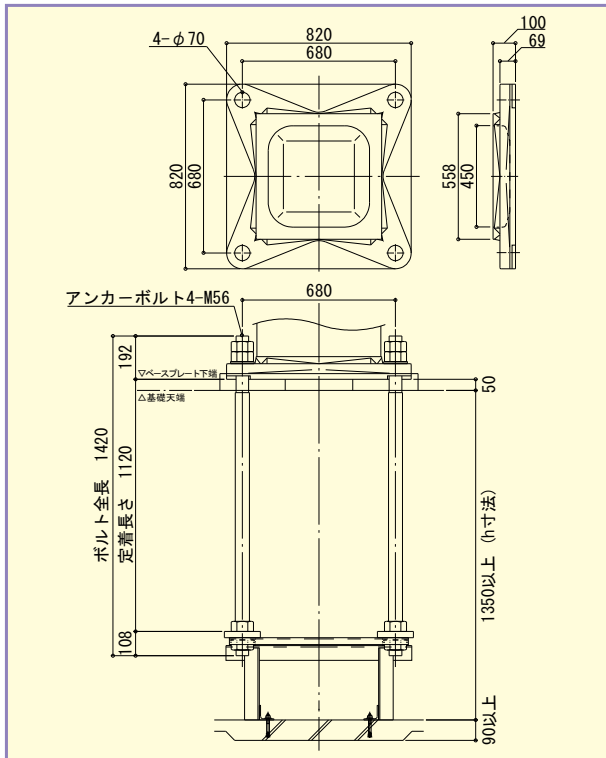


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

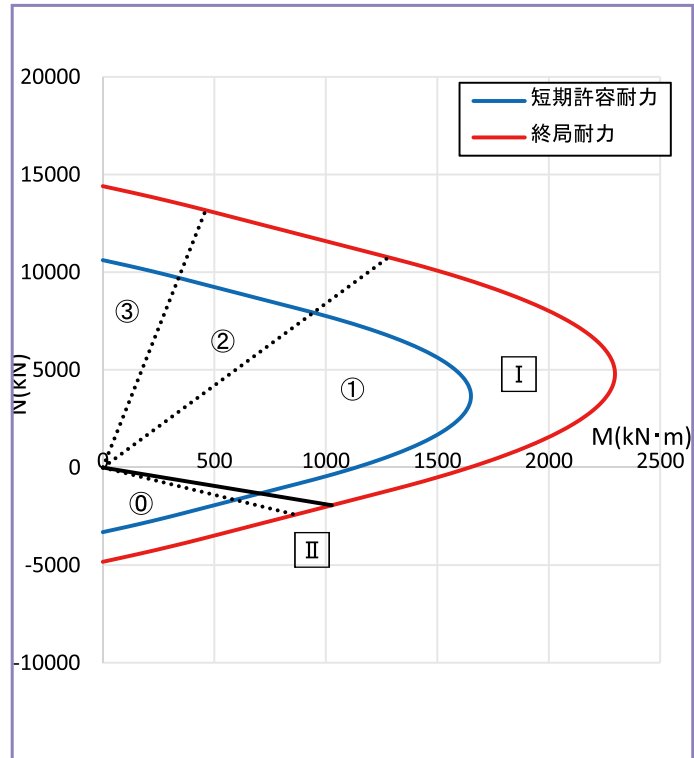
GB550-4-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M56)
回転ばね定数	408×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	16-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	1050	28-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	610
〈中柱用〉	1050	16-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	1050	28-D25 (SD345)	D16@150 (SD295)	610

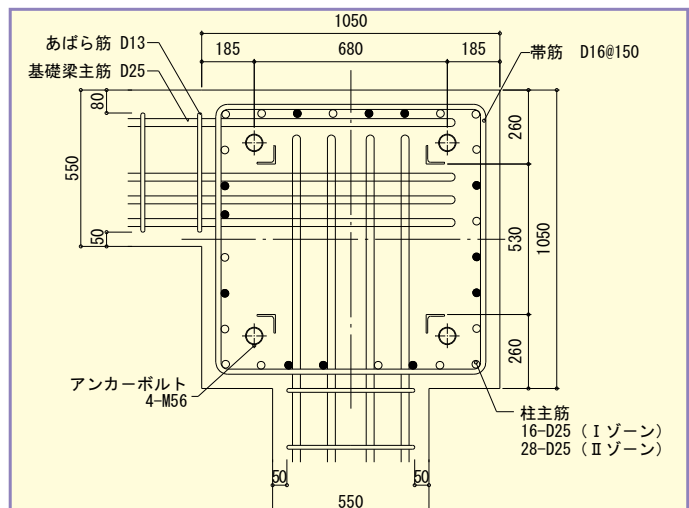
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	370~840	430~840	490~840	550~840
D25	370~840	440~840	510~840	580~840
D29	370~840	450~840	530~840	610~840

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~640	300~640	360~640	420~640
D25	250~640	320~640	390~640	460~640
D29	260~640	340~640	420~640	500~640

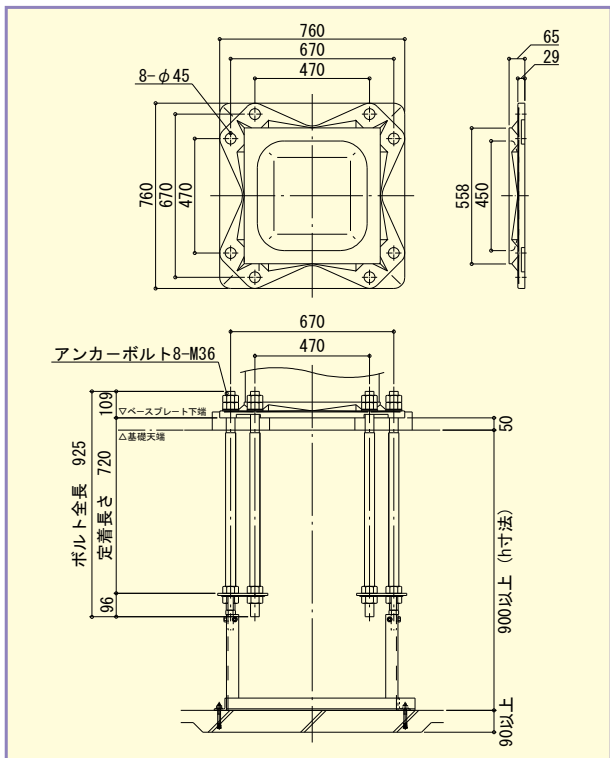


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

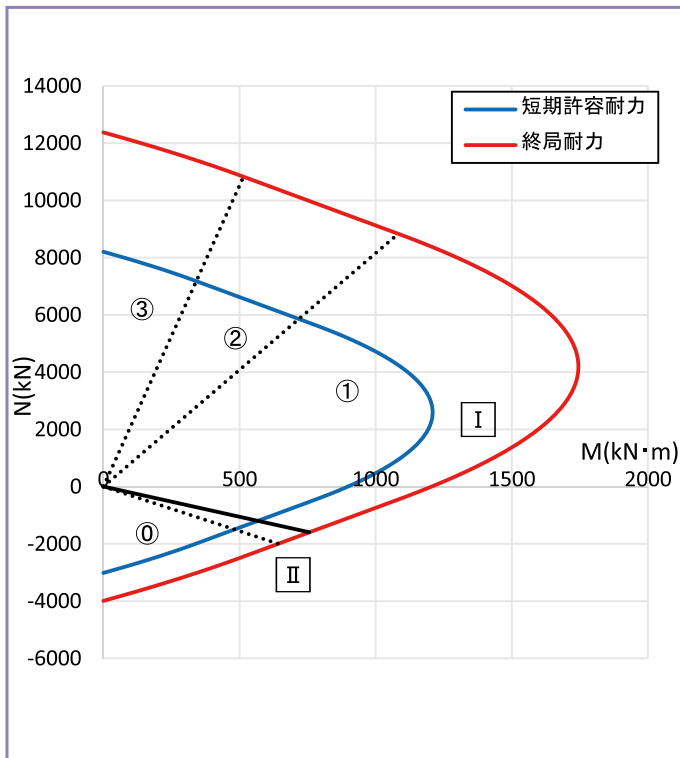
GB550-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550(板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ(8-M36)
回転ばね定数	419×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530
〈中柱用〉	1000	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530

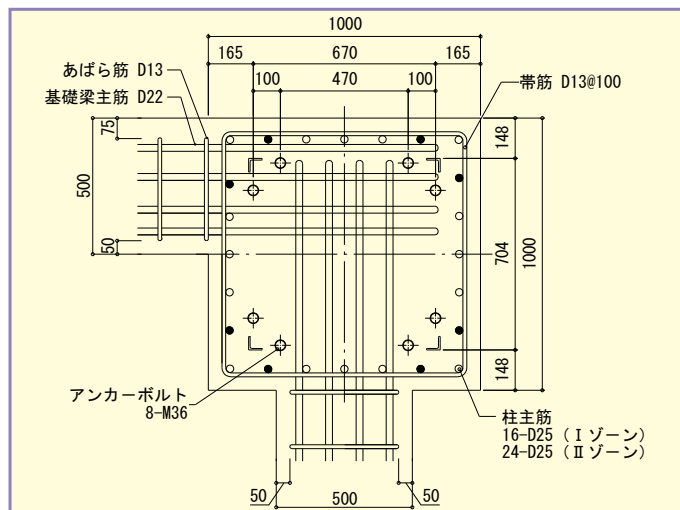
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~770	460~770	520~770	580~770
D22	400~770	460~770	520~770	580~770
D25	400~770	470~770	540~770	610~770

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~540	300~540	360~540	420~540
D22	240~540	300~540	360~540	420~540
D25	250~540	320~540	390~540	460~540



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

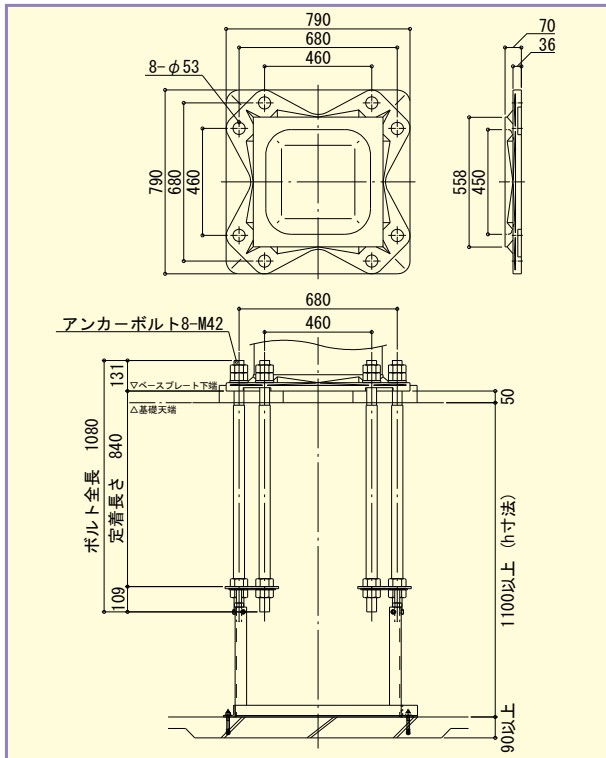
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

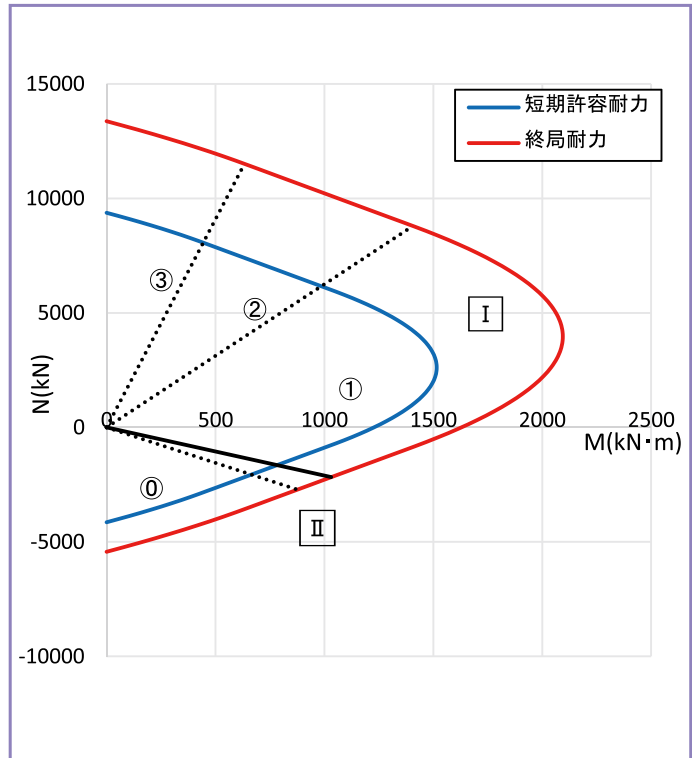
GB550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	498 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680

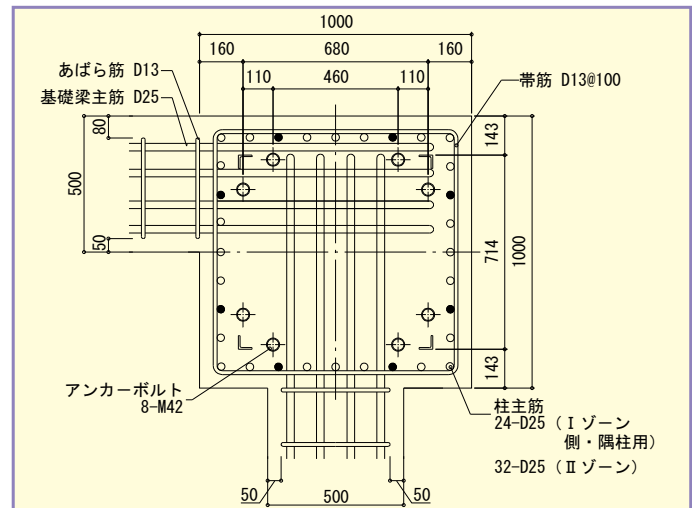
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~760	470~760	530~760	590~760
D25	410~760	480~760	550~760	620~760
D29	410~760	490~760	570~760	650~760

柱形中心基礎はりタイプ

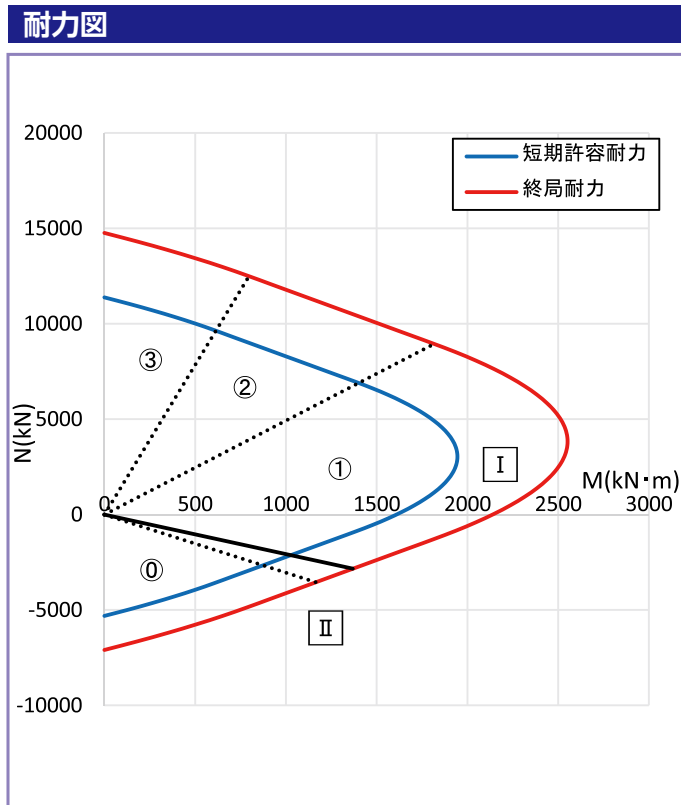
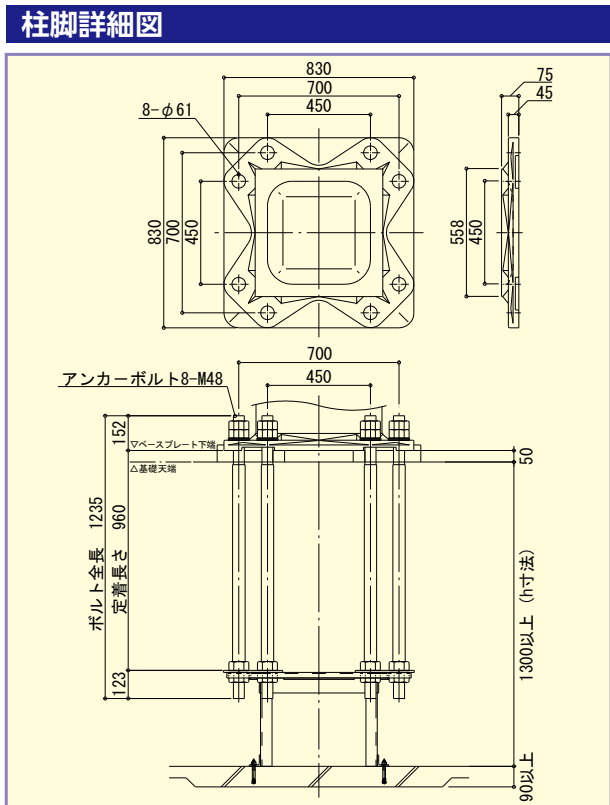
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~520	300~520	360~520	420~520
D25	250~520	320~520	390~520	460~520
D29	260~520	340~520	420~520	500~520



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB550-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	580 × 10 ³ kN・m/rad



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1050	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	870
〈中柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1050	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	870

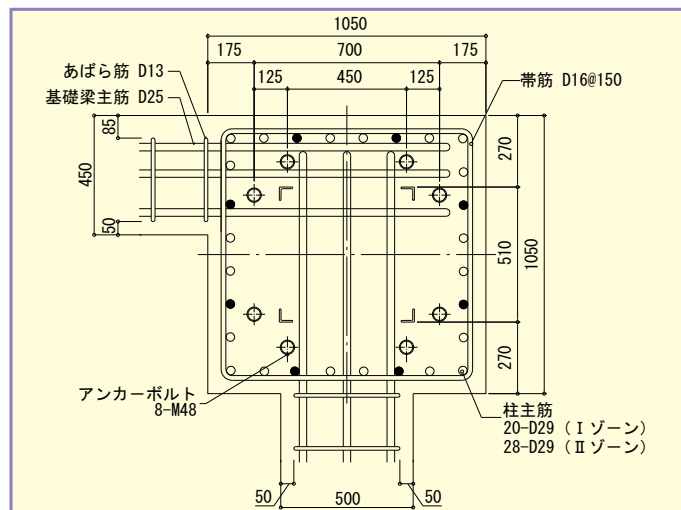
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~770	500~770	560~770	620~770
D25	440~770	510~770	580~770	650~770
D29	440~770	520~770	600~770	680~770

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~510	300~510	360~510	420~510
D25	250~510	320~510	390~510	460~510
D29	260~510	340~510	420~510	500~510

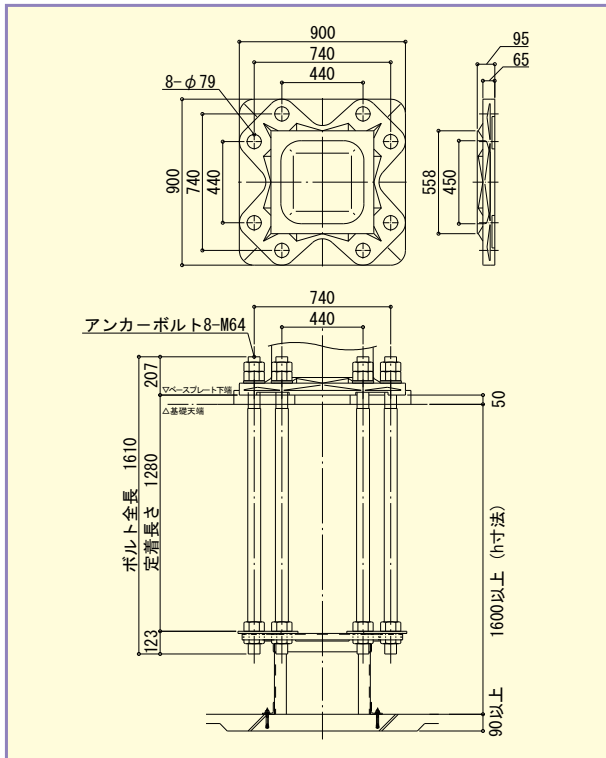


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

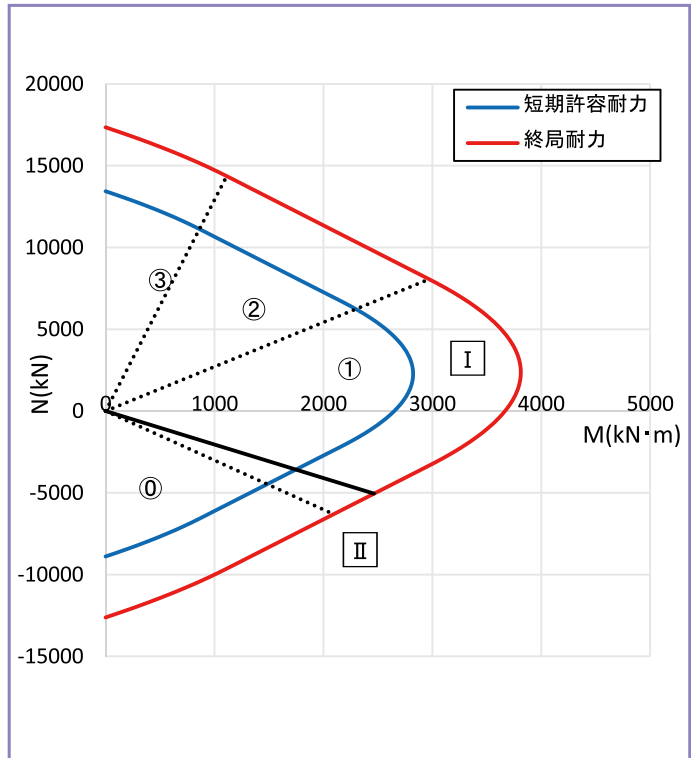
GB550-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	806 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150
〈中柱用〉	1150	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1150	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1150

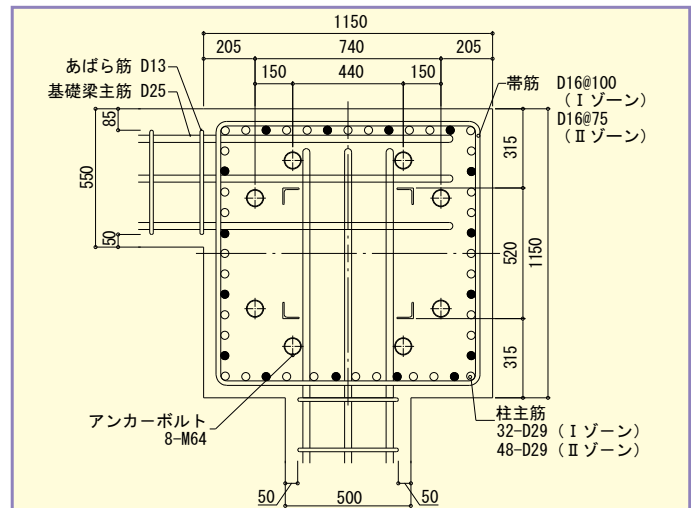
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~820	550~820	610~820	670~820
D25	490~820	560~820	630~820	700~820
D29	490~820	570~820	650~820	730~820

柱形中心基礎はりタイプ

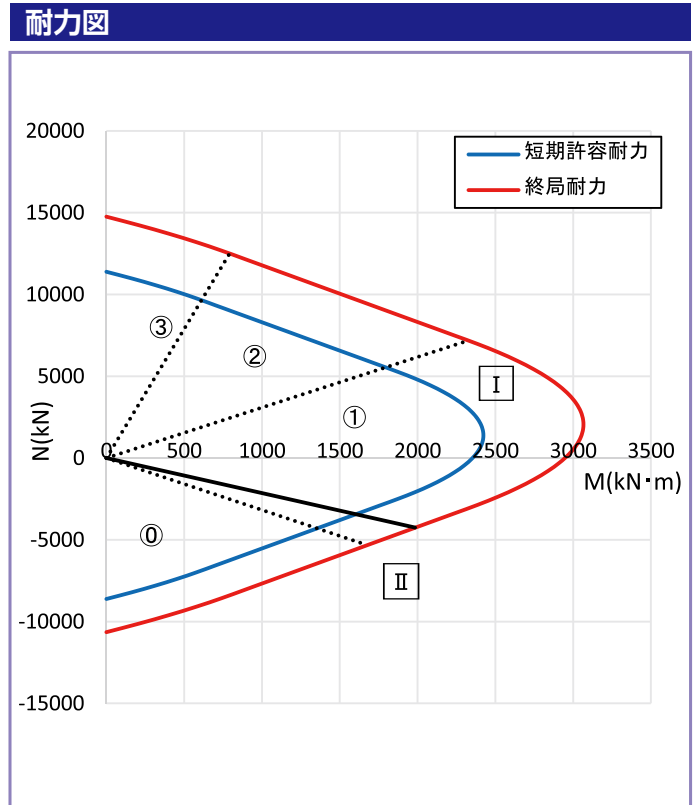
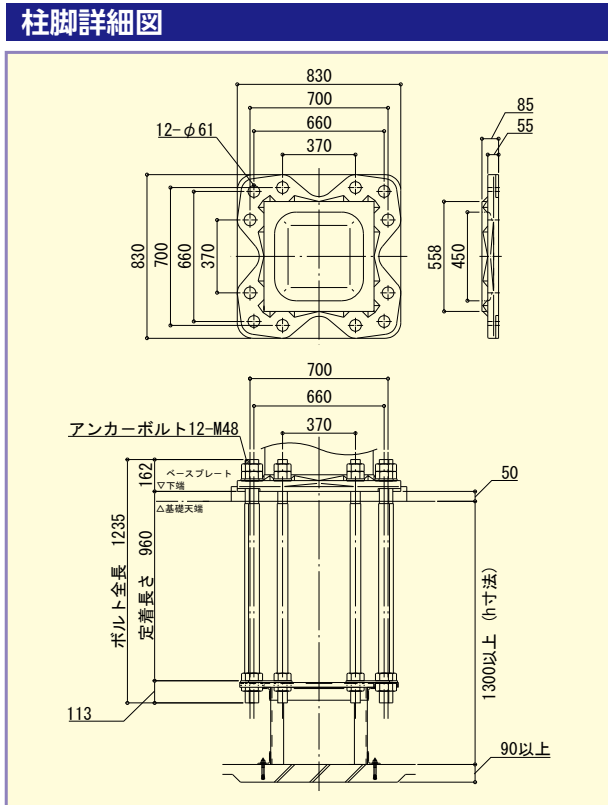
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~500	300~500	360~500	420~500
D25	250~500	320~500	390~500	460~500
D29	260~500	340~500	420~500	*800



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB550-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	817×10 ³ kN・m/rad



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1050	20-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790

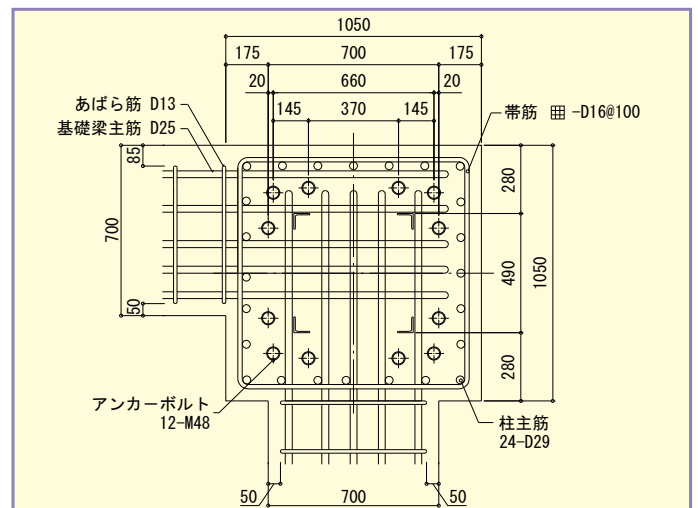
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~730	550~730	610~730	670~730
D25	490~730	560~730	630~730	700~730
D29	490~730	570~730	650~730	730

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~400	300~400	360~400	* 700
D25	250~400	320~400	390~400	* 700
D29	260~400	340~400	* 700	* 700

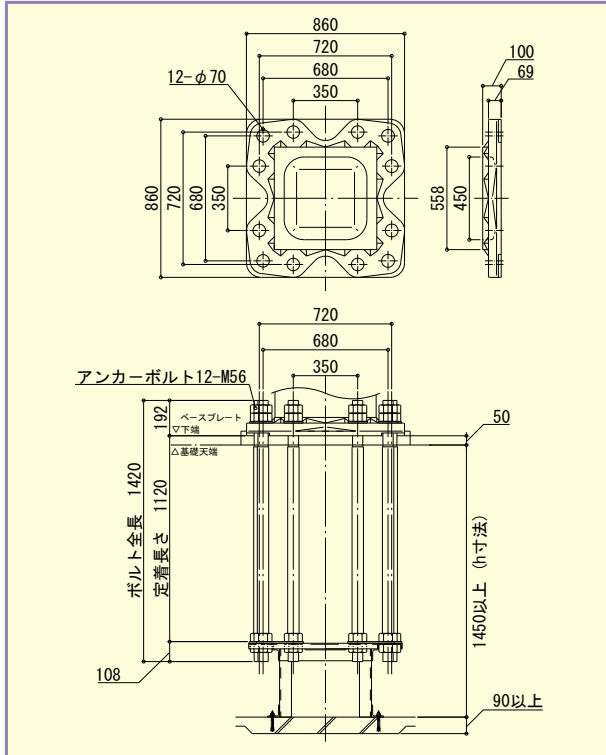


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

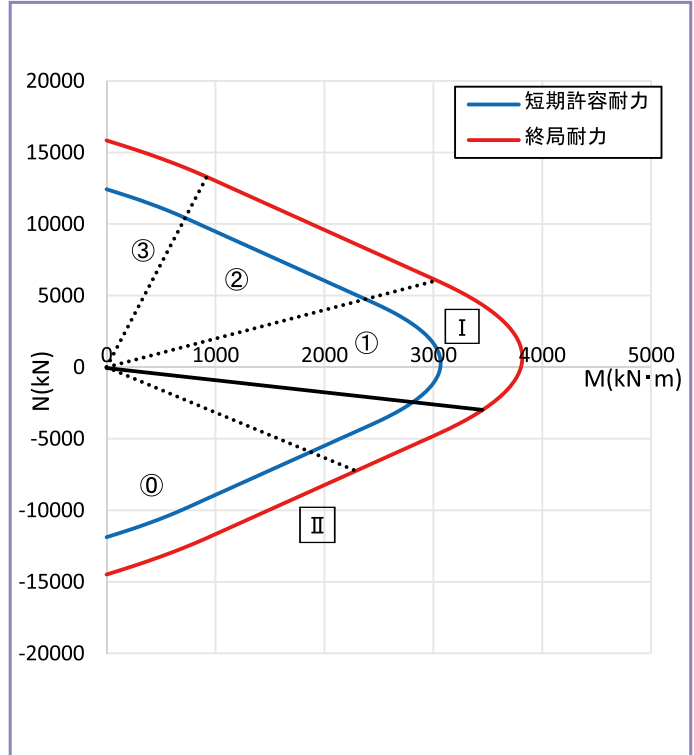
GB550-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	923×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1100	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

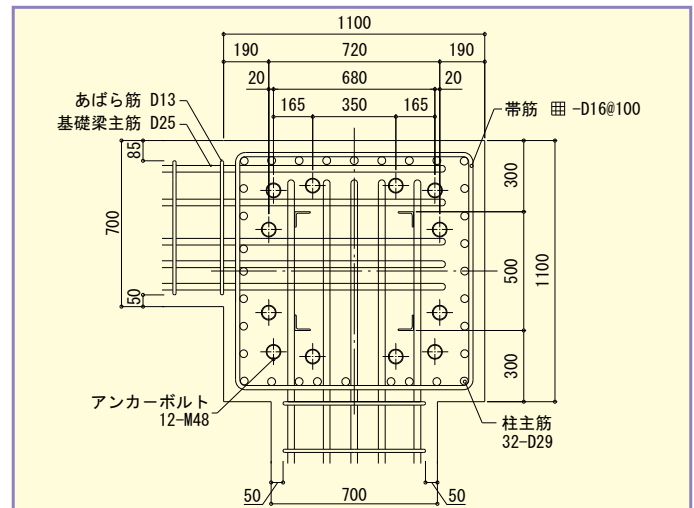
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~750	580~750	640~750	700~750
D25	520~750	590~750	660~750	730~750
D29	520~750	600~750	680~750	

柱形中心基礎はりタイプ

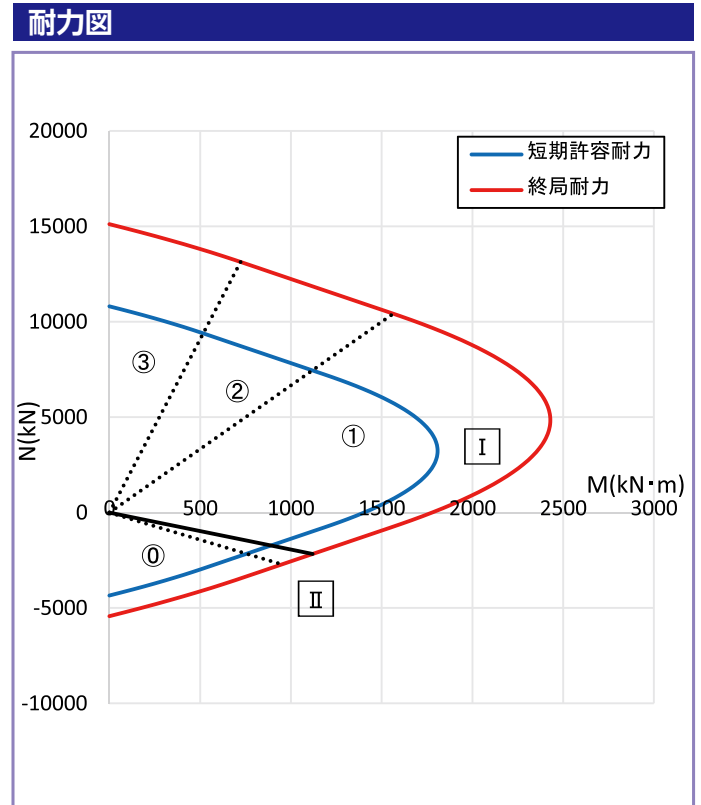
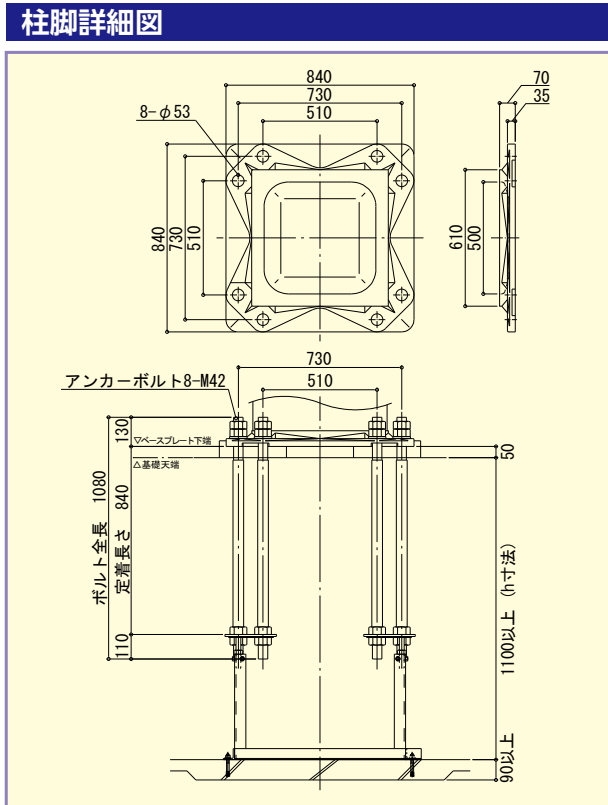
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~390	300~390	360~390	*700
D25	250~390	320~390	390	*700
D29	260~390	340~390	*700	*700



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

GB600-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	598 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1050	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1050	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	670
〈中柱用〉	1050	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1050	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	670

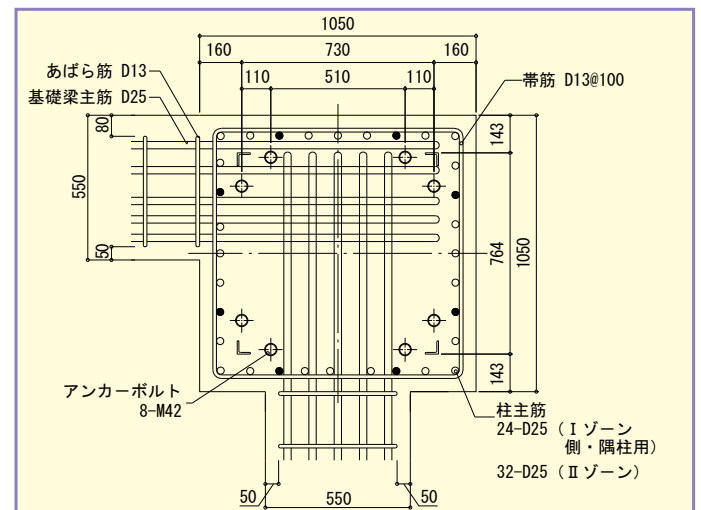
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~810	470~810	530~810	590~810
D25	410~810	480~810	550~810	620~810
D29	410~810	490~810	570~810	650~810

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~570	300~570	360~570	420~570
D25	250~570	320~570	390~570	460~570
D29	260~570	340~570	420~570	500~570



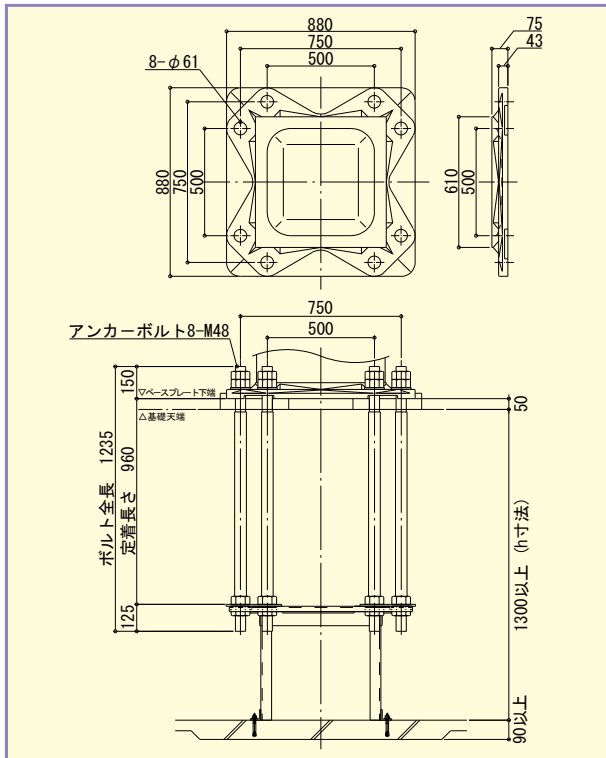
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

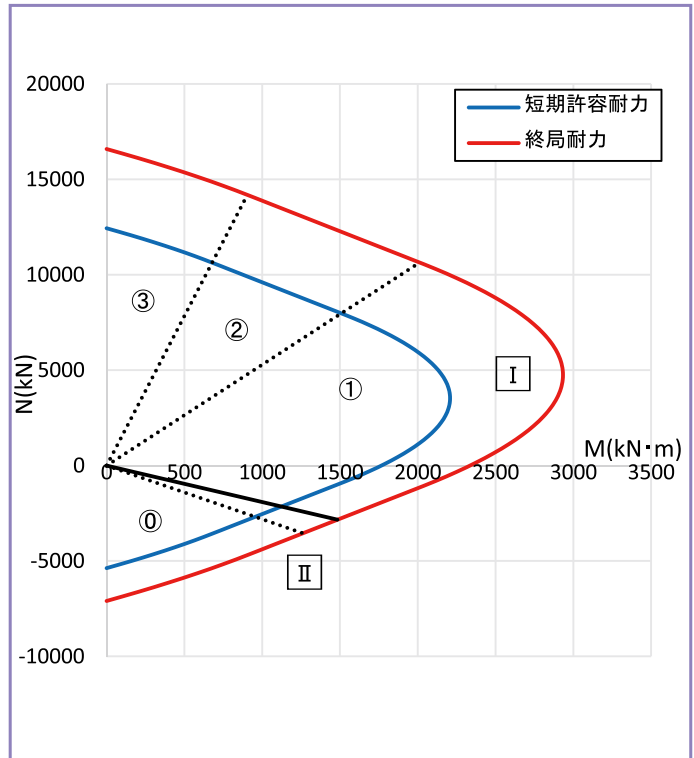
GB600-8-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M48)
回転ばね定数	682 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1100	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	860
〈中柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	1100	28-D29 (SD390)	D16@150 (SD295)	860

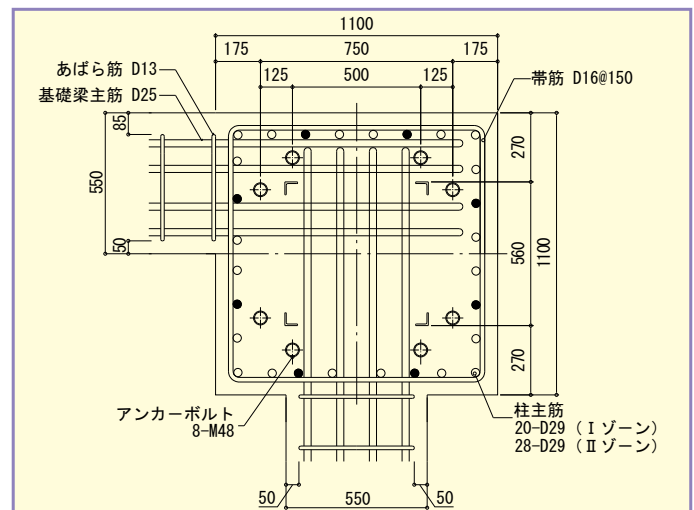
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~820	500~820	560~820	620~820
D25	440~820	510~820	580~820	650~820
D29	440~820	520~820	600~820	680~820

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~560	300~560	360~560	420~560
D25	250~560	320~560	390~560	460~560
D29	260~560	340~560	420~560	500~560



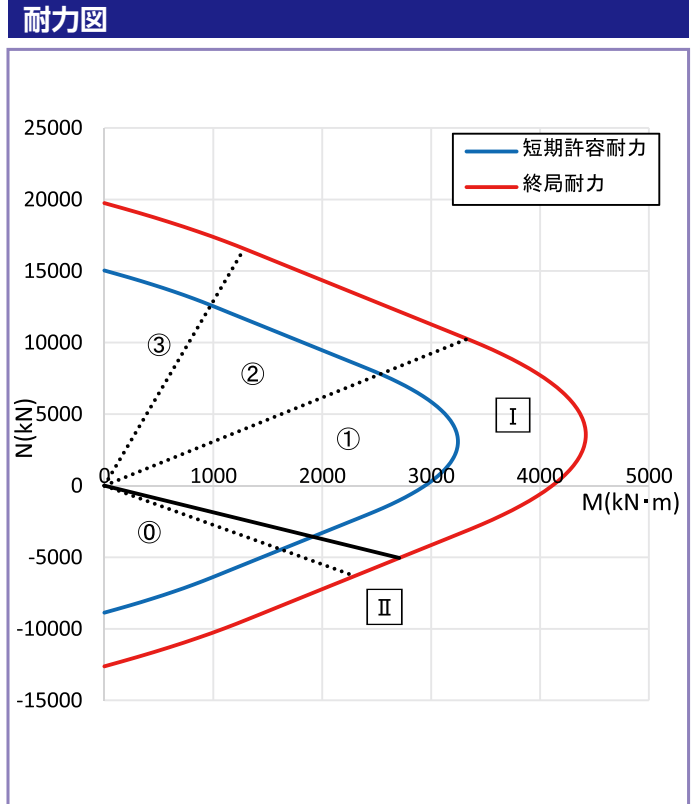
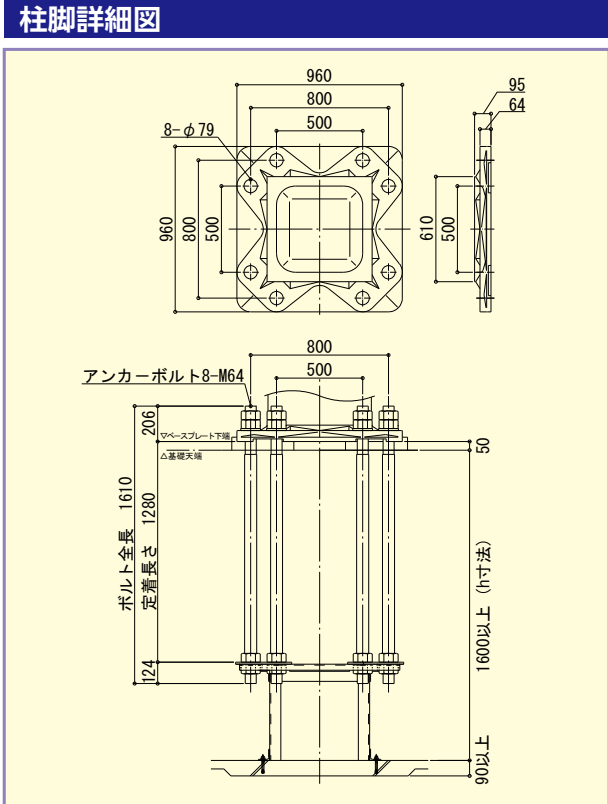
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

GB600-8-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M64)
回転ばね定数	987×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1200	32-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1200	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1140
〈中柱用〉	1200	28-D29 (SD390)	D16@100 (SD295)	1200	48-D29 (SD390)	D16@75 (SD295)	1140

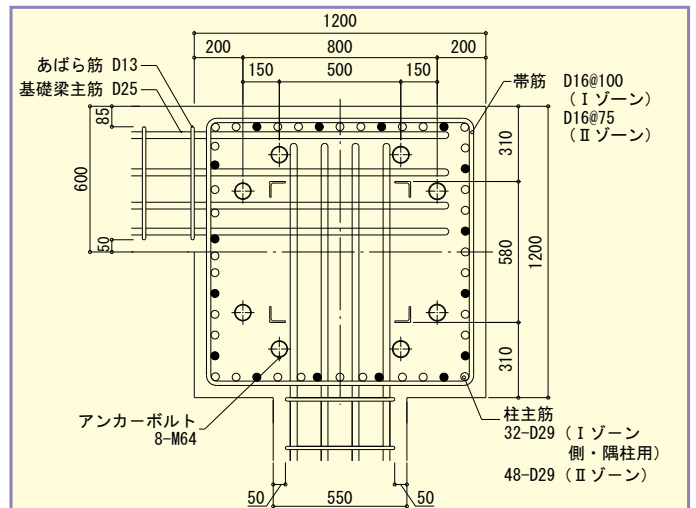
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~880	550~880	610~880	670~880
D25	490~880	560~880	630~880	700~880
D29	490~880	570~880	650~880	730~880

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~560	300~560	360~560	420~560
D25	250~560	320~560	390~560	460~560
D29	260~560	340~560	420~560	500~560

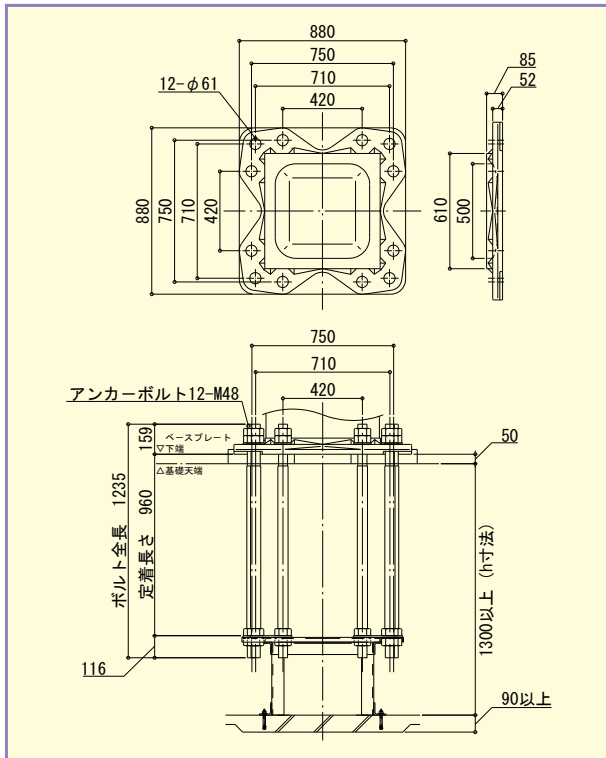


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

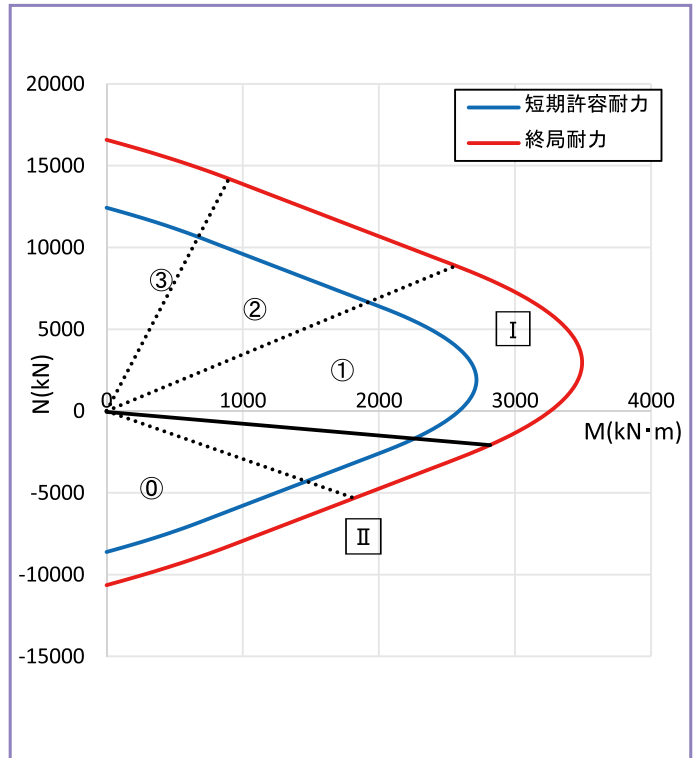
GB600-12-48 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M48)
回転ばね定数	953 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1100	24-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790
〈中柱用〉	1100	20-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1100	40-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	790

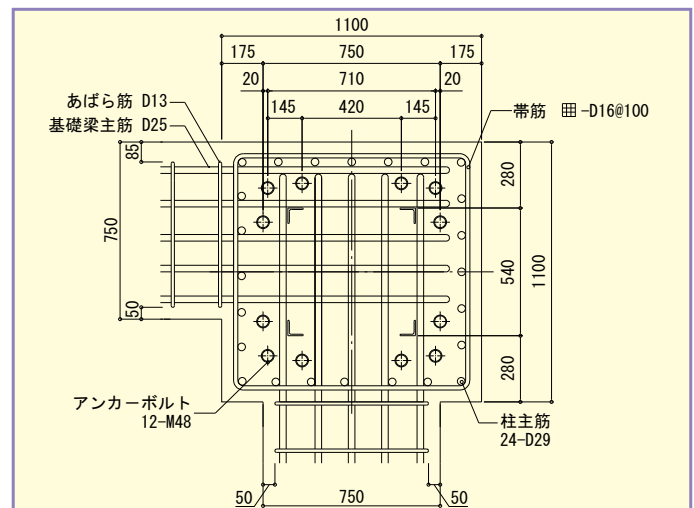
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	490~780	560~780	630~780	700~780
D29	490~780	570~780	650~780	730~780

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~450	300~450	360~450	420~450
D25	250~450	320~450	390~450	* 750
D29	260~450	340~450	420~450	* 750



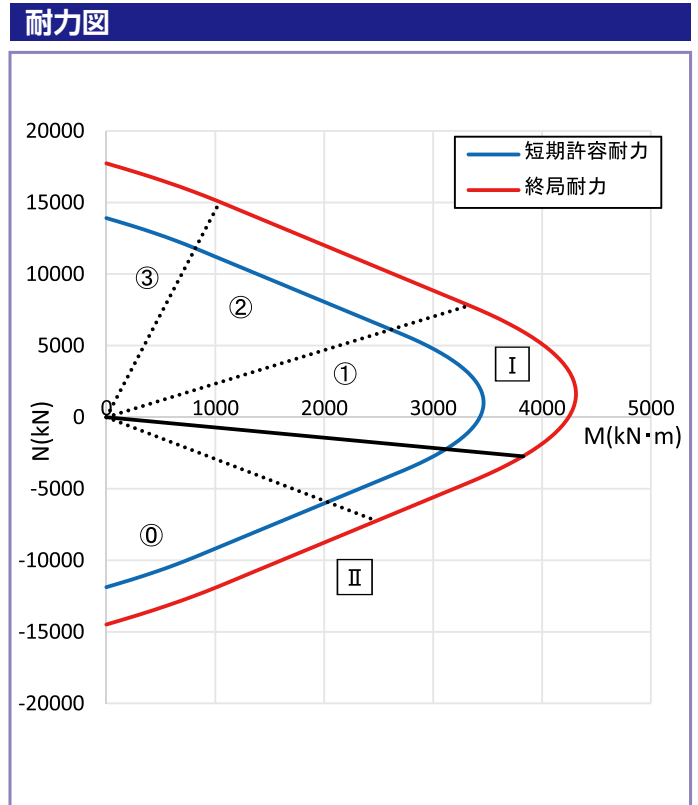
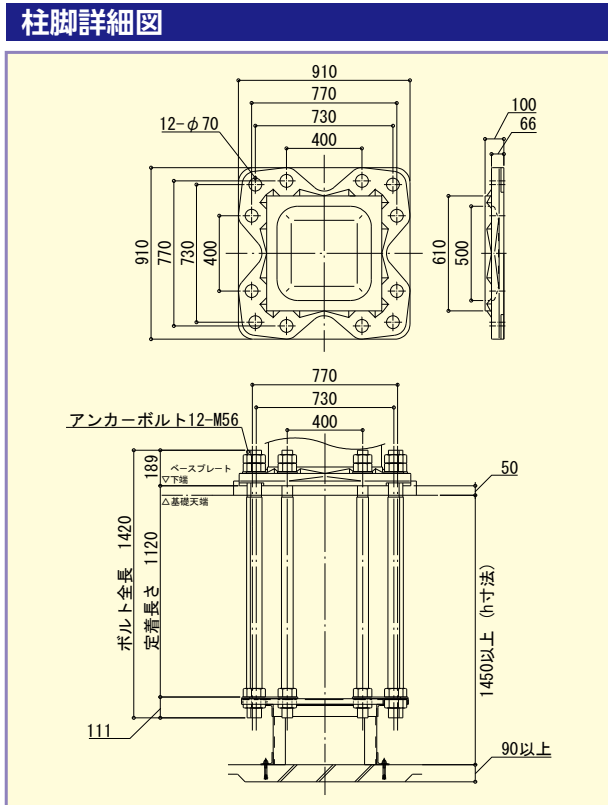
注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

GB600-12-56 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M56)
回転ばね定数	1140 × 10 ³ kN・m/rad



GB

基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030
〈中柱用〉	1150	28-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1500	56-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1030

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	520~800	580~800	640~800	700~800
D25	520~800	590~800	660~800	730~800
D29	520~800	600~800	680~800	760~800

柱形中心基礎はりタイプ

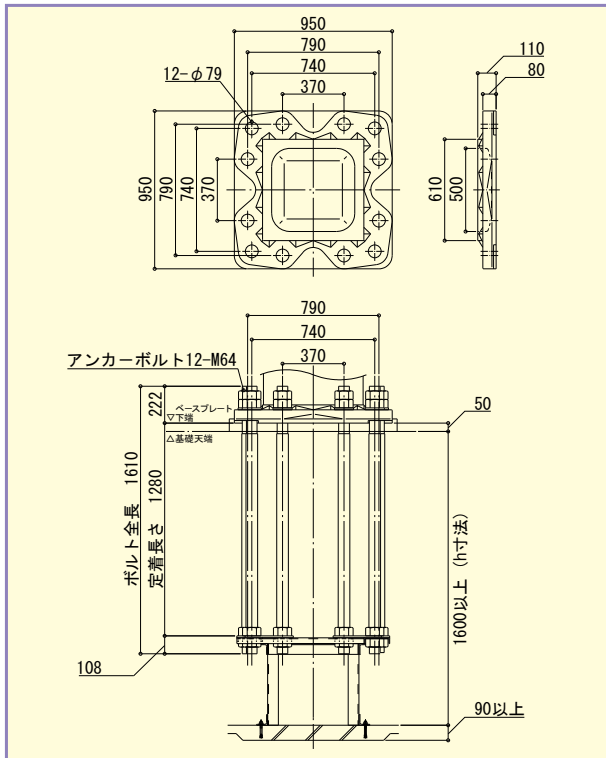
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	* 750
D29	260~440	340~440	420~440	* 750

注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

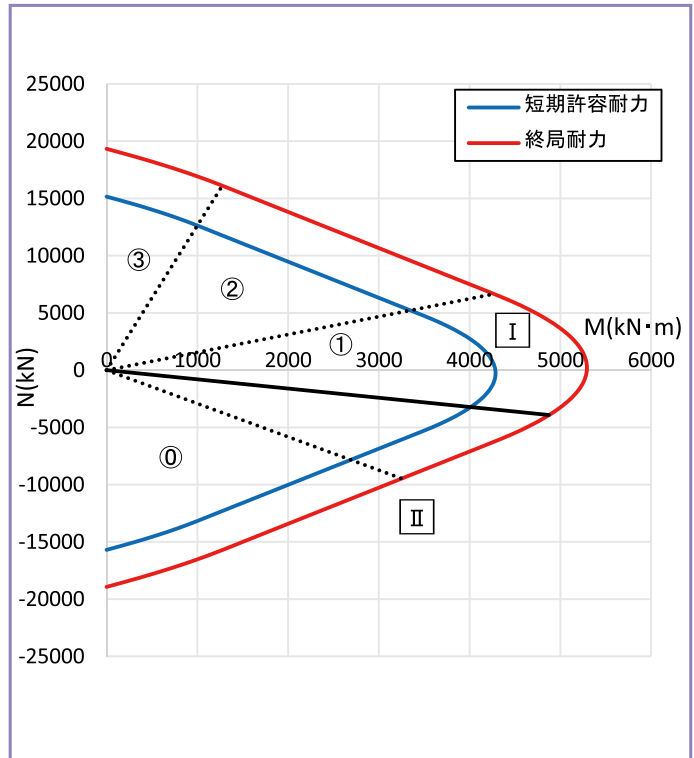
GB600-12-64 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M64)
回転ばね定数	1240×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1150	44-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1800	72-D29 (SD390)	■-D16@80 (SD295)	1190
〈中柱用〉	1150	32-D29 (SD390)	■-D16@100 (SD295)	1800	72-D29 (SD390)	■-D16@80 (SD295)	1190

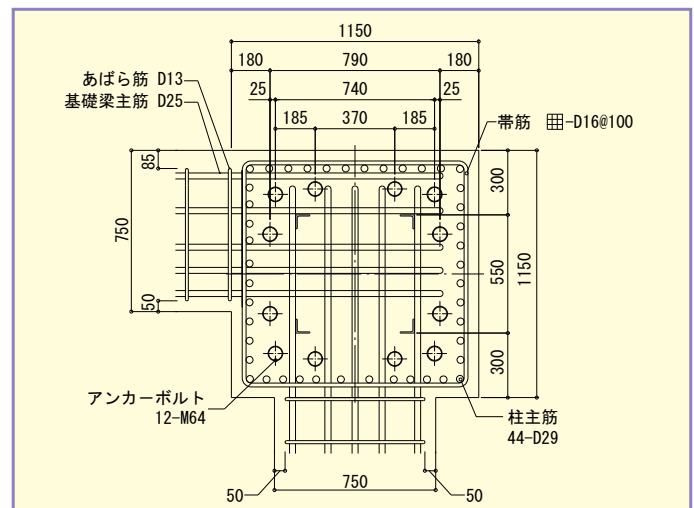
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	540~780	600~780	660~780	720~780
D25	540~780	610~780	680~780	750~780
D29	540~780	620~780	700~780	780

柱形中心基礎はりタイプ

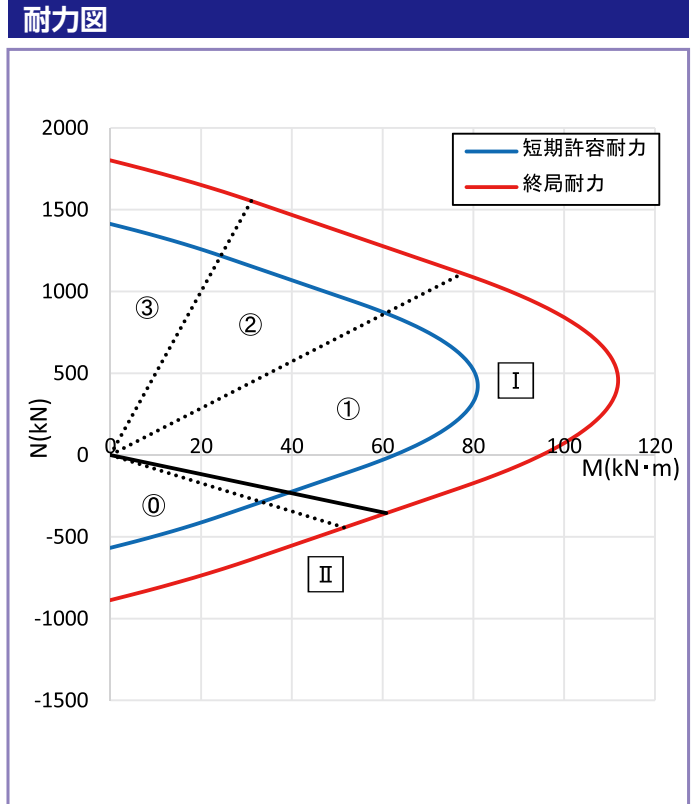
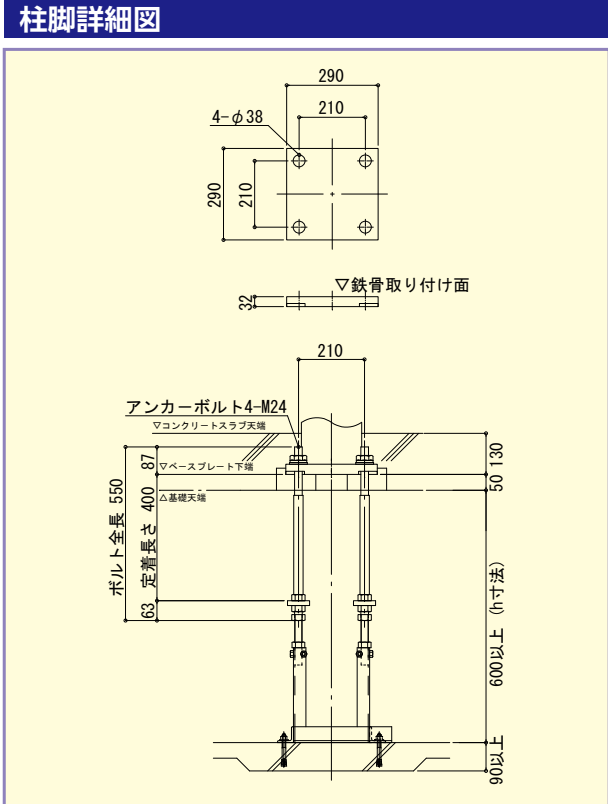
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	*750
D25	250~410	320~410	390~410	*750
D29	260~410	340~410	*750	*750



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

EM190-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ190.7(最大板厚:8.2mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	13.8×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

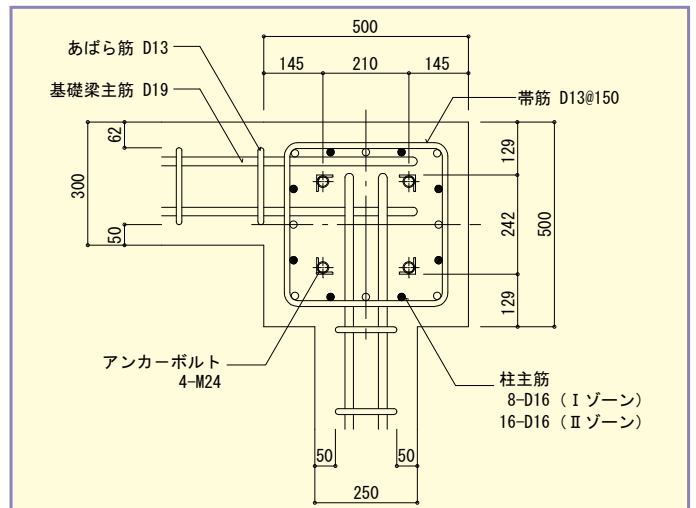
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~390	330~390	380~390	
D19	280~390	340~390		
D22	280~380	340~380		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~290	280~290		
D19	240~290			
D22	240~280			

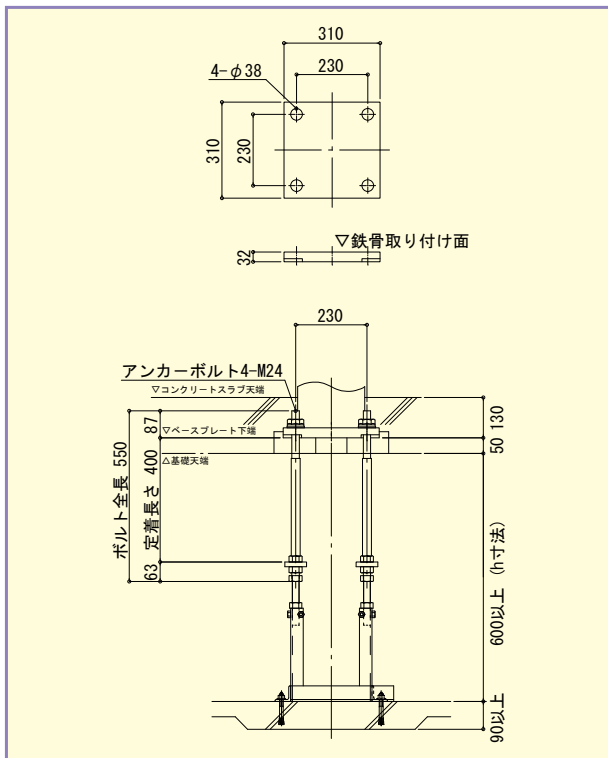


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

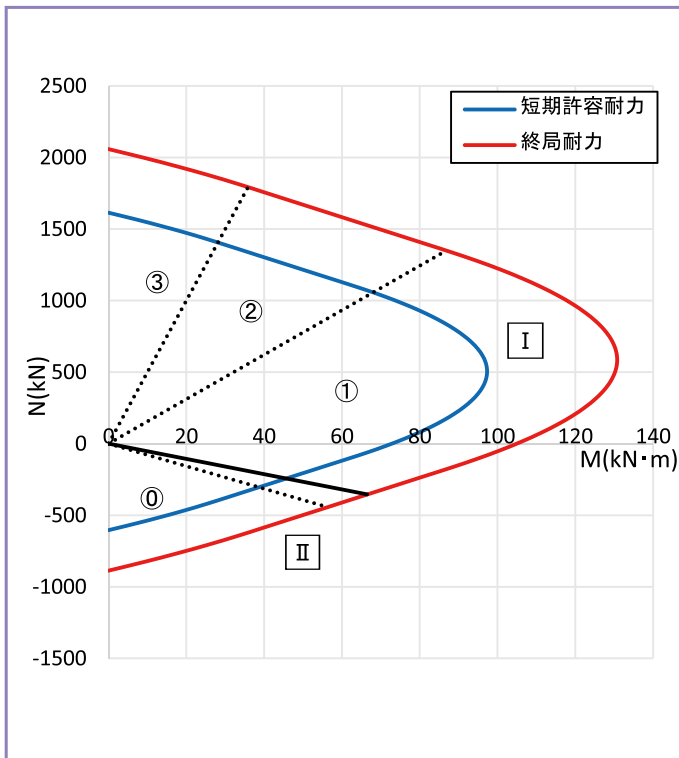
EM216-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ216.3(最大板厚:12.7mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	19.9×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

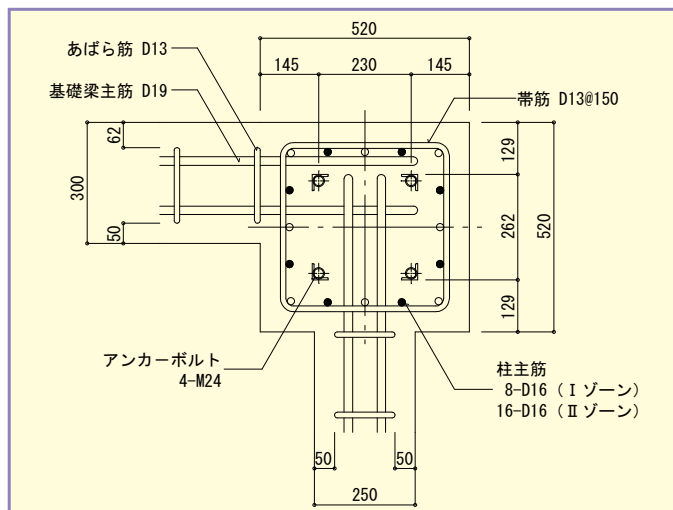
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~410	330~410	380~410	
D19	280~410	340~410	400~410	
D22	280~400	340~400	400	

柱形中心基礎はりタイプ

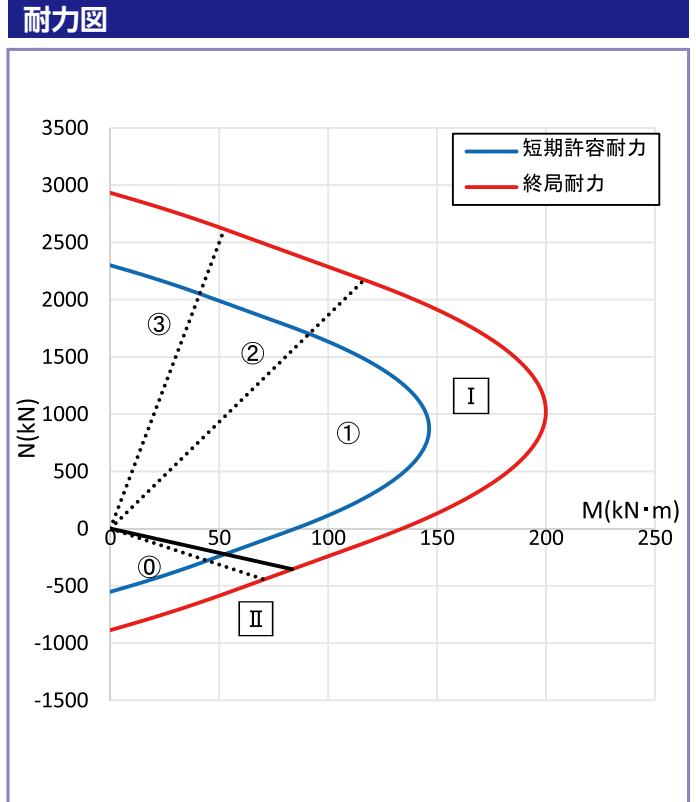
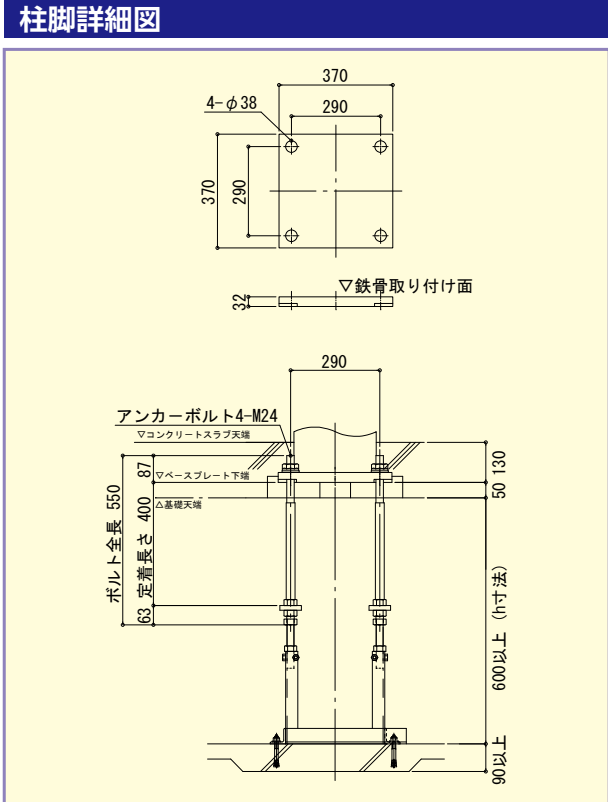
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~310	280~310		
D19	240~310	300~310		
D22	240~300	300		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM250-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ267.4(最大板厚:16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M24)
回転ばね定数	28.4 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	570	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	570	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	570	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	570	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200

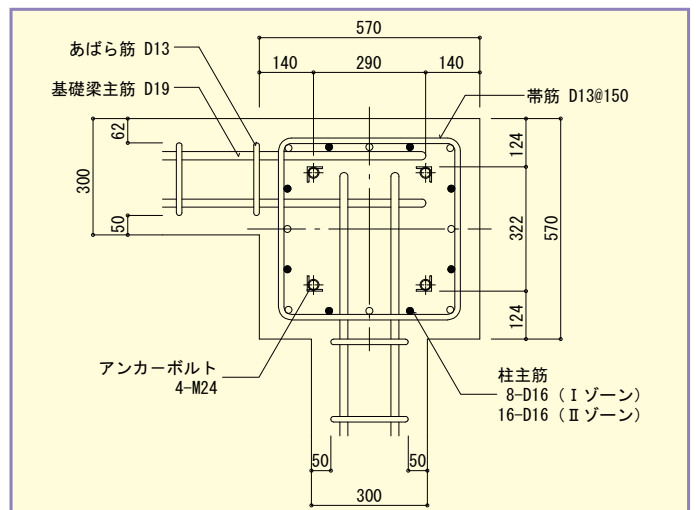
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~460	320~460	370~460	420~460
D19	270~460	330~460	390~460	450~460
D22	270~450	330~450	390~450	450

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~370	280~370	330~370	
D19	240~370	300~370	360~370	
D22	240~360	300~360	360	

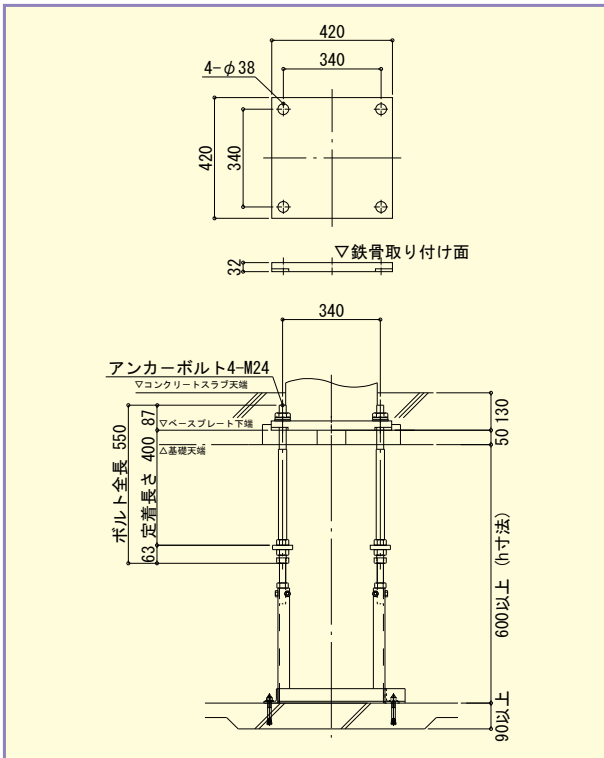


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

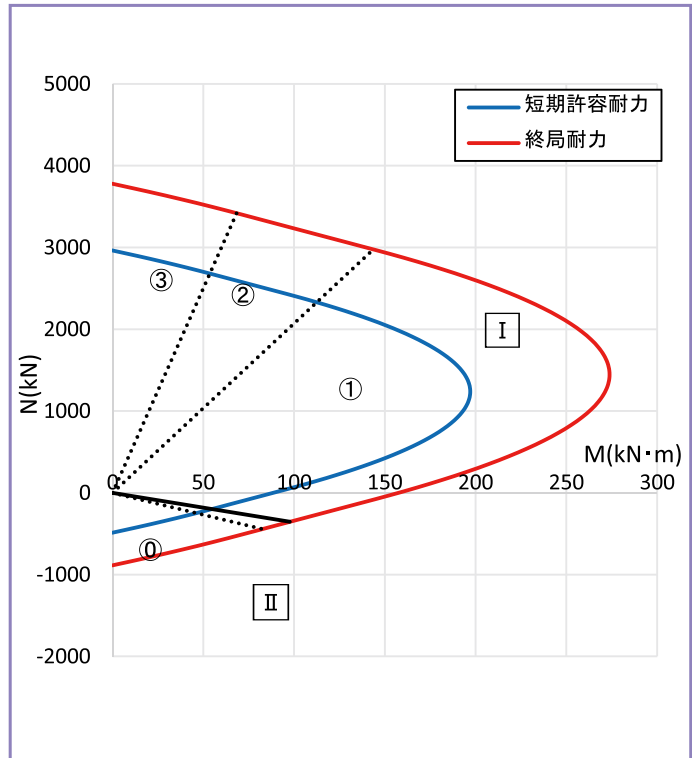
EM300-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ300, φ318.5 (最大板厚: 16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	38.3 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	620	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200

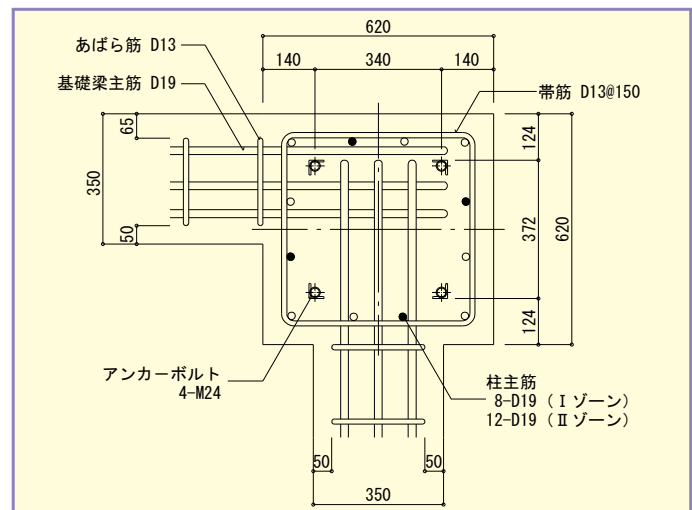
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~510	320~510	370~510	420~510
D19	270~510	330~510	390~510	450~510
D22	270~500	330~500	390~500	450~500

柱形中心基礎はりタイプ

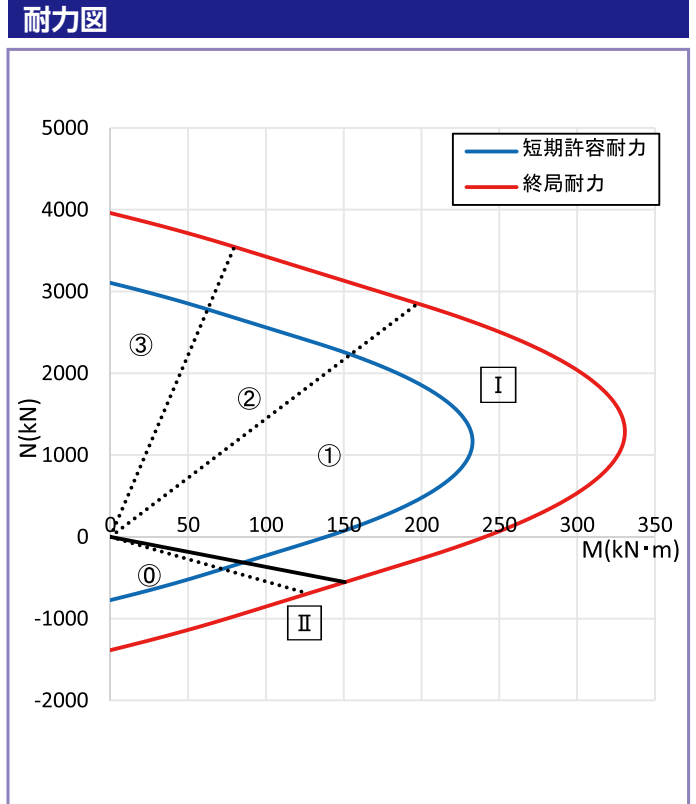
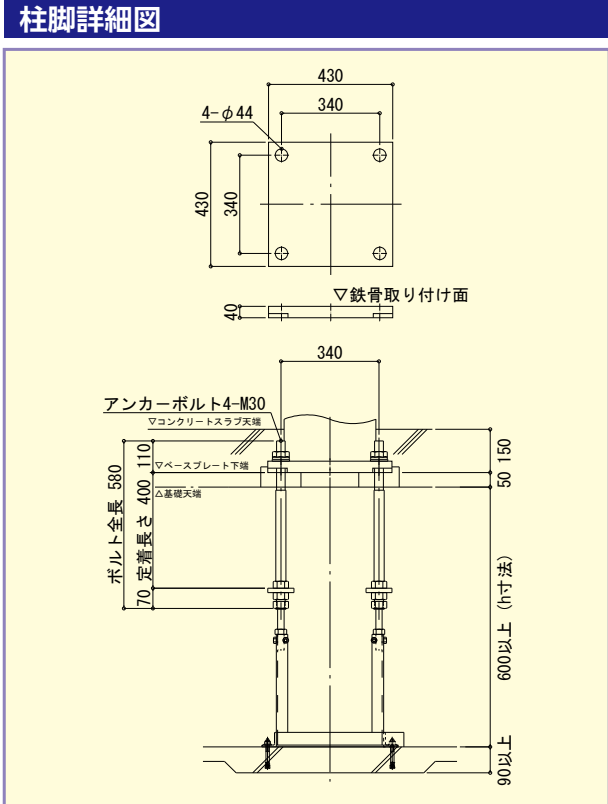
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~420	280~420	330~420	380~420
D19	240~420	300~420	360~420	
D22	240~410	300~410	360~410	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM300-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ300, φ318.5 (最大板厚: 16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	61.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290
〈中柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290

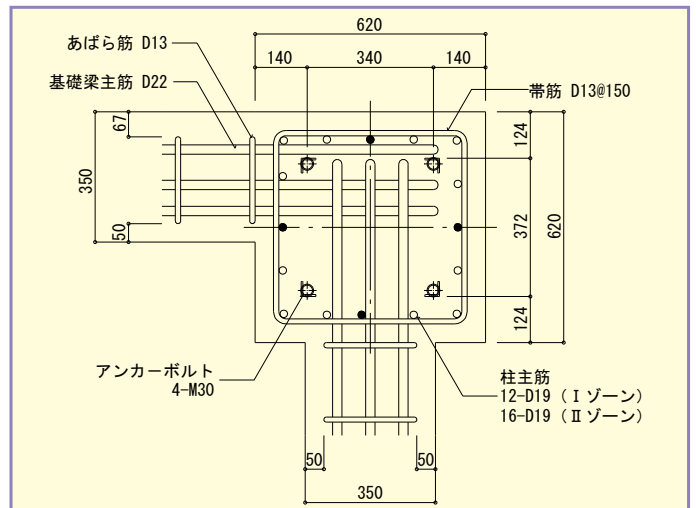
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~510	340~510	400~510	460~510
D22	280~510	340~510	400~510	460~510
D25	280~510	350~510	420~510	490~510

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~410	300~410	360~410	
D22	240~410	300~410	360~410	
D25	250~410	320~410	390~410	

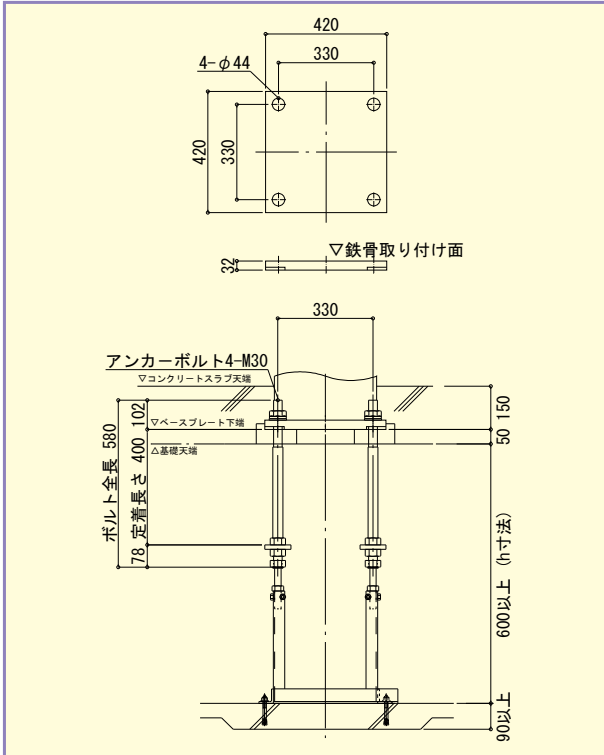


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

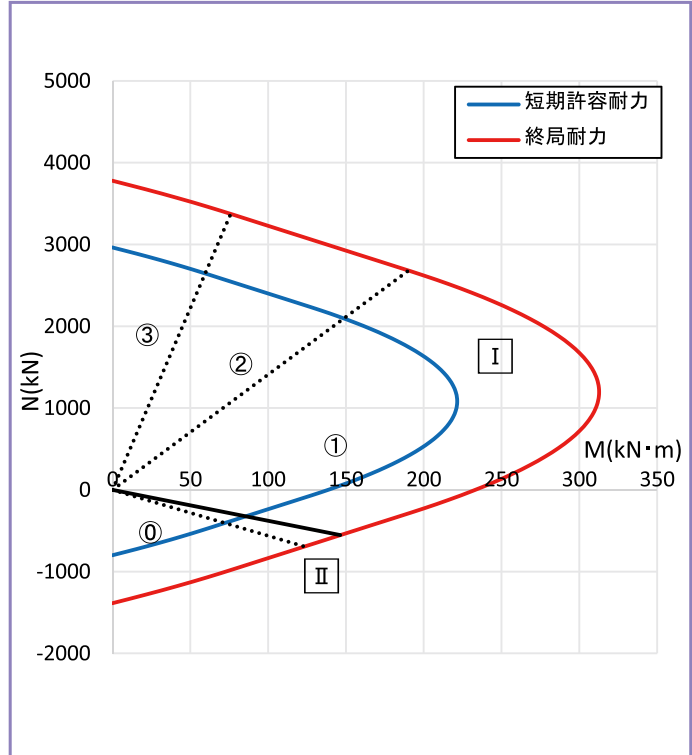
EM350-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ350, φ355.6 (最大板厚: 19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	65.1 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290
〈中柱用〉	620	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	620	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	290

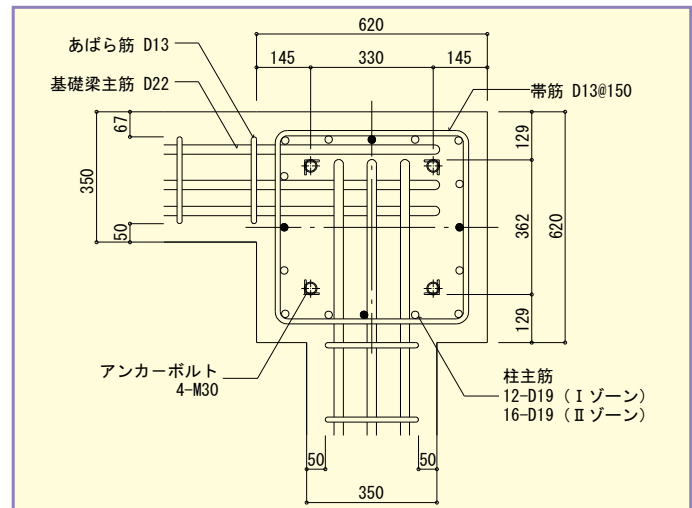
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~510	340~510	400~510	460~510
D22	280~510	340~510	400~510	460~510
D25	280~510	350~510	420~510	490~510

柱形中心基礎はりタイプ

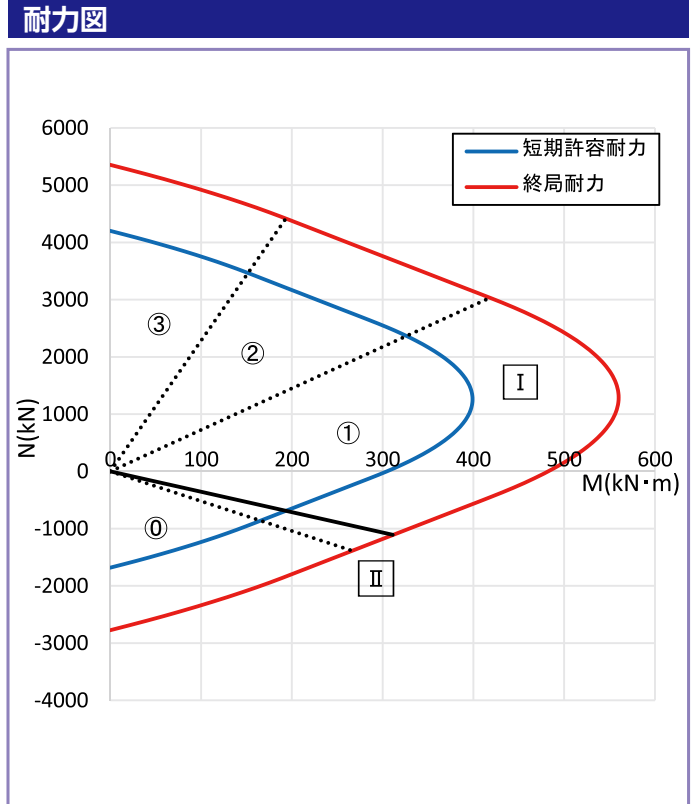
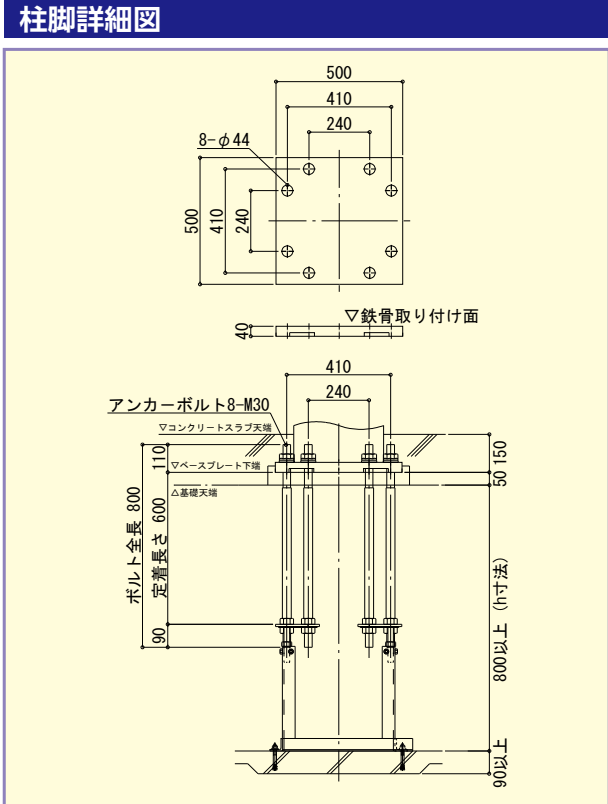
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~400	300~400	360~400	
D22	240~400	300~400	360~400	
D25	250~400	320~400	390~400	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EM350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ350, φ355.6 (最大板厚: 19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	86.3 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	510
〈中柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	510

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~510	420~510	480~510	
D22	360~510	420~510	480~510	
D25	360~510	430~510	500~510	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320	* 480	* 480
D22	240~320	300~320	* 480	* 480
D25	250~320	320	* 480	* 480

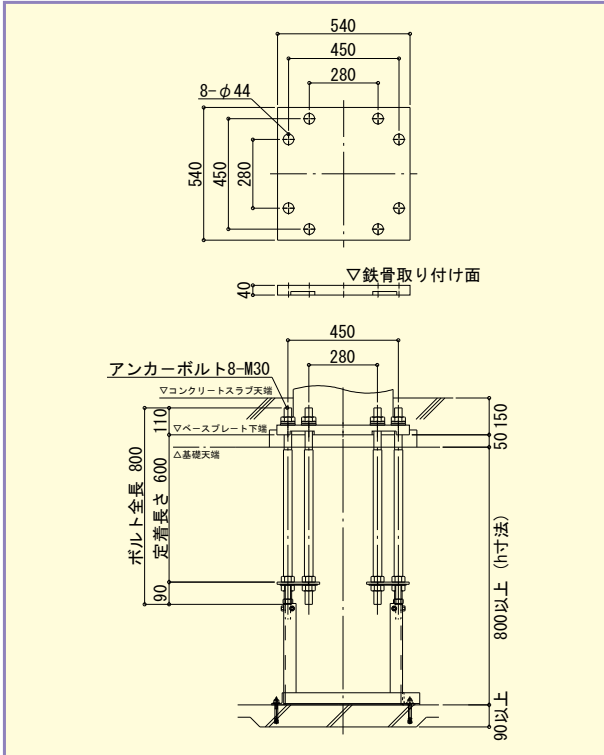
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

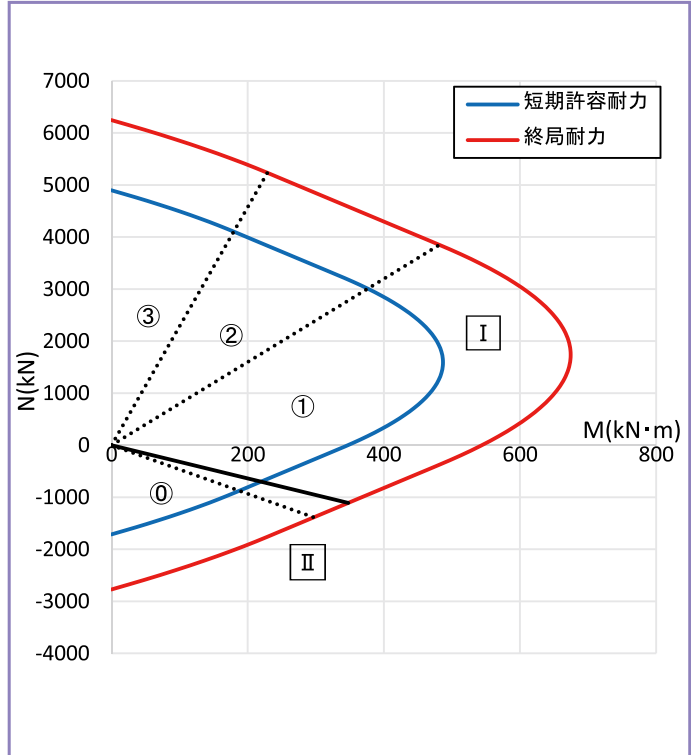
EM400-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	119×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	740	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	740	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	740	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

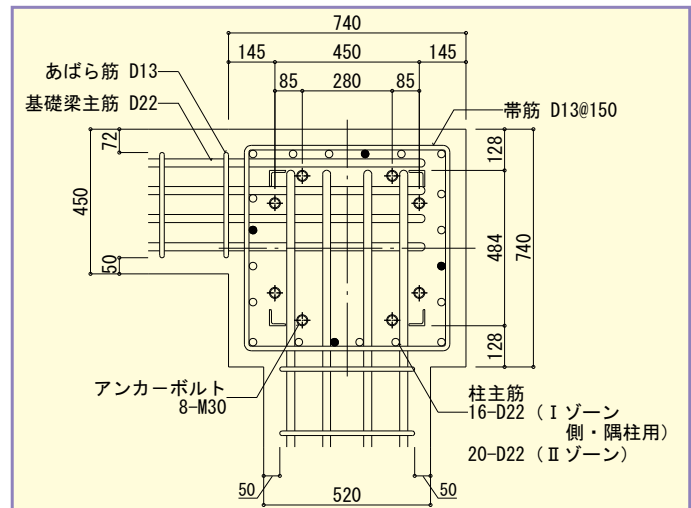
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~550	420~550	480~550	540~550
D22	360~550	420~550	480~550	540~550
D25	360~550	430~550	500~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~360	300~360	360	*520
D22	240~360	300~360	360	*520
D25	250~360	320~360	*520	*520



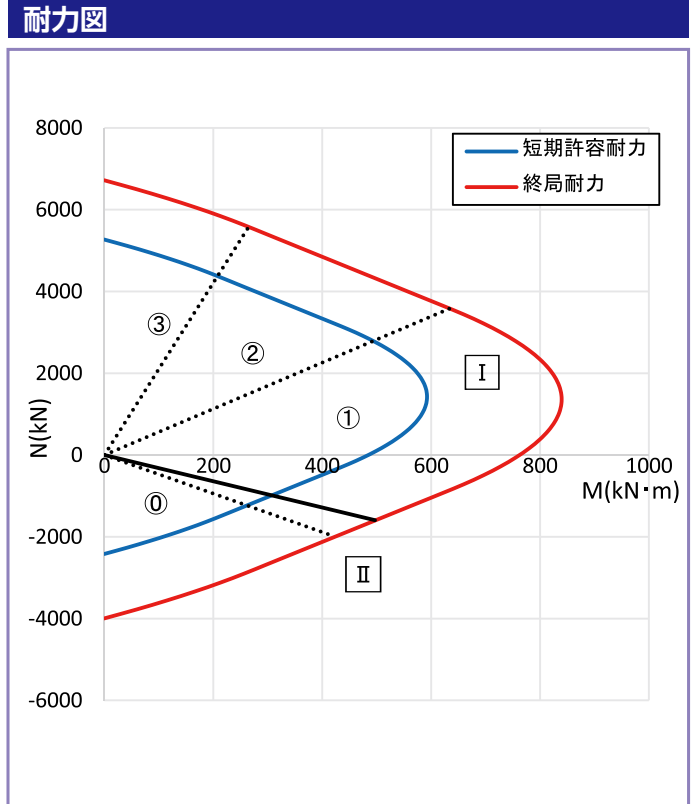
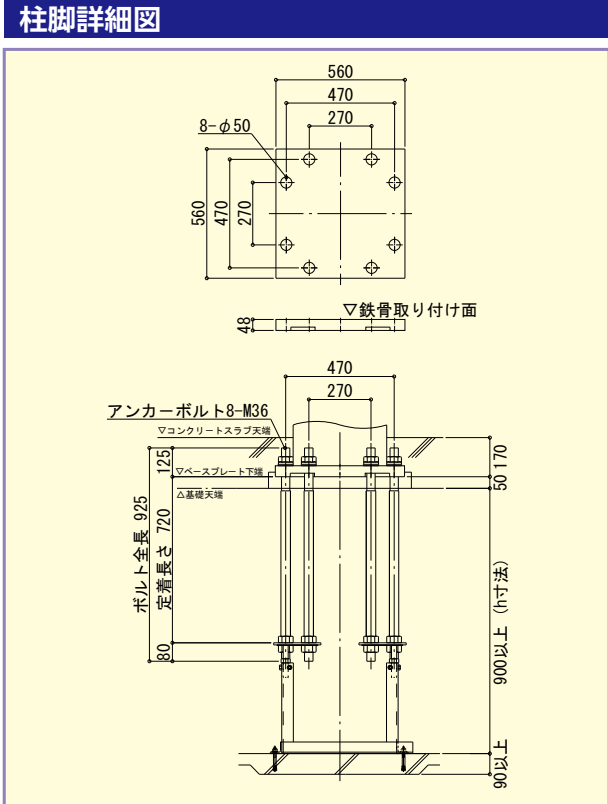
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	148 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	770	12-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

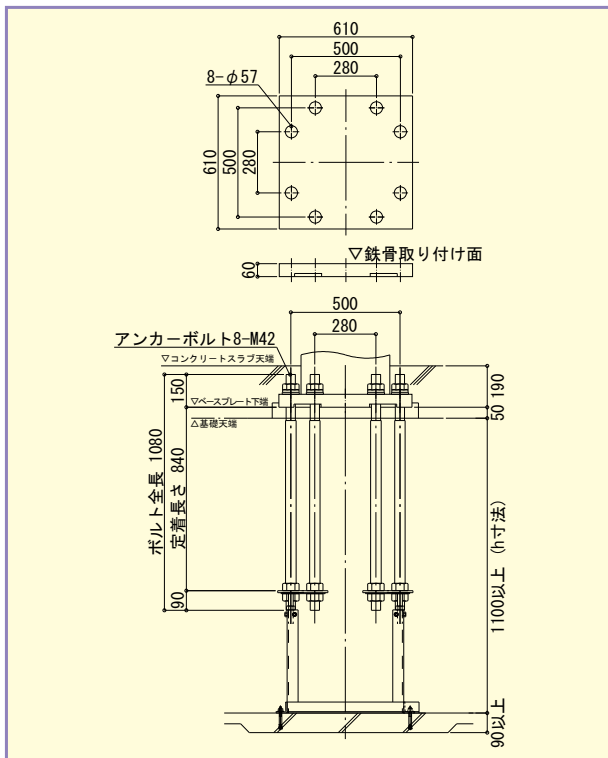
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540

注 1) 上記納まり例は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合です。
 注 2) *がつけ基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

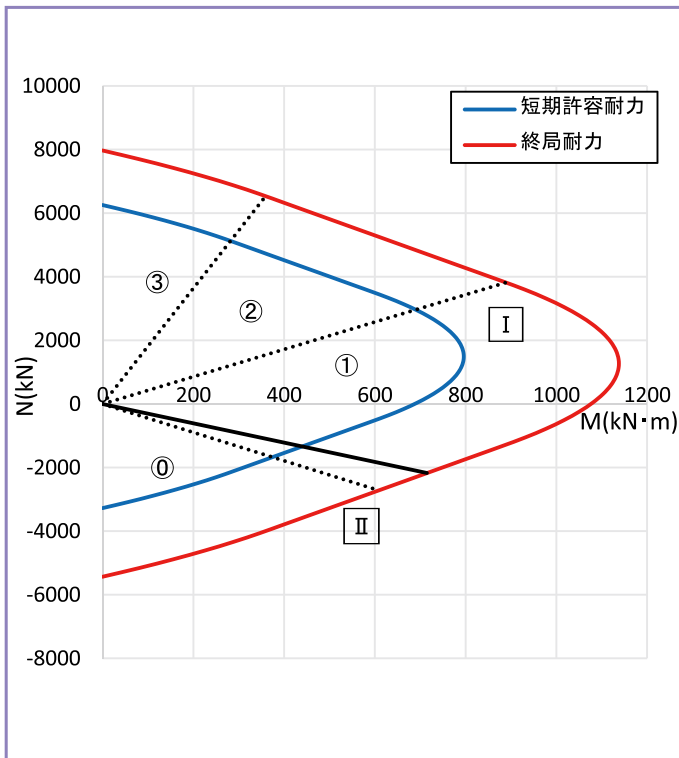
EM400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ400, φ406.4 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	194 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の 定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	810	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

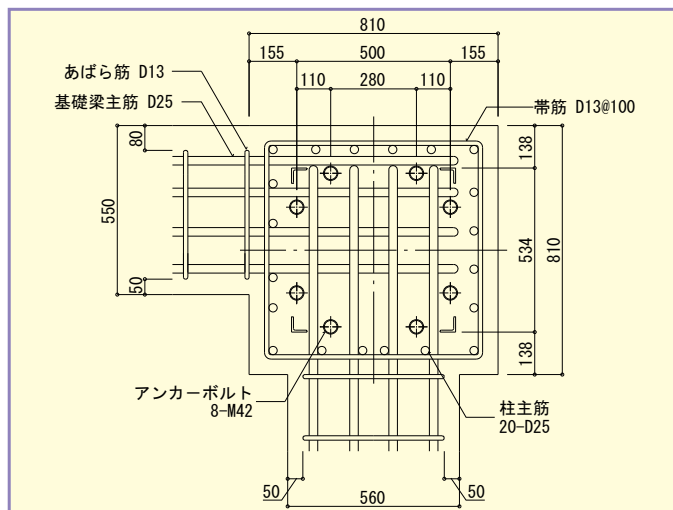
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~340	300~340	* 560	* 560
D25	250~340	320~340	* 560	* 560
D29	260~340	* 560	* 560	

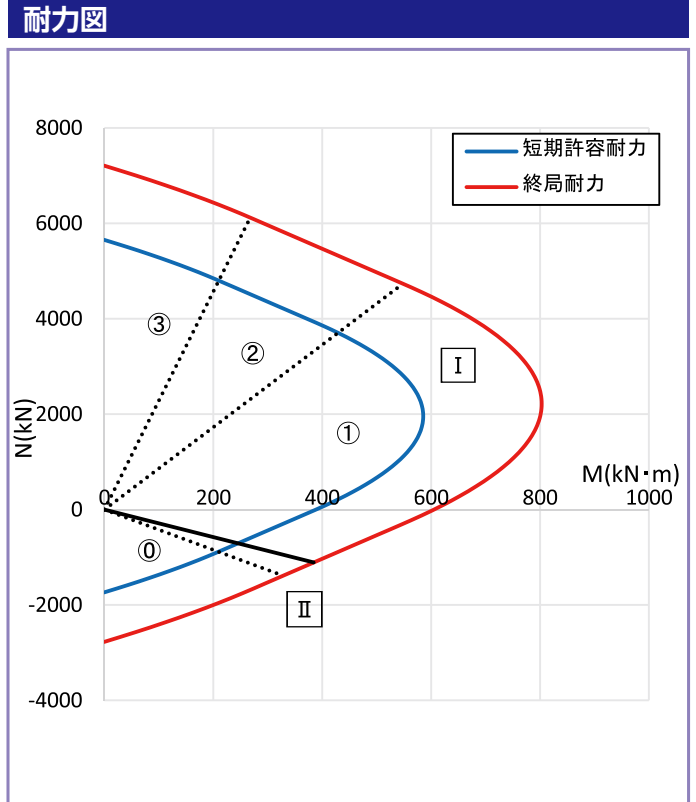
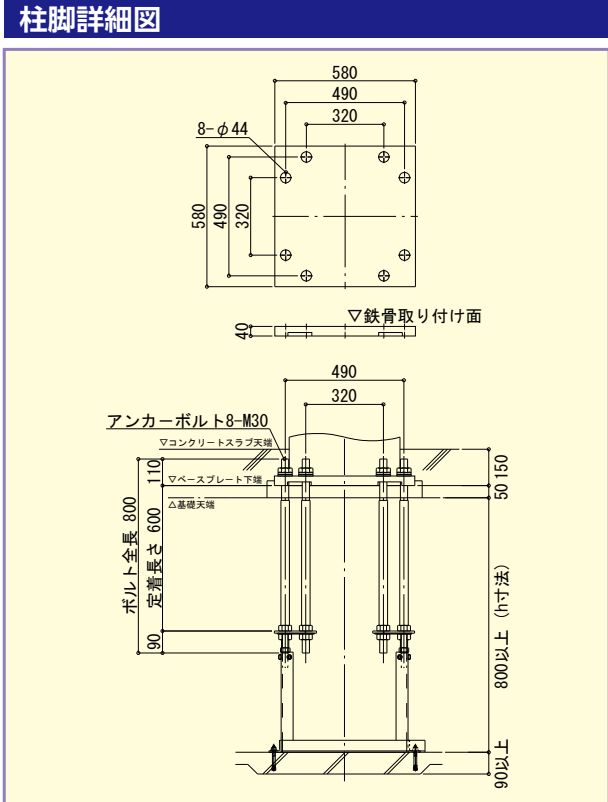


注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。

注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM450-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	146 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	780	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	780	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	480
〈中柱用〉	780	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	780	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	480

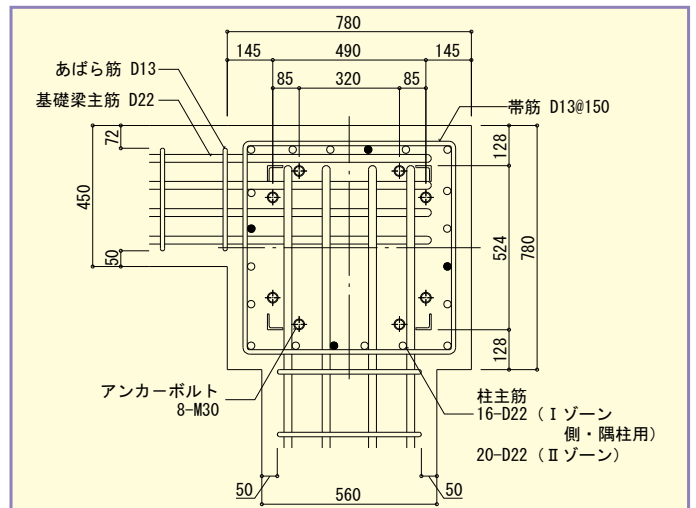
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~590	420~590	480~590	540~590
D22	360~590	420~590	480~590	540~590
D25	360~590	430~590	500~590	570~590

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~400	300~400	360~400	* 560
D22	240~400	300~400	360~400	* 560
D25	250~400	320~400	390~420	* 560

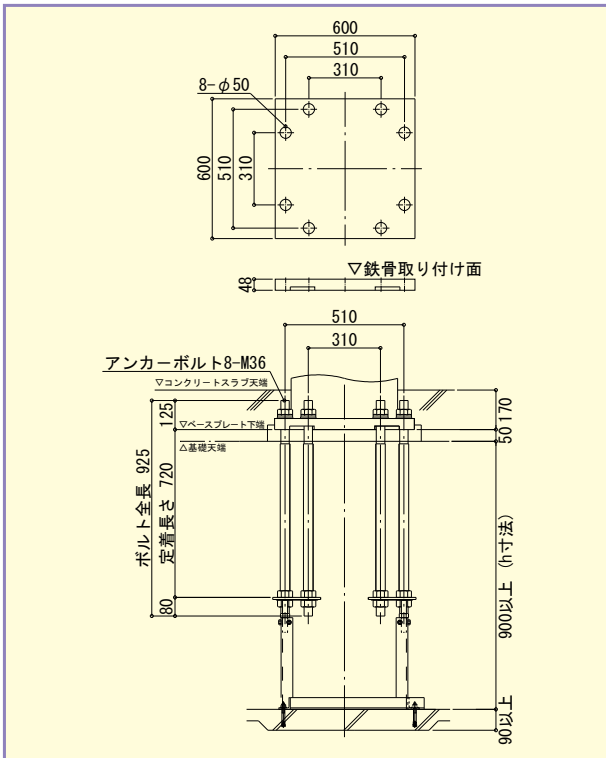


注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

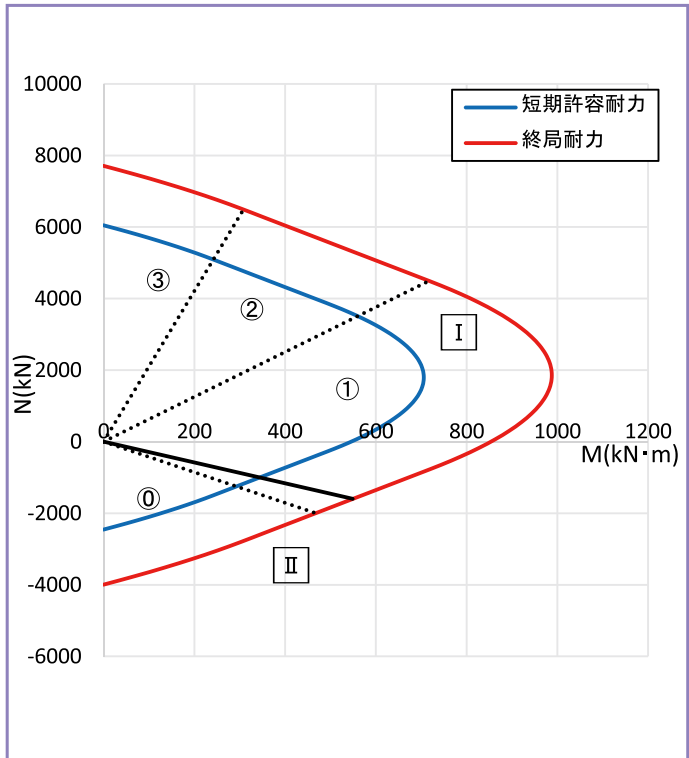
EM450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚:22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	182 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	810	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	810	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	810	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

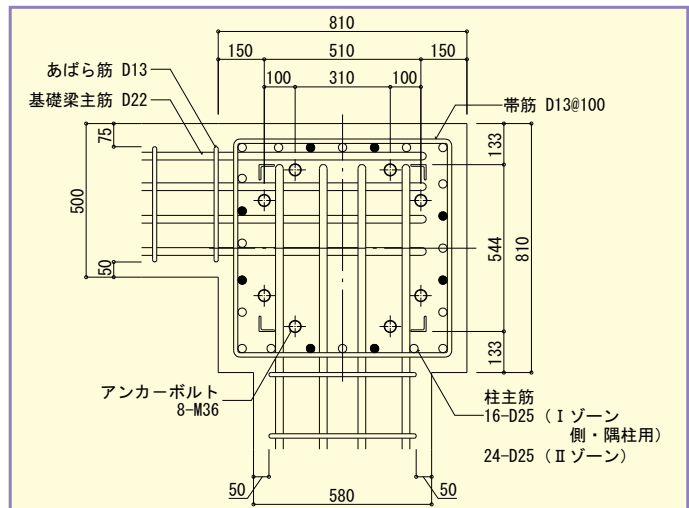
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~590	440~590	500~590	560~590
D22	380~590	440~590	500~590	560~590
D25	380~590	450~590	520~590	590

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~380	300~380	360~380	*580
D22	240~380	300~380	360~380	*580
D25	250~380	320~380	*580	*580



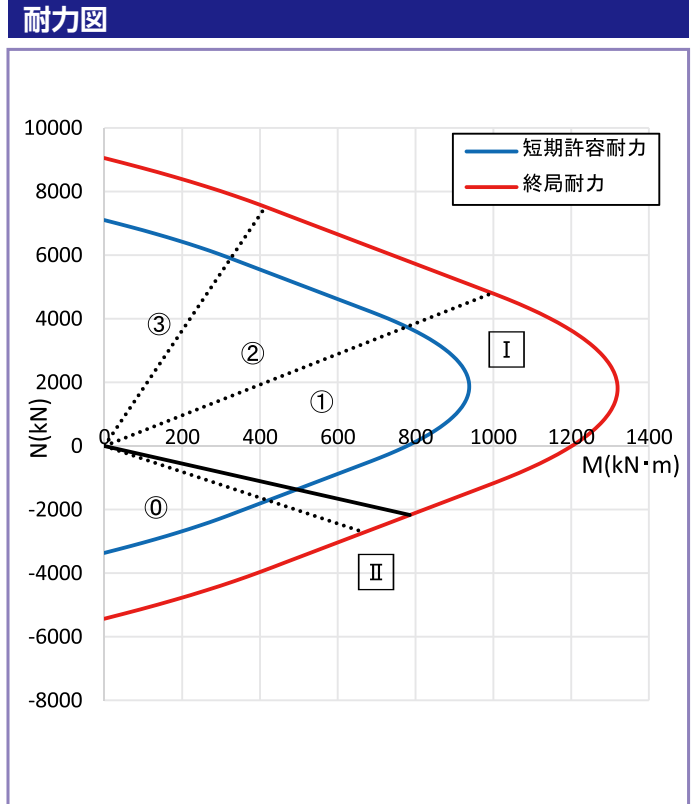
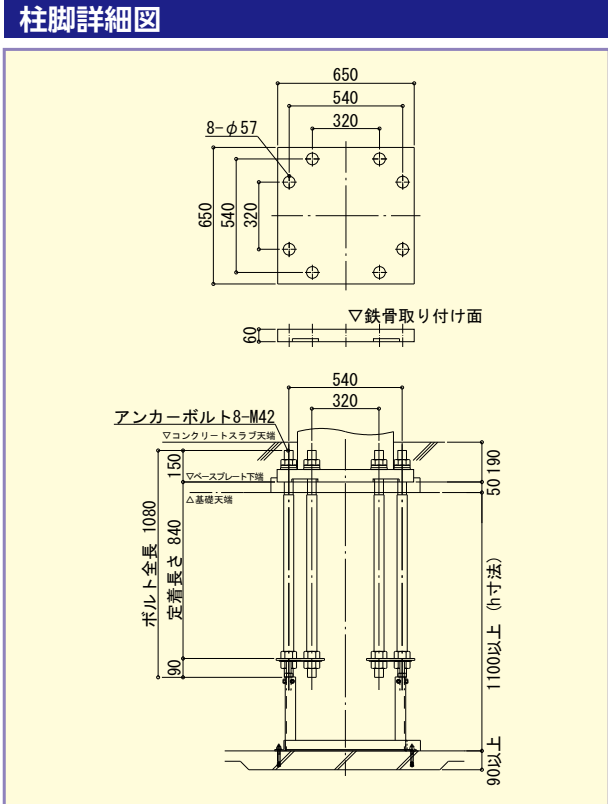
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ450, φ457.2 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	249 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	850	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	850	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

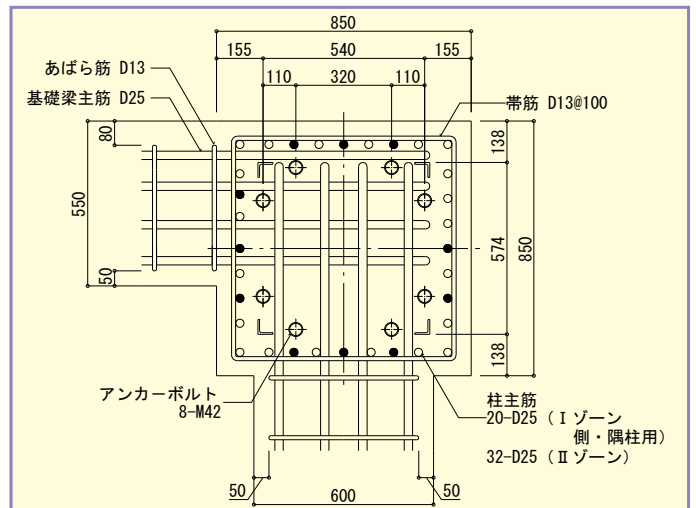
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~610	460~610	520~610	580~610
D25	400~610	470~610	540~610	
D29	400~610	480~610	560~610	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~380	300~380	360~380	* 600
D25	250~380	320~380	* 600	* 600
D29	260~380	340~380	* 600	* 600

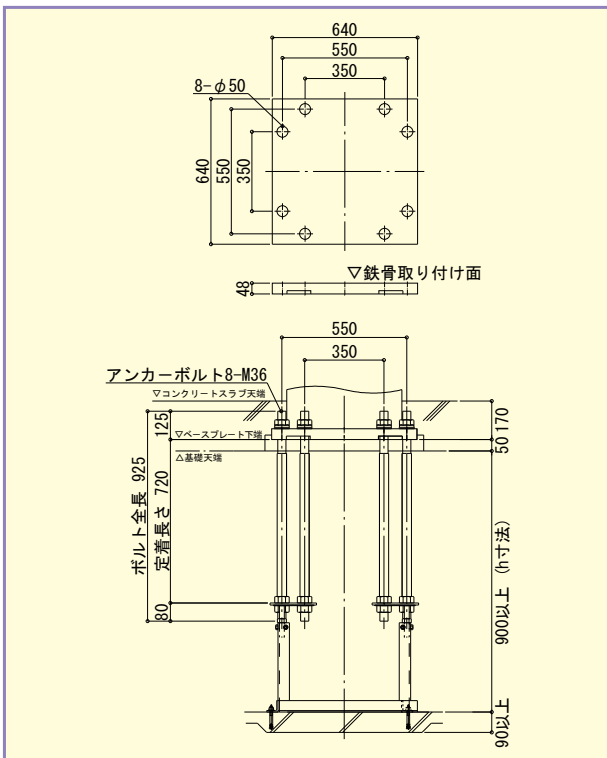


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
 設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

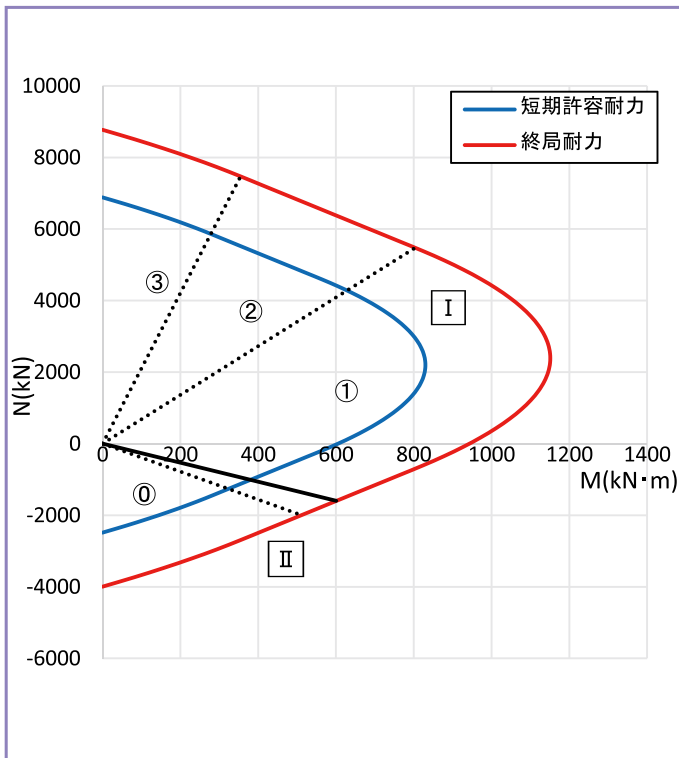
EM500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ500, φ508 (最大板厚:25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	231 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	850	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	850	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	850	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

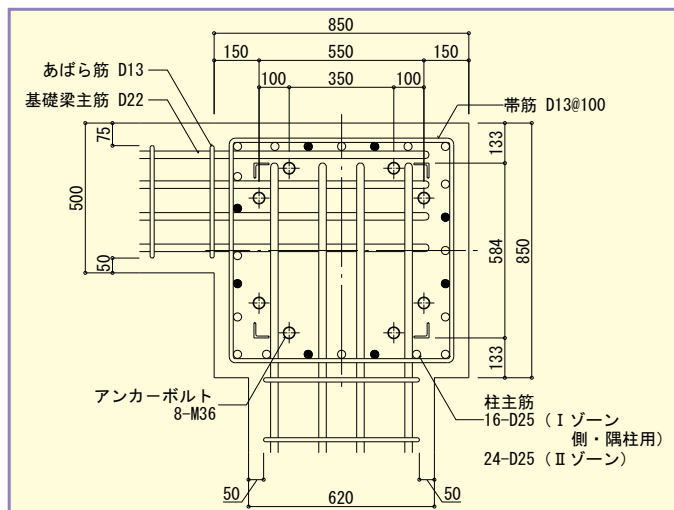
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~630	440~630	500~630	560~630
D22	380~630	440~630	500~630	560~630
D25	380~630	450~630	520~630	590~630

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420~420
D22	240~420	300~420	360~420	420~420
D25	250~420	320~420	390~420	* 620



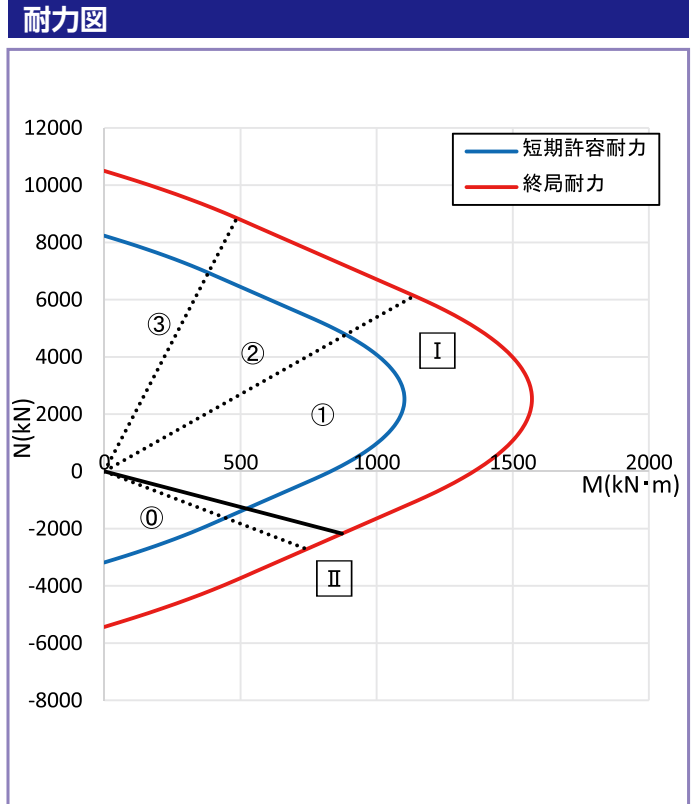
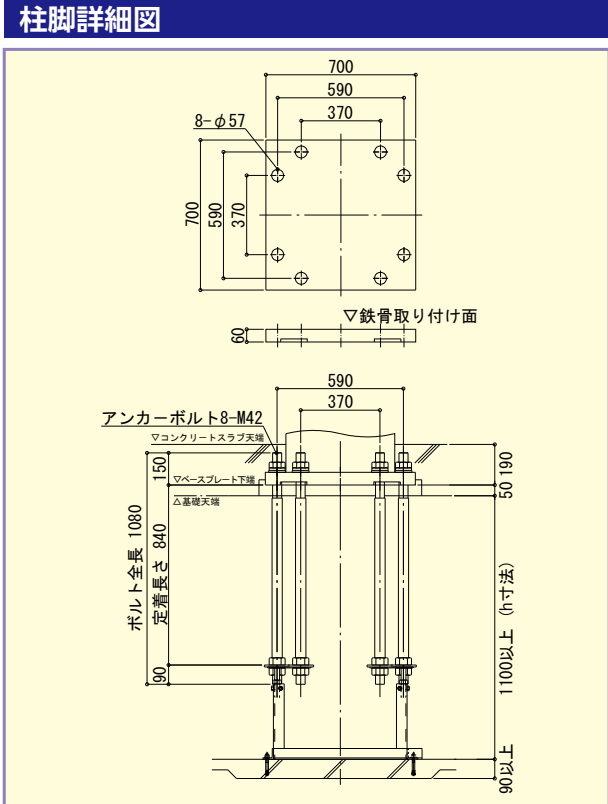
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ500, φ508 (最大板厚: 22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	301 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~660	460~660	520~660	580~660
D25	400~660	470~660	540~660	610~660
D29	400~660	480~660	560~660	640~660

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~430	300~430	360~430	420~430
D25	250~430	320~430	390~430	* 650
D29	260~430	340~430	420~430	* 650

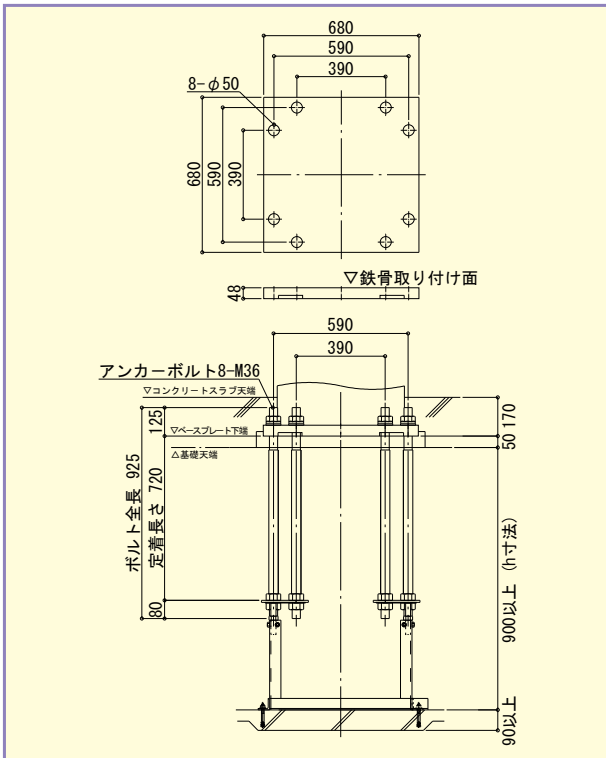
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

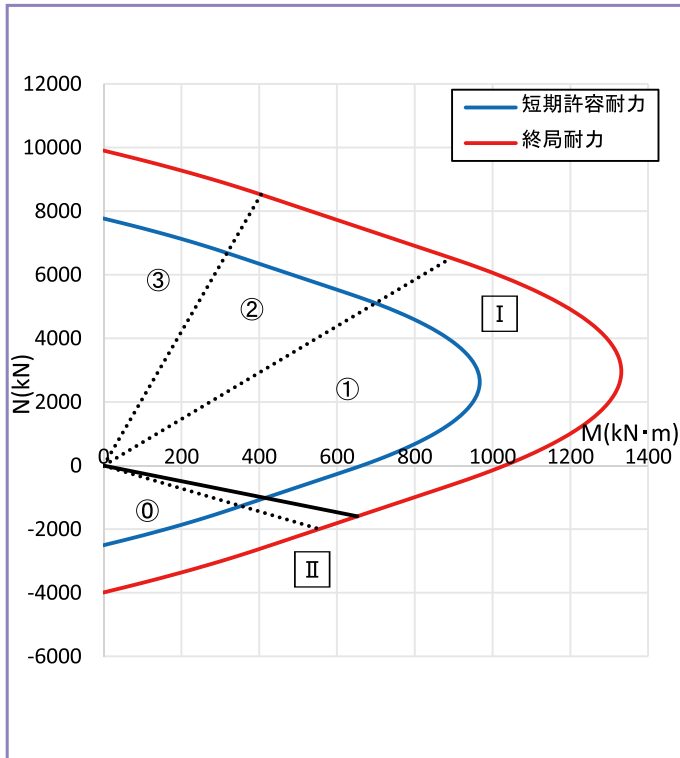
EM550-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ550, φ558.8 (最大板厚:25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	269 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	900	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	900	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	900	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

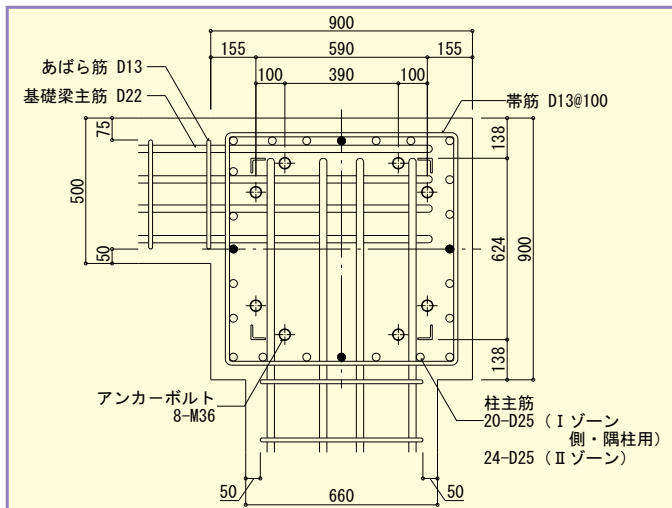
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	390~670	450~670	510~670	570~670
D22	390~670	450~670	510~670	570~670
D25	390~670	460~670	530~670	600~670

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~460	300~460	360~460	420~460
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	*660



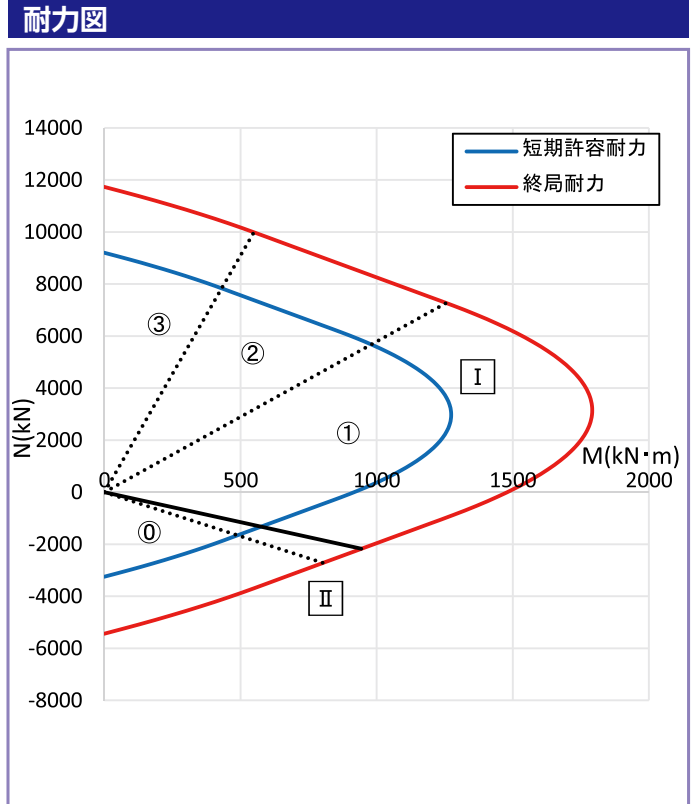
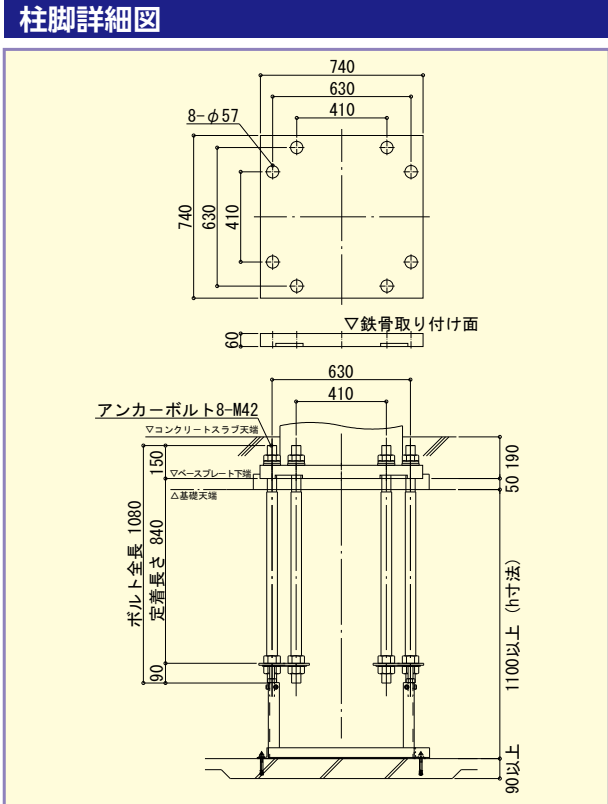
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EM550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	円形鋼管柱 φ550, φ558.8 (最大板厚: 25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	350 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

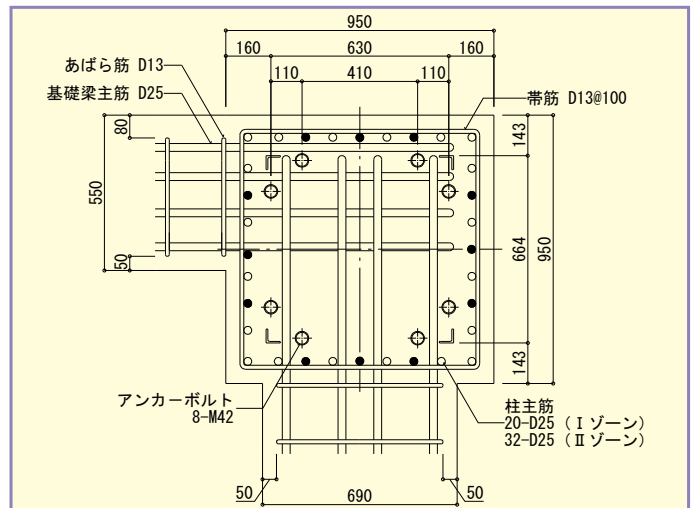
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	* 690



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。



センクシア株式会社

お問合せ、詳細な資料のご請求は下記の営業担当者までご用命ください。

本 社	〒135-8363 東京都江東区東陽二丁目4番2号(新宮ビル) TEL(03)3615-5432 FAX(03)3615-6081
札幌営業所	〒001-0018 札幌市北区北十八条西五丁目1番12号(3F) TEL(011)708-1177 FAX(011)708-1178
東北営業所	〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目8番13号(大和証券仙台ビル) TEL(022)213-5595 FAX(022)213-5590
関東営業所	〒370-0841 高崎市栄町16番11号(高崎イーストタワー) TEL(027)322-9411 FAX(027)322-9343
横浜営業所	〒221-0056 横浜市神奈川区金港町6番6(横浜みなと第一生命ビル) TEL(045)548-9881 FAX(045)548-9885
中部支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目17番29号(広小路ESビル) TEL(052)582-3356 FAX(052)583-9858
北陸営業所	〒920-0024 金沢市西念一丁目1番3号(コンフィデンス金沢) TEL(076)233-5260 FAX(076)233-5262
関西支店	〒532-0003 大阪市淀川区宮原三丁目4番30号(ニッセイ新大阪ビル) TEL(06)6395-2113 FAX(06)6395-2102
中四国営業所	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目1番20号(いよぎん広島ビル) TEL(082)240-1630 FAX(082)240-1606
九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目26番29号(九勤博多ビル8F) TEL(092)452-0341 FAX(092)452-0350

URL <http://www.senqcia.co.jp/>
E-Mail kenzai@senqcia.com



センクシアホームページから最新版のCADデータおよび
検討プログラムを無償でダウンロードしていただけます。